

Microsoft
サービス プロバイダー製品使用権説明書

[日本語/Japanese]

2011 年 7 月

目次

	<u>ページ</u>
1. はじめに	4
2. 変更事項の概要	6
3. 共通の使用条件	7
4. ライセンス モデル	

** 2 個のアスタリスク (**) が付いた製品は、無料のダウンロードによる入手が可能であり、価格表には記載されていません。

● プロセッサごとの製品一覧	13
1. BizTalk Server 2010 Branch、Standard、および Enterprise Edition	15. SQL Server 2008 R2 Standard、Enterprise、Datacenter、および Workgroup
2. Commerce Server 2009 R2 Standard Edition	16. SQL Server 2008 R2 Web
3. Commerce Server 2009 R2 Enterprise Edition	17. Virtual Server 2005 R2 Enterprise Edition**
4. Core Infrastructure Server Suite Datacenter	18. Windows Server 2008 R2 OEM Standard および OEM Enterprise
5. Forefront Threat Management Gateway 2010 Standard および Enterprise	19. Windows HPC Server 2008 R2 Suite
6. HPC Pack 2008 R2 Enterprise	20. Windows Server 2008 R2 HPC Edition
7. Microsoft Dynamics AX 2012	21. Windows Server 2008 R2 Standard、Enterprise、Datacenter、および Windows Server 2008 R2 for Itanium Based Systems
8. Microsoft Dynamics C5 2010 (アイスランドおよびデンマークでの使用向け)	22. Windows Server 2008 R2 Standard with System Center Operations Manager 2007 R2
9. Microsoft Dynamics GP 2010 R2	23. Windows Server 2008 R2 Standard with System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology
10. Microsoft Dynamics NAV 2009 R2	24. Windows Web Server 2008 R2
11. Microsoft Dynamics SL 2011	
12. Provisioning System	
13. Search Server 2010	
14. SharePoint Server 2010 for Internet Sites Enterprise	
● サブスクリイパー アクセス ライセンス (SAL) 製品一覧	32
1. Exchange Server 2010 Standard および Enterprise	17. Microsoft Dynamics C5 2010 (アイスランドおよびデンマークでの使用向け)
2. Expression Encoder Pro 4	18. Microsoft Dynamics CRM 2011 Service Provider
3. Expression Studio 4 Ultimate	19. Microsoft Dynamics GP 2010 R2
4. Expression Studio 4 Web Professional	20. Microsoft Dynamics NAV 2009 R2
5. Forefront Endpoint Protection	21. Microsoft Dynamics SL 2011
6. Forefront Identity Manager 2010	22. Microsoft Exchange Hosted Encryption
7. Forefront Online Protection for Exchange	23. Office Multi Language Pack 2010
8. Forefront Protection 2010 for Exchange Server	24. Office Professional Plus 2010
9. Forefront Protection 2010 for SharePoint	25. Office Standard 2010
10. Forefront Security for Office Communications Server	26. Productivity Suite
11. Forefront Threat Management Gateway Web Protection Service	27. Project 2010 Standard および Professional
12. Forefront Unified Access Gateway 2010	28. Project Server 2010
13. HPC Pack 2008 R2 Enterprise	29. SharePoint Server 2010
14. Lync Server 2010 Standard および Enterprise	30. SQL Server 2008 R2 Standard、Enterprise、Workgroup、および Small Business
15. Microsoft Application Virtualization Hosting for Desktops	31. SQL Server 2008 R2 OEM 版 Standard および Enterprise
16. Microsoft Dynamics AX 2012	32. System Center Configuration Manager 2007 R3

33. System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology	46. Visual Studio Team Foundation Server 2010 with SQL Server 2008 Technology
34. System Center Data Protection Manager 2010	47. Visual Studio Team Explorer Everywhere 2010
35. System Center Operations Manager 2007 R2	48. Windows 7 Professional Upgrade
36. System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology	49. Windows Embedded Device Manager 2011
37. System Center Service Manager 2010	50. Windows Embedded Device Manager 2011 with SQL Server 2008 Technology
38. System Center Service Manager 2010 with SQL Server 2008 Technology	51. Windows HPC Server 2008 R2 Suite
39. System Center Virtual Machine Manager 2008 R2	52. Windows Server 2008 R2 HPC Edition
40. Visio 2010 Standard、Professional、および Premium	53. Windows Server 2008 R2 OEM
41. Visual Studio 2010 Professional	54. Windows Server 2008 R2 Standard および Enterprise
42. Visual Studio 2010 Premium	55. Windows Small Business Server 2011 Essentials
43. Visual Studio 2010 Ultimate	56. Windows Small Business Server 2011 Standard
44. Visual Studio LightSwitch 2011	57. Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on
45. Visual Studio Test Professional 2010	
5. 付録 1 - インターネット ベースのサービス	74

はじめに

本サービス プロバイダー製品使用権説明書には、以下の内容が記載されています。

- マイクロソフト製品の 2 つのライセンス モデルについて (各モデルに、共通の使用条件があります)。
- 各ライセンス モデルに属する製品

有効日 本サービス プロバイダー製品使用権説明書は 2011 年 7 月 1 日より有効となります。

共通の使用条件 共通の使用条件は、例外の記載がある場合を除いてすべての製品に適用されます。

ライセンス モデル 本製品使用権説明書には 2 つの章があり、章ごとに 1 つのライセンス モデルについて記載されています。ライセンス モデルは以下のとおりです。

- プロセッサごとのライセンス
- サブスクリイバー アクセス ライセンス (SAL)

目次と各章の冒頭に各ライセンス モデルに該当する製品の一覧表が掲載されています。各章では、その章で扱うライセンス モデルに関する標準の使用条件を規定し、さらに各製品に固有の使用条件について記載しています。

インターネット ベースのサービス 付録 1 には、本製品と共に提供されるインターネット ベースのサービスに関連する特記事項を記載しています。

各製品の使用条件 各製品の使用条件を参照するためには、その製品のライセンス モデルを特定する必要があります (目次をご参照ください)。製品をご使用いただく際には、次の使用条件が適用されます。

- 共通の使用条件
- 例外の記載がある場合を除き、該当するライセンス モデルの共通の使用条件
- その製品に固有の使用条件 (該当するライセンス モデルの章末に記載)

両方のモデルで許諾される製品 一部の製品については、プロセッサごとまたは SAL ライセンス モデルのどちらでも使用許諾することができます。この対象となる製品は次のとおりです。

- HPC Pack 2008 R2 Enterprise
- SQL Server 2008 R2 Standard、Enterprise、および Workgroup
- Windows HPC Server 2008 R2 Suite
- Windows Server 2008 R2 HPC Edition
- Windows Server 2008 R2 Standard および Enterprise
- Microsoft Dynamics AX 2012
- Microsoft Dynamics C5 2010 (アイスランドおよびデンマークでの使用向け)
- Microsoft Dynamics GP 2010 R2
- Microsoft Dynamics NAV 2009 R2
- Microsoft Dynamics SL 2011

以前のエディションの Microsoft サービス プロバイダー製品使用権説明書 本製品使用権説明書は通常、世界的に販売されている製品の最新バージョンについて記載しています。本製品使用権説明書に記載されていない製品の使用条件については、以前のエディションの製品使用権説明書をご参照ください。その製品について記載されている最新の使用権説明書を検索するには、<http://www.microsoftvolumelicensing.com/userights/DocumentSearch.aspx?Mode=3&DocumentTypeId=2> にある一覧をご参照ください。必要なエディションの Microsoft サービス プロバイダー製品使用権説明書がお手元がない場合は、マイクロソフトの担当者またはリセラーにご連絡ください。

変更事項の概要

本製品使用権説明書は、サービス プロバイダー ライセンス プログラムに基づき、マイクロソフト製品の使用許諾と管理が容易になるように構成されています。既存の製品の使用については、お客様は、本製品使用権説明書、またはその製品の使用に対して適用される製品使用権説明書の旧更新版を参照できます。以下では、製品使用権説明書の追加、削除、および他の変更について説明します。また、お客様からのご質問に対応するため、明確化事項も記載しています。これらの説明には、既存のマイクロソフト ポリシーが反映されています。

製品の追加 今回の更新版では、次の製品が追加されました。

- Commerce Server 2009 R2 Enterprise Edition
- Commerce Server 2009 R2 Standard Edition
- Core Infrastructure Server Suite Datacenter
- Microsoft Dynamics AX 2012
- Microsoft Dynamics GP 2010 R2
- Microsoft Dynamics SL 2011
- Visual Studio LightSwitch 2011

製品の削除 今回の更新版では、次の製品が削除されました。

- Commerce Server 2009 Enterprise Edition
- Commerce Server 2009 Standard Edition
- Microsoft Dynamics AX 2009
- Microsoft Dynamics GP 2010
- Microsoft Dynamics SL 7.0
- Microsoft Exchange Hosted Archive
- Office Live Meeting Professional
- Office Live Meeting Standard
- Windows Server 2008 R2 Standard、Enterprise、Datacenter、および Windows Server 2008 R2 for Itanium Based Systems for Outsourcing

説明およびその他の変更点 今回の更新版では、次の製品が更新されました。

- オンライン サービス
事業譲渡（雇用の保護）規則および既得権指令を含む欧州の一定の雇用法に関連して、お客様のオンラインサービスの使用に対応するため、本サービス プロバイダー製品使用権説明書のオンライン サービスの章に新しい規定を追加しました。この新しい規定では、お客様にオンライン サービスを提供することによって、マイクロソフトがお客様の従業員のマイクロソフトへの移転に同意するものではないこと、および、かかる移転が発生した場合は、お客様がマイクロソフトの損失を補償する義務を負うことを明記しています。

共通の使用条件

本使用条件は、お客様がサービス プロバイダー ライセンス契約に基づいて使用するすべてのマイクロソフト ソフトウェア およびオンライン サービスに適用されます。本「Microsoft サービス プロバイダー製品使用権説明書」に使用されている未定義の用語は、サービス プロバイダー ライセンス契約でそれらの用語に付与されている意味を有します。

- A. お客様の使用権** お客様が本書に記載される製品使用権を含むサービス プロバイダー ライセンス契約に従うことを条件として、お客様はその製品使用権で明示的に許可されるとおりに、ソフトウェアおよびオンライン サービスを使用することができます。
- B. 他のバージョンを使用する権利** 特定の製品の使用条件では、一度に 1 つ以上の複製またはインスタンスの使用が許可されます。該当する製品および許可された複製またはインスタンスに関し、お客様は使用許諾されたバージョンの代わりに下記バージョンの複製またはインスタンスを作成、保存、および実行することができます。
- 旧バージョン
 - 許可されている別の言語バージョン
 - 使用可能な異なるプラットフォーム バージョン (32 ビット版または 64 ビット版など)

お客様は、製品の使用条件で明示的に許可されていない限り、サーバー ソフトウェアや追加のソフトウェアなど、別のコンポーネントの別のバージョンを使用することはできません。

- C. 適用される製品使用権** お客様が本製品のバージョンのソフトウェア サービスを初回に提供した時点の SPUR の製品使用権が、本契約の有効期間中有効です。ただし、以下の条件が適用されます。(1) マイクロソフトが本製品の新しいバージョンの提供を開始し、お客様がその新しいバージョンを使用する場合、お客様は新しいバージョンの製品使用権説明書を遵守しなければなりません。また、(2) お客様が製品の以前のバージョンによるソフトウェア サービスを提供する場合、お客様が本契約に基づいて本製品によるソフトウェア サービスを最初に提供した時点の SPUR に記載されている本製品のバージョンの製品使用権が適用されます。ただし、最初に使用したバージョンに含まれていないコンポーネントが含まれる場合、かかるコンポーネントに固有の後継の製品使用権が適用されます。
- D. 障害復旧を目的とするコールド バックアップ** お客様がプロセッサごとのライセンス モデルで使用許諾を受け、ライセンス取得済みのサーバー上の物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で実行する、対象となるサーバー ソフトウェアの各インスタンスについて、お客様は、障害復旧専用サーバー上の 1 つの物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で一時的にバックアップ インスタンスを実行することができます。障害復旧用サーバーにおけるソフトウェアの使用については、本ソフトウェアの製品使用権および以下の制限が適用されます。
- 障害復旧用インスタンスを実行するサーバーは、(i) ソフトウェアの限定的な自己テストおよびパッチ管理、または (ii) 障害復旧の場合を除いて、電源を切っておかなければなりません。
 - そのサーバーを運用サーバーと同じクラスター内に配置することはできません。
 - お客様は、運用サーバーの復旧作業を行う間に限り、バックアップ インスタンスと運用サーバー用のインスタンスを同時に実行することができます。
- E. サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタル** 本書に特に明記されていない限り、サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタルは許可されません。
- F. 第三者のプログラム** 第三者が許諾するプログラムに別途使用条件がある場合、お客様はその条件に従ってその第三者が許諾するプログラムを使用するものとします。
- G. プレリリース ソフトウェア** プレリリース ソフトウェアに別途使用条件が付属する場合、お客様はその条件に従ってプレリリース ソフトウェアを使用するものとします。
- H. 更新プログラムおよび追加物** マイクロソフトは、お客様がライセンスを取得するソフトウェアにつき、更新または追加を行う場合があります。その場合、お客様は、その更新プログラムまたは追加物をソフトウェアと共に使用することができます。その更新プログラムおよび追加物に別途使用条件が付属する場合、お客様はその条件に従って更新プログラムおよび追加物を使用するものとします。
- I. 技術的な制限** お客様は、特定の使用方法が必要となるソフトウェアの技術的な制限に従う必要があります。この制限を回避することは禁止されています。詳細については、<http://www.microsoft.com/licensing/userights/TechLimit.aspx> をご参照ください。

- J. その他の権利** 任意のデバイス上のソフトウェアにアクセスする権利は、そのデバイスにアクセスするソフトウェアまたはデバイスに関するマイクロソフトの特許またはその他の知的財産権を行使する権利をお客様に付与するものではありません。
- K. ドキュメンテーション** お客様のコンピューターまたは内部ネットワークへの有効なアクセス権を有する者は、お客様の内部使用目的に従う限りにおいて、ドキュメンテーションを複製して使用することができます。ドキュメンテーションには、電子ブックは含まれません。
- L. 製品のアクティベーション** 一部の製品およびオンライン サービスのインストールおよびアクセスには、アクティベーションおよびボリューム ライセンス (VL) キーが必要となります。アクティベーションとは、ソフトウェアの使用を特定のデバイスに関連付けることです。アクティベーションまたはキーが必要となる場合の詳細については、www.microsoft.com/licensing の製品のアクティベーションに関するセクションのリンクをご参照ください。割り当てられたキーの使用、およびお客様のキー マネージメント サービス (KMS) コンピューターを使用した製品のアクティベーションに関する責任は、お客様が負うものとします。お客様は、キーを第三者に開示することはできません。
- お客様は、クライアント ソフトウェアで VL キーが必要な場合、アクティベーションが必要なアプリケーションのオリジナルの媒体に含まれている VL キーに限り提供することができます。
 - KMS コンピューターは、ライセンス契約で使用を許諾されたソフトウェアのコピーのアクティベーションを行う場合に限り使用できます。
- i. KMS およびマルチプル アクティベーション キー (MAK) アクティベーション** マルチプル アクティベーション キー (MAK) アクティベーション中、本ソフトウェアからマイクロソフトに本ソフトウェアとデバイスに関する情報が送信されます。キー マネージメント サービス (KMS) ホスト アクティベーション中、本ソフトウェアからマイクロソフトに KMS ホスト ソフトウェアとホスト デバイスに関する情報が送信されます。KMS を使用してアクティベーションを行った KMS クライアント デバイスからマイクロソフトに情報は送信されません。ただし、KMS ホストを使用して定期的に再アクティベーションを行う必要があります。MAK または KMS ホスト アクティベーション中にマイクロソフトに送信される情報には、次の情報が含まれません。
- 本ソフトウェアのバージョン、言語、およびプロダクト キー
 - デバイスのインターネット プロトコル アドレス
 - デバイスのハードウェア設定から生じた情報
- 詳細については、<http://www.microsoft.com/licensing/existing-customers/product-activation.aspx> をご参照ください。本ソフトウェアを使用することで、お客様はマイクロソフトがこれらの情報を収集することに同意されたものとします。お客様には、アクティベーションの前に、インストール プロセスでインストールされた本ソフトウェアのバージョンを使用する権利があります。インストール プロセスで指定された時間が経過した後、本ソフトウェアを使用するお客様の権利は、アクティベーションが完了するまで制限されます。これは、不正使用を防止するための措置です。その時間が過ぎると、アクティベーションを行うまで、お客様は本ソフトウェアを使用できなくなります。デバイスがインターネットに接続されている場合、本ソフトウェアは、アクティベーションのためにマイクロソフトに自動的に接続される場合があります。本ソフトウェアのアクティベーションは、インターネットまたは電話により、手動で行うこともできます。その場合、インターネットおよび電話の通話料金が発生することがあります。お客様がコンピューターのハードウェア構成を変更した場合や、本ソフトウェアの設定を変更した場合には、本ソフトウェアのアクティベーションを再度行う必要が生じることがあります。本ソフトウェアは、アクティベーションが実行されるまで、アクティベーションが必要なことをお知らせします。
- ii. KMS の適切な使用** お客様は、KMS コンピューターに、インターネットなどの管理されていないネットワークを経由してセキュリティで保護されていない状態でアクセスすることはできません。
- iii. MAK または KMS キーの不正使用** マイクロソフトは、MAK または KMS キーの不正使用に関連して次の処置を取る場合があります。
- 今後のアクティベーションの阻止
 - 非アクティベーション
 - その他の方法による、キーのアクティベーションまたは検証の阻止
- キーの非アクティベーションにより、お客様がマイクロソフトから新たなキーを取得することが必要になる場合があります。

- M. 追加の機能** マイクロソフトは、ソフトウェアまたはオンライン サービスについて追加の機能を提供することがあります。その際、使用条件および料金が別途適用されることがあります。
- N. 複数の製品または機能の同時使用** デバイス上で使用する、あるいはユーザーによって使用される各製品および別個に使用が許諾される各機能についてライセンスが必要となります。たとえば、Windows で Office を使用するには、Office と Windows の両方のライセンスが必要です。同様に、Windows Server の Remote Desktop Services にアクセスするには、Windows Server SAL と Remote Desktop Services SAL の両方が必要です。
- O. .NET Framework および PowerShell ソフトウェア** 以下に示す製品のソフトウェアには Microsoft .NET Framework ソフトウェアが含まれており、また PowerShell ソフトウェアが含まれていることもあります。これらのソフトウェア コンポーネントは Microsoft Windows の一部です。以下の「ベンチマーク テスト」に記載されている場合を除き、お客様がこれらのコンポーネントを使用する際には Microsoft Windows の使用条件が適用されます。
- Lync Server 2010 Standard および Enterprise
 - SQL Server 2008 R2
 - Visual Studio 2010 および Visual Studio Team (全製品)
 - Visual Studio LightSwitch 2011
 - BizTalk Server 2010
- P. データ使用に関する承諾** マイクロソフトがソフトウェアに関してサポート サービスを提供する際に、その一環として技術情報を収集し、使用することがあります。マイクロソフトは製品の向上のため、またはお客様およびお客様の顧客にカスタマイズされたサービスや技術を提供するためにのみ、その技術情報を使用できるものとします。マイクロソフトがお客様を特定できるような方法でその技術情報を開示することはありません。
- Q. 第三者のインターネット サイト** お客様およびお客様の顧客は、製品を使用して第三者のサイトにリンクすることができます。第三者のサイトはマイクロソフトの管理下にはありません。第三者のサイトのコンテンツ、第三者のサイトに含まれるリンク、および第三者のサイトの変更について、マイクロソフトは責任を負うものではありません。マイクロソフトは、お客様の便宜のためにこれら第三者のサイトへのリンクを提供しています。そのことは、マイクロソフトがその第三者のサイトの内容を推奨することを意味するものではありません。
- R. 個人を特定できる情報の転送の禁止** お客様の許可を得ることなく、製品によってお客様のサーバーからマイクロソフトのコンピューター システムに、個人を特定できる情報が送信されることはありません。
- S. ベンチマーク テスト**
- i. ソフトウェア** お客様は、マイクロソフトの事前の書面による許可がない場合、サーバー ソフトウェアまたは付属するサーバー ソフトウェアのベンチマーク テストの結果を第三者に対して開示することはできません。ただし、この制限は Microsoft .NET Framework (以下を参照) および次の製品には適用されません。Live Communications Server、Systems Center Operations Manager、System Center Data Protection Manager、Systems Management Server、Virtual Server、Windows Server、および Windows Small Business Server。ただし、この制限は SQL テクノロジーには適用されます (該当する製品に使用許諾されている場合)。
 - ii. Microsoft .NET Framework** ソフトウェアには 1 つまたは複数の .NET Framework コンポーネント (以下「.NET コンポーネント」) が含まれている場合があります。この場合、お客様は、これらのコンポーネントの内部ベンチマーク テストを実施することができます。お客様は、<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406> に提示されている条件に従うことを条件に、それらのコンポーネントのベンチマーク テストの結果を開示することができます。お客様がベンチマーク テストの結果を公表した場合、お客様とマイクロソフトの間のその他の合意にかかわらず、マイクロソフトは <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406> に提示されている条件に従うことを条件に、該当する .NET コンポーネントと競合するお客様の製品についてマイクロソフトが実施したベンチマーク テストの結果を公表する権利を有します。
- T. SQL Server Reporting Services マップ レポート アイテム** 本ソフトウェアには、地図、画像、およびその他のデータなどのコンテンツを Bing Maps (またはその後継となるブランド) のアプリケーション プログラミング インターフェイス (以下「Bing Maps API」といいます) を介して取得し、地図、航空写真、およびハイブリッド画像の上にデータを表示するレポートを作成する機能が含まれていることがあります。この機能が含まれている場合、お客様は、本ソフトウェアに統合されているアクセス方法および手段と共に、当該方法および手段を介してのみ、この機能を使用して動的ドキュメントまたは静的ドキュメントを作成および表示することができます。これ以外の場合、Bing Maps API を介して利用可能なコンテンツのデータベースを複製、格納、アーカイブ、または

作成することはできません。お客様は、Bing Maps API を使用して、センサー ベースのガイダンスまたは経路を提供したり、Bing Maps API を介して利用可能な道路交通データまたは鳥瞰画像（あるいは関連するメタデータ）を使用したりすることは一切できません。お客様は、Bing Maps API および関連コンテンツの使用についても、<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=21969> に掲載されている追加条件に従うものとします。

お客様は、以下を行うことはできません。

- 本ソフトウェアに含まれている、任意のロゴ、商標、著作権、電子透かしなどのマイクロソフトまたはそのサプライヤーの表示（本ソフトウェアを介してお客様が利用可能な任意のコンテンツを含みます）を削除、最小化、ブロック、または変更すること。
- 第三者が複製できるように本ソフトウェア（本ソフトウェアに含まれるアプリケーション プログラミング インターフェイスを含みます）を公開すること。
- 本ソフトウェアのデータ マッピング サービス機能を使用して作成されたドキュメント、テキスト、または画像を共有またはその他の方法で頒布すること。

U. マルチプレキシング（多重化） 次の目的で使用するハードウェアまたはソフトウェア（「マルチプレキシング」または「プーリング」と呼ばれることがあります）を使用した場合であっても、必要なライセンス（種類を問いません）の数が減じられることはありません。

- 接続数をプールする。
- 情報の経路を変更する。
- 製品に直接アクセスする、または製品を直接使用するデバイスやユーザーの数を減じる。
- 製品により直接管理されるオペレーティング システム環境（OSE）、デバイス、またはユーザーの数を減じる。

V. 再頒布可能コード ソフトウェアまたはオンライン サービスには、お客様が開発するプログラムに含め頒布できるコード（再頒布可能コードとも呼ばれます）が含まれていることがあります。ただし、お客様は以下の条件に従う必要があります。ここでいう「お客様」には、お客様の顧客も含まれるものとします。

i. 使用および再頒布の権利 以下に記載するコードおよびテキスト ファイルを「再頒布可能コード」と定義します。

- **REDIST.TXT ファイル** お客様は、REDIST.TXT ファイルに記載された再頒布可能コードをオブジェクト コード形式で複製および頒布することができます。
- **サンプル コード** お客様は、「sample」の表示のあるコードのソース コードおよびオブジェクト コードを改変、複製、および頒布することができます。
- **OTHER-DIST.TXT ファイル** お客様は、OTHER-DIST.TXT ファイルに記載されたコードをオブジェクト コード形式で複製および頒布することができます。
- **第三者による再頒布** お客様は、お客様のプログラムの頒布者に対して、そのプログラムの一部として再頒布可能コードの複製および頒布を許可することができます。
- **Visual Studio 2010 Professional Edition に関する追加の使用条件** 本ソフトウェアには、以下の再頒布可能コードが含まれることがあります。お客様には以下のことが許諾されます。
 - **Microsoft Merge Modules** Microsoft Merge Modules の出力結果を改変することなく複製および頒布すること。
 - **MFC、ATL、CRT** お客様のプログラムの設計、開発、およびテストを行うために、Microsoft Foundation Classes (MFC)、Active Template Libraries (ATL)、および C ランタイム (CRT) をソース コード形式で改変し、お客様が改変したファイルをオブジェクト コード形式で複製し、新たな名称を用いて頒布すること。
 - **MDAC** MDAC_TYP.EXE ファイルをオブジェクト コード形式で複製および頒布すること。
 - **イメージ ライブラリ** ソフトウェア付属の文書の記載に従い、イメージ ライブラリ内のイメージおよびアニメーションを複製および頒布すること。お客様は、コンテンツを改変することもできます。お客様がコンテンツを改変した場合、お客様は、改変前のコンテンツにつき認められている用途に従ってこれを使用する必要があります。

ii. 再頒布の条件 お客様は、お客様が頒布するあらゆる再頒布可能コードについて以下の条件に従わなければならないとします。

- お客様のプログラムにおいて再頒布可能コードに重要かつ主要な新しい機能を追加すること。
- 頒布者およびエンド ユーザーに対し、本製品使用権説明書を含むお客様のサービス プロバイダーライセンス契約と同等以上に再頒布可能コードを保護する条項に同意するよう要求すること。
- お客様のプログラムに、お客様自身の有効な著作権表示を付すること。
- お客様のプログラムの頒布または使用に関する請求（弁護士費用を含みます）について、マイクロソフトを免責、防御および補償すること。

iii. 再頒布の制限 お客様は、以下を行うことはできません。

- 再頒布可能コードにおける著作権、商標または特許の表示を改変すること。
- マイクロソフトの商標をお客様のプログラムの名称の一部に使用したり、お客様の製品がマイクロソフトから由来したりマイクロソフトが推奨していることを示唆するような方法で使用すること。
- OTHER-DIST.TXT ファイルに記載されているコード以外の再頒布可能コードを、Windows 以外のプラットフォームで動作させるために頒布すること。
- 悪意のある、欺瞞的、あるいは違法なプログラムに再頒布可能コードを含めること。
- 再頒布可能コードの一部に除外ライセンスが適用されることになるような方法で再頒布可能コードのソース コードを改変または再頒布すること。「除外ライセンス」とは、使用、改変、または頒布の条件として以下を要求するライセンスをいいます。
 - コードをソース コード形式で公表または頒布すること。
 - その他の者がコードを改変することができること。

本製品の使用には、以下の使用条件が適用されます。

- A. インスタンス** お客様は、ソフトウェアのセットアップまたはインストール手順を実行することにより、本ソフトウェアの「インスタンス」を作成したものと見なされます。また、既存のインスタンスを複製することによっても、ソフトウェアのインスタンスを作成したものと見なされます。ソフトウェアという場合、ソフトウェアの "インスタンス" も含まれます。
- B. インスタンスの実行** お客様は、ソフトウェアをメモリにロードし、その 1 つまたは複数の指示を実行することにより、ソフトウェアの「インスタンスを実行」したものと見なされます。一度あるインスタンスを実行すると、そのインスタンスは、(その指示の実行が継続されているか否かにかかわらず) それがメモリから削除される時点まで実行されているものと見なされます。
- C. オペレーティング システム環境 (OSE)** 「オペレーティング システム環境」(OSE) とは次のように定義されます。
- i. 独立したコンピューターの ID (主要コンピューター名もしくは類似の一意の識別子) または独立した管理権を可能にする、オペレーティング システム インスタンスの全体あるいは一部、または仮想 (もしくはエミュレートされた) オペレーティング システムの全体あるいは一部
 - ii. 上記 i に規定したオペレーティング システム インスタンスまたはその一部の上で作動するよう設定されたアプリケーションがある場合は、そのインスタンス

オペレーティング システム環境 (OSE) には、物理的なものと仮想的なものの 2 種類があります。物理オペレーティング システム環境 (OSE) は、物理ハードウェア システム上で直接作動するよう設定されています。ハードウェア仮想化ソフトウェア (Microsoft Virtual Server または類似のテクノロジなど) を実行するため、またはハードウェア仮想化サービス (Microsoft 仮想化テクノロジまたは類似のテクノロジなど) を提供するために使用されるオペレーティング システム インスタンスは、物理オペレーティング システム環境 (OSE) の一部です。仮想オペレーティング システム環境 (OSE) は仮想 (またはエミュレートされた) ハードウェア システムを実行するために構成されます。物理ハードウェア システムでは、これには以下のいずれかあるいは双方が含まれることがあります。

- i. 1 つの物理オペレーティング システム環境 (OSE)
 - ii. 1 つまたは複数の仮想オペレーティング システム環境 (OSE)
- D. サーバー** サーバーとは、本サーバー ソフトウェアを実行することができる物理ハードウェア システムをいいます。ハードウェアパーティションまたはブレードは、独立した物理ハードウェア システムと見なされます。

- E. **ライセンスの割り当て** 「ライセンスを割り当てる」とは、単に 1 台のデバイスまたは 1 人のユーザーに対してそのライセンスを指定することをいいます。
- F. **ソフトウェアの分離の禁止** 明示的に許可されている場合を除き、お客様は、1 つのライセンスに基づいてソフトウェアを分離して複数のオペレーティング システム環境 (OSE) で実行することはできません。この制限は、それらのオペレーティング システム環境 (OSE) が同一の物理ハードウェア システム上に存在する場合でも適用されます。
- G. **物理および仮想プロセッサ** 物理プロセッサとは、物理ハードウェア システム上のプロセッサをいいます。物理オペレーティング システム環境 (OSE) は、物理プロセッサを使用します。また、仮想プロセッサとは、仮想 (またはエミュレートされた) ハードウェア システム上のプロセッサをいいます。仮想オペレーティング システム環境 (OSE) は、仮想プロセッサを使用します。ライセンス取得を目的とする場合に限り、仮想プロセッサは、基本となる物理ハードウェア システム上の各物理プロセッサと同数のスレッドとコアを有するものと見なされます。

ライセンス モデル: プロセッサごとのライセンス

この章は以下の一覧表に記載された製品に適用されます (LM の付いた製品については B 欄も、アスタリスクの付いた製品については C 欄もご覧ください)。

- | | |
|---|--|
| 1. BizTalk Server 2010 Branch および Standard Edition* LM | 16. SQL Server 2008 R2 Standard および Workgroup* |
| 2. BizTalk Server 2010 Enterprise Edition ^{LM} | 17. SQL Server 2008 R2 Enterprise* LM |
| 3. Commerce Server 2009 R2 Standard Edition ^{LM} | 18. SQL Server 2008 R2 Datacenter* LM |
| 4. Commerce Server 2009 R2 Enterprise Edition ^{LM} | 19. SQL Server 2008 R2 Web* |
| 5. Core Infrastructure Server Suite Datacenter* | 20. Virtual Server 2005 R2 Enterprise Edition* |
| 6. Forefront Threat Management Gateway 2010 Standard および Enterprise ^{LM} | 21. Windows Server 2008 R2 OEM Standard および OEM Enterprise* |
| 7. HPC Pack 2008 R2 Enterprise* | 22. Windows HPC Server 2008 R2 Suite* |
| 8. Microsoft Dynamics AX 2012* | 23. Windows Server 2008 R2 HPC Edition* |
| 9. Microsoft Dynamics C5 2010 (アイスランド およびデンマークでの使用向け)* | 24. Windows Server 2008 R2 Standard、Enterprise、Datacenter、および for Itanium Based Systems* |
| 10. Microsoft Dynamics GP 2010 R2* | 25. Windows Server 2008 R2 Standard with System Center Operations Manager 2007 R2* |
| 11. Microsoft Dynamics NAV 2009 R2* | 26. Windows Server 2008 R2 Standard with System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology* |
| 12. Microsoft Dynamics SL 2011* | 27. Windows Web Server 2008 R2* |
| 13. Provisioning System* | |
| 14. Search Server 2010 | |
| 15. SharePoint Server 2010 for Internet Sites Enterprise* LM | |

A. 標準の使用条件 お客様は、適切なライセンスを取得する各サーバーについて以下の権利を有します。

I) サーバー ライセンス お客様は、サーバー上で本サーバー ソフトウェアのインスタンスを実行する前に、以下に従って必要なソフトウェア ライセンスの数を算定し、そのライセンスをそのサーバーに割り当てる必要があります。

a) 必要なライセンス数の算定 必要なライセンスの数は、サーバー上の物理プロセッサの総数（下記のオプション (i) を参照）と使用する仮想プロセッサおよび物理プロセッサの数（下記のオプション (ii) を参照）のいずれかに基づいて算定します。本ソフトウェアの Enterprise Edition では、どちらのオプションでも選択できます。本ソフトウェアの Enterprise Edition 以外のエディションでは、オプション (ii) を選択する必要があります。

i) 無制限の仮想化 このオプションでは、1 台のサーバーにつき必要とされるソフトウェア ライセンスの数は、そのサーバー上の物理プロセッサの総数と同じです。このオプションに基づいてライセンス数を算定し、ライセンスを割り当てた場合、お客様は、物理プロセッサおよび仮想プロセッサの数に関係なく、1 つの物理オペレーティング システム環境 (OSE) と任意の数の仮想オペレーティング システム環境 (OSE) においてサーバー ソフトウェアを実行できます。このオプションは本ソフトウェアの Enterprise Edition にのみ適用できます。

ii) 使用プロセッサに基づくライセンス このオプションでは、1 台のサーバーにつき必要とされるソフトウェア ライセンスの総数は、以下の (A) および (B) で要求されるソフトウェア ライセンスの合計と同数です。Enterprise Edition 以外のエディションには、このオプションのみ適用できます。

(A) サーバー上の物理オペレーティング システム環境 (OSE) で本サーバー ソフトウェアのインスタンスを実行するためには、お客様は、物理オペレーティング システム環境 (OSE) が使用する各物理プロセッサにつき 1 つのソフトウェア ライセンスを取得する必要があります。

(B) サーバー上の仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で本サーバー ソフトウェアのインスタンスを実行するためには、お客様は、仮想オペレーティング システム環境 (OSE) が使用する各仮想プロセッサ¹につき 1 つのソフトウェア ライセンスを取得する必要があります。仮想オペレーティング システム環境 (OSE) が仮想プロセッサの一部を使用する場合でも、その一部は、完全な仮想プロセッサとしてカウントされます。

¹ 仮想プロセッサとは、仮想（またはエミュレートされた）ハードウェア システム上のプロセッサをいいます。仮想オペレーティング システム環境 (OSE) は、仮想プロセッサを使用します。ライセンス取得を目的とする場合に限り、仮想プロセッサは、基本となる物理ハードウェア システム上の各物理プロセッサと同数のスレッドとコアを有するものと見なされます。したがって、各物理プロセッサが X 基の論理プロセッサを提供するサーバー上のいずれの仮想オペレーティング システム環境 (OSE) でも、以下の i) と ii) を合計した数のライセンスが必要になります。

- i. 仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で使用する各 X 基の論理プロセッサにつき 1 ライセンス
- ii. 使用する論理プロセッサの数が X の整数倍ではない場合に、1 ライセンス

上記の " X " は、コアの数、または該当する場合は各物理プロセッサ内のスレッドの数に等しいものとします。

II) 必要なライセンス数のサーバーへの割り当て

a) お客様は、サーバーについて必要となるソフトウェア ライセンスの数を確定した後、その数のソフトウェア ライセンスをそのサーバーに割り当てなければなりません。そのサーバーは同ライセンスのすべてに関して「ライセンス取得済みのサーバー」と見なされます。お客様は、同じライセンスを 1 台を超えるサーバーに割り当てることはできません。ハードウェアのパーティションまたはブレードは、独立したサーバーと見なされます。

b) ソフトウェア ライセンスの再割り当てはできますが、最後に割り当てた日から 30 日以内に再割り当てを行うことはできません。ただし、恒久的なハードウェアの故障により、ライセンス取得済みのサーバーの使用を中止する場合には、その期間より早くソフトウェア ライセンスを再割り当てすることができます。お客様がライセンスを再割り当てする場合、お客様がライセンスを再割り当てしたサーバーが、そのライセンスに関して新たな「ライセンス取得済みのサーバー」と見なされます。

III) サーバー ソフトウェアのインスタンスの実行 お客様の本ソフトウェアを実行する権利は、必要なライセンス数の算定に使用したオプションによって異なります。

- a) **無制限の仮想化** サーバー上の物理プロセッサの総数に等しい数のライセンスをサーバーに割り当てた場合:
- i) お客様は、そのサーバー上の 1 つの物理オペレーティング システム環境 (OSE) および任意の数の仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で、一度に任意の数の本サーバー ソフトウェアのインスタンスを実行できます。
 - ii) 仮想プロセッサに対するライセンスは不要です。
- b) **使用プロセッサに基づくライセンス** お客様は、ライセンス取得済みのサーバー上の物理および仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で、一度に任意の数の本サーバー ソフトウェアのインスタンスを実行できます。ただし、そのオペレーティング システム環境 (OSE) が使用する物理または仮想プロセッサの総数は、そのサーバーに割り当てられたソフトウェア ライセンス数を超えないものとします。
- IV) **クライアント ソフトウェアのインスタンスの実行** お客様は、任意の数のデバイス上の物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で、次の表に示すクライアント ソフトウェアの任意の数のインスタンスを実行または使用することができます。お客様およびお客様の顧客はクライアント ソフトウェアを、直接、または他のクライアント ソフトウェアを通じて間接的に、サーバー ソフトウェアと共にのみ使用できます。

製品	クライアント ソフトウェア
BizTalk Server 2010 Branch、Standard、および Enterprise Edition	<p>BizTalk Server 2010 (すべてのエディション)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 管理および監視ツール • BizTalk Server 関連スキーマおよびテンプレート • 開発ツール • マスター シークレット サーバー/エンタープライズ シングル サインオン • ソフトウェア開発キット • MQHelper.dll • ビジネス アクティビティの監視 ("BAM") イベント API、インターセプター ツール、および管理ツール • BAM 警告 (SQL Notification Services 用) • BAM クライアント • Windows SharePoint Services アダプター Web サービス • Windows Communication Foundation アダプター • SOAP 受信アダプター • HTTP 受信アダプター • ADOMD.NET • MSXML • SQLXML • UDDI • ビジネス ルール コンポーネント • MQSeries エージェント • BizTalk RFID クライアントおよびツール • BizTalk RFID SDK • BizTalk RFID Mobile <p>BizTalk Server 2010 Branch Edition のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> • BizTalk Adapter for SQL Server

Commerce Server 2009 R2 Standard および Enterprise Edition	<ul style="list-style-type: none"> • アダプター • スキーマ エディター • ビジネス ユーザー インターフェイス
HPC Pack 2008 R2 Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> • クライアント ユーティリティ • Microsoft Message Passing Interface • Web コンポーネント
Forefront Threat Management Gateway □2010 Enterprise Edition	<ul style="list-style-type: none"> • Forefront Threat Management Gateway Enterprise Management Server • Forefront Threat Management Gateway Management Console • ソフトウェア開発キット
Forefront Threat Management Gateway 2010 Standard Edition	<ul style="list-style-type: none"> • Forefront Threat Management Gateway Management Console • ソフトウェア開発キット
SQL Server 2008 R2 Standard、Enterprise、Datacenter、Web、および Workgroup	<ul style="list-style-type: none"> • Business Intelligence Development Studio • クライアント ツール下位互換性 • クライアント ツール接続 • クライアント ツール ソフトウェア開発キット • 管理ツール – 基本 • 管理ツール – 完全 • SQL クライアント接続 SDK • SQL Server 2008 R2 Books Online • Microsoft Sync Framework
Virtual Serve□2005 R2 Enterprise Edition	<ul style="list-style-type: none"> • バーチャル マシン リモート コントロール
Windows HPC Server 2008 R2 Suite	<ul style="list-style-type: none"> • クライアント ユーティリティ • Microsoft Message Passing Interface • Web コンポーネント • サーバー移行ツール • AD 移行ツール • FRS 監視ツール • リモート デスクトップ接続のクライアント • RSAT クライアント
Windows Server 2008 R2 HPC Edition	<ul style="list-style-type: none"> • サーバー移行ツール • AD 移行ツール • FRS 監視ツール • リモート デスクトップ接続のクライアント • RSAT クライアント
Windows Server 2008 R2 Standard、Enterprise、Datacenter、および Windows Server 2008 R2 for Itanium Based Systems	<ul style="list-style-type: none"> • AD 移行ツール • FRS 監視ツール • リモート デスクトップ接続のクライアント • RSAT クライアント

	<ul style="list-style-type: none"> • サーバー移行ツール • Microsoft Application Virtualization Sequencer Version 4.6 • Microsoft System Center Application Virtualization Streaming Server Version 4.6 • Microsoft System Center Application Virtualization Management Server Version 4.6 • Microsoft Application Virtualization Client for Remote Desktop Services Version 4.6
<p>Windows Server 2008 R2 Standard with System Center Operations Manager 2007 R2 および</p> <p>Windows Server 2008 R2 Standard with System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology</p>	<p>Windows Server 2008 R2 Standard Edition</p> <ul style="list-style-type: none"> • AD 移行ツール • FRS 監視ツール • リモート デスクトップ接続のクライアント • RSAT クライアント • サーバー移行ツール • Microsoft Application Virtualization Sequencer Version 4.6 • Microsoft System Center Application Virtualization Streaming Server, Version 4.6 • Microsoft System Center Application Virtualization Management Server Version 4.6 • Microsoft Application Virtualization Client for Remote Desktop Services Version 4.6 <p>System Center Operations Manager 2007 R2</p> <ul style="list-style-type: none"> • エージェントおよびヘルパーのバイナリ • 監査データベース • コネクタ フレームワーク • コンソール • データベース • 管理パック • パワー シェル • レポート データ ウェアハウス • レポート サーバー • Web コンソール <p>System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> • Analysis Services 共有ツール • Business Intelligence Development Studio • 接続コンポーネント • レガシ コンポーネント • 管理ツール • Notification Services クライアント コンポーネント • Reporting Services レポート マネージャー • Reporting Services 共有ツール • SQL Server 2008 共有ツール

	<ul style="list-style-type: none"> • ソフトウェア開発キット • SQLXML クライアント機能 • SQL Server 2008 Books Online • SQL Server Mobile サーバー ツール
--	--

V) お客様のサーバーまたはストレージ メディア上でのインスタンスの作成と格納 お客様は、取得する各ソフトウェア ライセンスにつき、以下の追加の権利を有します。

- a) サーバー ソフトウェアおよびクライアント ソフトウェアの任意の数のインスタンスを作成する。
- b) 本サーバー ソフトウェアおよびクライアント ソフトウェアのインスタンスを任意のサーバーまたはストレージ メディアに格納する。
- c) 上述のソフトウェア ライセンスに基づいてサーバー ソフトウェアのインスタンスを実行する権利を行使する目的でのみ、サーバー ソフトウェアおよびクライアント ソフトウェアのインスタンスを作成して格納する (第三者にインスタンスを再頒布することはできません)。

VI) 追加のライセンス条件および追加の使用権

- a) **アクセスにはサブスクリイパー アクセス ライセンス (SAL) は不要** お客様は、サーバー ソフトウェアにアクセスするその他のデバイスについて、SAL を取得する必要はありません。
- b) **再頒布可能コード** お客様は、共通の使用条件に従って、再頒布可能コードを利用することができます。
- c) **管理パック** 本ソフトウェアには管理パックが含まれることがあります。これらの管理パックの使用には、本製品使用権説明書の「SAL ライセンス モデル」の項に記載されている、該当する System Center 製品の使用条件が適用されます。



オンライン サービス製品の追加の条件

a) **オンライン サービスの場合の条件の相違点** お客様のサービス プロバイダー ライセンス契約の条件の中には、使用権のコミットメントなど、オンライン サービスには適用されないものがあります。条件の相違点は次のとおりです。

使用条件の更新 マイクロソフトはこれらの使用条件を随時更新することがあります。マイクロソフトが条件を更新する場合、既存のライセンスに基づくオンライン サービスの利用については、サブスクリプション ライセンス期間の最初の 12 か月間は、更新前の使用条件が適用されます。ただし、使用権に関するこの確約にかかわらず、法令によってライセンス条件の変更が必要な場合は、直ちに新しい条件が適用されます。更新については、一般向け適用日の少なくとも 30 日前にお客様に通知するよう努めます。マイクロソフトが本製品使用権説明書で新しい使用条件を公開した後、または電子メールで更新についてお客様に連絡した後にお客様がオンライン サービスをご利用になることで、お客様は新しい条件に同意したものと見なされます。

オンライン サービスの更新 マイクロソフトは、必要に応じてオンライン サービスの機能を変更したり、オンライン サービスの新しいバージョンをリリースすることができるものとします。更新により、一部の機能が利用できなくなる場合があります。マイクロソフトがオンライン サービスを更新し、更新されたオンライン サービスをお客様がご利用にならない場合、一部の機能が使用できなくなることや、オンライン サービスの使用が中断されることがあります。

オンライン サービスの一時中断 マイクロソフトは、以下の場合にオンライン サービスを一時中断できるものとします。

- お客様 (お客様のユーザーを含む) によるオンライン サービスの使用が、ネットワークの機能や統合性、あるいは他者によるオンライン サービスの使用を直接または間接的に脅かすと判断した場合
- お客様またはお客様のユーザーが、本製品使用権説明書を含むお客様のサービス プロバイダー ライセンス契約に違反したと判断した場合
- お客様 (お客様のユーザーを含む) による使用が、そのオンライン サービスのドキュメントで指定されている割り当てを超えた場合、または

- その他の法律によって求められた場合

b) オンライン サービスの満了または終了 オンライン サービス サブスクリプションが満了または終了する際に、お客様はマイクロソフトに連絡し、以下のいずれかの処理を選択する必要があります。

- (1) お客様のアカウントを無効にし、顧客データを削除する。
- (2) サブスクリプションの満了日または終了日から少なくとも 90 日間 (以下、「保持期間」といいます)、機能が限定されたアカウントにお客様の顧客データを保持し、お客様がデータを抽出できるようにする。

(1) を選択した場合、お客様はアカウントから顧客データを抽出できません。(2) を選択した場合、お客様は関連コストをマイクロソフトに払い戻すものとします。お客様が (1) または (2) を選択しない場合、マイクロソフトは (2) に従ってお客様の顧客データを保持します。

保持期間の満了後、マイクロソフトはお客様のアカウントを無効にして顧客データを消去します。

顧客データの消去に関する免責 お客様は、上述の場合を除き、マイクロソフトがお客様の顧客データを引き続き保持する義務、または抽出や返却を行う義務を負わないことに同意するものとします。さらにお客様は、本条件に従ったお客様の顧客データの削除について、マイクロソフトがいかなる責任も負わないことに同意するものとします。

c) お客様のアカウントに関する責任 お客様のオンライン サービス アカウント (お客様が設定したユーザーを含む) とパスワード (ある場合) を使用したオンライン サービスのご利用については、お客様のアカウントまたは関連アカウントを使用して行われる第三者とのやり取りも含め、すべてお客様が責任を負うものとします。お客様のアカウントとパスワードは、機密情報として保持される必要があります。お客様のアカウントが悪用された可能性がある場合、またはオンライン サービスに関連するセキュリティ侵害の疑いがある場合は、お客様は直ちにマイクロソフトまで連絡する必要があります。

d) オンライン サービスでのソフトウェアの使用 お客様がオンライン サービスにサインインして使用する際には、場合によって特定の Microsoft ソフトウェアをインストールする必要があります。この場合、次の条件が適用されます。

Microsoft ソフトウェア ライセンス条項 お客様は、オンライン サービスで使用する場合にのみお客様のデバイスに本ソフトウェアをインストールして使用することができます。お客様のソフトウェア使用権は、お客様のオンライン サービス使用権が終了または期限切れになったとき、またはマイクロソフトがオンライン サービスを更新してそのソフトウェアをサポートしなくなったときのいずれか早い方の時点で終了します。お客様の使用権が終了した場合、お客様は本ソフトウェアをアンインストールする必要があります。お客様のソフトウェア使用権が終了した時点で、マイクロソフトもお客様のそのソフトウェア使用を無効にします。

Microsoft ソフトウェアの自動更新 マイクロソフトは、お客様がご使用のソフトウェアのバージョンを随時確認し、更新プログラムの使用を推奨することや、お客様のデバイスに更新プログラムをダウンロードすることがあります。更新プログラムのダウンロードの際に、お客様に通知されない場合もあります。

e) 他の Web サイトやサービスの使用 お客様がオンライン サービスにアクセスして使用する際は、マイクロソフトの特定の Web サイトまたはサービスの使用が必要になる場合があります。その場合は、それらの Web サイトまたはサービスに関連付けられている使用条件が、適宜お客様による使用に適用されます。

f) 第三者のコンテンツとサービス マイクロソフトは、お客様がオンライン サービス経由で直接または間接的にアクセスした第三者の Web サイトのコンテンツに対する責任を負いません。オンライン サービスに関連する第三者 (広告主を含む) との取引 (商品やサービスの提供や代金支払など) に関する責任はお客様が負うものとします。

g) 既得権 お客様は、次の請求においてマイクロソフトを防御するものとします。(1) お客様と現在または以前の従業員もしくは業務委託者との間の現在または以前の雇用関係に起因する、または団体協約に基づいて生じた請求 (不当解雇、明示または黙示的な雇用契約の違反、給付金または賃金の支払い、不当解雇のコスト、余剰コストに対する請求を含みますが、これに限定されません)、または (2) 既得権指令 (Council Directive 2001/23/EC、Council Directive 98/50/EC によって修正された以前の Council Directive 77/187/EC) または同一もしくは同様の法令または規制を施行する国内法令または規則 (英国の 2006 年事業譲渡 (雇用の保護) 規則を含みます) に基づいて生じるすべての債務または負債に起因する請求。これには、本加入契約に関連するお客様の現在または以前の従業員もしくは業務委託者からの請求 (当該法令または規則に従ってマイクロソフトに雇用関係が移転された後のマイクロソフトによる解雇に関連する請求を含みます) が含まれます。

お客様は、最終判決 (またはお客様が同意した和解) に基づく賠償金の支払いを行うものとします。本条項は、このような請求に対するマイクロソフトの唯一の救済方法を規定するものです。マイクロソフトは、本条項に従い、請求がなされた場合は直ちに書面でお客様に通知する必要があります。マイクロソフトは、(1) にかかる請求の防

御または解決に対する全権をお客様に委ねるものとし、(2) 当該請求に対する防御に関し合理的な支援を提供しなければなりません。かかる支援の提供にあたりマイクロソフトが負担した合理的な額の実費については、お客様が補償します。

- h) お客様の顧客データ** お客様は、オンライン サービスと関連した用途のための顧客データを提出することができます。「顧客データ」とは、オンライン サービスによって処理またはアクセスされるすべてのデータ、音声、または画像ファイル、およびソフトウェア アプリケーションのことをいいます。マイクロソフトがお客様にライセンスを付与するマテリアルを除き、オンライン サービスで使用するためお客様が提出した顧客データについて、マイクロソフトは所有権を主張しません。第三者との通信またはコラボレーションを可能にするオンライン サービスで使用するための顧客データを提出することにより、お客様はそれらの第三者が以下を行えるようになることに同意するものとします。

- お客様の顧客データの使用、複製、頒布、表示、発行、および改変を行うこと、
- 顧客データとの関連でお客様の名前を公表すること、および
- 第三者に対し、上記の行為のための便宜を図ること。

一部のオンライン サービスは、第三者による上記の行為を制限する機能を提供している場合があります。顧客データの用途に適した機能を使用することは、お客様の責任です。

- i) 顧客データの所有権** 両当事者の間において、お客様が顧客データのすべての権利、権原、および権益を留保します。マイクロソフトは、該当するオンライン サービスについてお客様がマイクロソフトに付与する権利を除き、顧客データに関するいかなる権利も取得しません。本項は、マイクロソフトがお客様にライセンスを付与するソフトウェアまたはサービスに対しては適用されません。

- j) プライバシー** オンライン サービスで収集された個人データは、マイクロソフトまたはサービス プロバイダーが施設を保有する米国またはその他の国において、転送、保存、および処理されることがあります。これには、お客様が本サービスを使用して収集する個人データが含まれます。お客様は、本オンライン サービスの利用をもって、国外または地域外への個人データの転送に同意するものとします。お客様は、以下を目的として、個人データをお客様に提供する人物から必要な許可を取得することにも同意するものとします。

- マイクロソフトおよびその代理人に当該データを転送すること、および
- 当該データの転送、保存、および処理を許可すること。

k) マイクロソフトによる顧客データの使用

顧客データは、お客様にオンライン サービスを提供するためにのみ使用されます。これには、オンライン サービスの運用に影響を与える問題の防止、検出、および修復を目的としたトラブルシューティングと、ユーザーに対する新たな脅威や進化する脅威 (マルウェア、スパムなど) の検出と防止にかかわる機能の改善が含まれる場合があります。

お客様によるオンライン サービスの使用に関して第三者 (法執行機関その他の政府機関または民間の訴訟当事者など) から要求があった場合は、お客様が応じるものとします。法令により求められる場合を除き、マイクロソフトが顧客データを第三者に開示することはありません。第三者から顧客データを要求された場合、マイクロソフトは、お客様に直接データを請求するよう第三者に案内するよう努めます。その一環として、マイクロソフトがお客様の基本的な連絡先情報を当該第三者に提供する場合があります。顧客データを第三者に開示せざるを得ない場合、マイクロソフトは、法令により禁止されている場合を除き、開示の前にお客様に通知するために商業的に合理的な努力を行うものとします。

- l) 顧客データのセキュリティ** マイクロソフトは、オンライン サービスに該当するセキュリティ概要で示している妥当かつ適切な技術および組織的対策を講じ、オンライン サービスによって処理またはアクセスされるお客様の顧客データを不慮または違法な損失、アクセス、または開示から保護するよう努めています。お客様はこれに関して次のことに同意するものとします。

- これらの手段は、顧客データのセキュリティと処理に関してマイクロソフトの唯一の責任であること。
- これらの手段が、お客様のサービス プロバイダー ライセンス契約または秘密保持に関するその他の契約に記載されている守秘義務に代わるものであること。

- m) 使用範囲 (利用規定)** お客様は、以下を行うことはできません。

- 法律、規制、政府命令、または関連するすべての司法命令で禁止されている方法で、あるいは他者の法的権利を侵害する方法でオンライン サービスを使用する。
- オンライン サービスに害を及ぼす可能性のある方法、または第三者によるそのサービスの使用を妨げる方法で、オンライン サービスを使用する。

- サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不正なアクセスを試みるためにオンラインサービスを使用する。
 - プロトコルまたは電子メールのヘッダー情報を改ざんする（「なりすまし」など）。
 - 「スパム」（一方的な一括配信メッセージまたは商業的メッセージ）を送信するため、あるいは本条件に違反することを意図したサービス（サービス拒否攻撃など）を利用可能にするためにオンラインサービスを使用する。
 - オンライン サービスに組み込まれている規制情報もしくは法的通知、またはリンクを削除、変更、または改ざんする。
- n) 規制情報** 現在または将来、(i) 当該国の事業運営に通常は適用されない規制や要求によってマイクロソフトが制約を受ける、(ii) 変更なしではオンライン サービスの運用の継続が困難になる、あるいは (iii) そのような要求や義務に対し本条件またはオンライン サービスが矛盾するとマイクロソフトが考えるようになる、などの事態をもたらす政府の要求または義務が生じた場合、マイクロソフトは当該国のオンライン サービスを変更または停止できるものとします。たとえば、マイクロソフトが通信プロバイダーとして規制を受けるようになる政府の要求に関連して、オンライン サービスを変更または停止することができます。
- o) 評価目的での使用** 「特定の製品に適用される例外規定と追加の条件」の章で許可されている場合を除き、お客様が評価目的にオンライン サービスを使用する場合はライセンスを取得する必要があります。この内容は、お客様のサービス プロバイダー ライセンス契約の条項と矛盾していても適用されます。
- p) 電子通知** マイクロソフトは、オンライン サービスに関する情報を電子的形式でお客様に提供することがあります。情報通知は、お客様がオンライン サービスにサインアップした際に指定したアドレス宛ての電子メールによって、またはマイクロソフトが指定する Web サイトを通して行われます。電子メールによる通知は、送信日に提供されます。オンライン サービスを使用している限り、お客様は、これらの通知を受信するためのソフトウェアとハードウェアを備えていることになります。これらの電子通知を受信することに同意しない場合、お客様はオンライン サービスを利用できません。
- q) 制限付き保証** お客様のライセンス契約に矛盾する条件があっても、オンライン サービスへのアクセス中のダウンタイムまたはその他の中断、あるいはオンライン サービスのサービス レベル契約に記述されているその他の測定基準に制限付き保証は適用されません。
- r) 製品の提供** オンライン サービスは一部の地域で使用できない場合があります。

B. サーバー ファーム内でのライセンスの移動（標準の使用条件の前にある一覽で^{LM}が付いた製品に適用）

サーバー ファーム内でのライセンスの割り当てとソフトウェアの使用

お客様は、「標準の使用条件」の規定に従って、必要なライセンスの数を確定し、その数のライセンスを割り当て、本サーバー ソフトウェアを使用することができます。または、お客様は以下の使用権を適用することも可能です。

サーバー ファーム

サーバー ファームは、それぞれ以下の条件の一方または両方を満たす物理的な場所にある最大 2 つのデータ センターで構成されます。

- 両者のタイム ゾーンの時差が 4 時間以内 (DST ではなく協定世界時 (UTC)) である。
- 欧州連合 (EU) または欧州自由貿易連合 (EFTA) の域内にある。

各データ センターは 1 つのサーバー ファームにのみ属することができます。お客様はデータ センターをあるサーバー ファームから別のサーバー ファームに再割り当てすることができますが、短期間で再割り当てすることはできません（すなわち、最後の再割り当てから 30 日以内に再割り当てすることはできません）。

ライセンスの再割り当て

- **サーバー ファーム内でのライセンスの再割り当て** お客様は、ソフトウェア ライセンスを同一サーバー ファーム内の任意のサーバーに必要に応じて何度でも再割り当てすることができます。短期間での再割り当てを禁止する規定は、同一サーバー ファーム内のサーバーに割り当てられたライセンスには適用されません。
- **サーバー ファーム間でのライセンスの再割り当て** お客様はソフトウェア ライセンスを異なるサーバー ファーム内の任意のサーバーに再割り当てすることができますが、短期間で再割り当てすることはできません（すなわち、最後の再割り当てから 30 日以内に再割り当てすることはできません）。

必要なライセンス数の算定

仮想プロセッサおよび物理プロセッサのカウント方法に関し、標準の使用条件にこれと矛盾する規定があっても、お客様は、本ソフトウェアのインスタンスを実行するオペレーティング システム環境 (OSE) を同時にサポートするか、またはかかるオペレーティング システム環境 (OSE) で使用される、サーバー ファーム内のライセンス取得済みサーバー上の物理プロセッサ数と等しいかそれ以上の数のライセンスが必要です。

サーバー ファーム内でのサーバー ソフトウェアのインスタンスの実行

ライセンスの移動の対象となる、SQL Server 2008 R2 Enterprise を除くすべてのサーバー ソフトウェア お客様は必要に応じてライセンスを再割り当てすることができるため、以下の要件を満たす限りにおいて、お客様は本ソフトウェアをサーバー ファーム内の任意の数のオペレーティング システム環境 (OSE) で実行することができます。オペレーティング システム環境 (OSE) を同時にサポートするか、またはかかるオペレーティング システム環境 (OSE) で使用される物理プロセッサの数は、サーバー ファーム内のサーバーに割り当てられたライセンスの数を超えることはできません。

SQL Server 2008 R2 Enterprise お客様は必要に応じてライセンスを再割り当てすることができるため、以下の要件を満たす限りにおいて、お客様は割り当てられた各ソフトウェア ライセンスにつき、本ソフトウェアをサーバー ファーム内の最大 4 つのオペレーティング システム環境 (OSE) で実行することができます。オペレーティング システム環境 (OSE) を同時にサポートするか、またはかかるオペレーティング システム環境 (OSE) で使用される物理プロセッサの数は、サーバー ファーム内のサーバーに割り当てられたライセンスの数を超えることはできません。

代替算定法 仮想オペレーティング システム環境 (OSE) をサポートする物理プロセッサの数をカウントする代わりに、お客様は、インスタンスを実行する仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で使用される仮想プロセッサの数をカウントすることができます。このカウント方法では、仮想プロセッサが基本となる個々の物理プロセッサと同数のスレッドおよびコアを持つと見なすとする共通の使用条件の規定は考慮されません。お客様は、以下の最大プロセッサ数の合計と同数のライセンスを割り当てる必要があります。

- ソフトウェアのインスタンスを実行する仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で同時に使用される仮想プロセッサ、および
- ソフトウェアのインスタンスを実行する物理オペレーティング システム環境 (OSE) で同時に使用される物理プロセッサ

C. 特定の製品に関する例外規定と追加の条件 (標準の使用条件の前にある一覧で アスタリスク が付いた製品に適用)

BizTalk Server 2010 Branch Edition

お客様は、内部ネットワークのエンドポイント (組織の境界) でのみライセンス取得済みサーバー上で本ソフトウェアのインスタンスを実行できます。実行すると、ビジネス イベントまたは取引をそのエンドポイントで処理される業務と関連付けることができます。ライセンスを取得していないサーバーであっても、以下を行うことができます。

- 「ハブ アンド スポーク」ネットワーク モデルのセントラル ノードとして動作すること。
- 他のサーバーまたはデバイスを使用して企業規模の通信を一元化すること。
- 以下の間の業務処理を自動化すること。
 - 部門、
 - 事業体、または
 - 支店

BizTalk Server 2010 Standard Edition

クラスター ネットワーク 本サーバー ソフトウェアは、クラスター ネットワークを構成するサーバー上で、あるいは同じサーバー上のオペレーティング システム環境 (OSE) のクラスター ネットワークを構成するオペレーティング システム環境 (OSE) で使用することはできません。

マスター シークレット サーバー マスター シークレット サーバー ソフトウェアは、クラスター ネットワークを構成するサーバー上で、あるいは同じサーバー上のオペレーティング システム環境 (OSE) のクラスター ネットワークを構成するオペレーティング システム環境 (OSE) で使用することはできません。また、お客様が本サーバー ソフトウェアを実行する複数のオペレーティング システム環境 (OSE) で共有することはできません。

Core Infrastructure Server Suite Datacenter

- A. 製品スイート** Core Infrastructure Server Suite Datacenter には、複数の製品を使用する権利が含まれます。このライセンスでは、サーバー上のソフトウェアを使用する権利とそのサーバー上で実行されているソフトウェアを管理する権利が提供されます。本製品使用権説明書の他の章に記載されているように、個々のソフトウェアと管理ライセンスに基づいて同じ製品を使用することもできます。お客様は、本章で許可されたとおり、スイートに含まれる製品を使用する権利を有します。

Core Infrastructure Server Suite Datacenter の 1 つのライセンスを取得することによって、お客様は、単一のデバイスまたはサーバーに割り当てることができる 1 つのライセンスを取得することになります。製品スイートに含まれる製品の個々のソフトウェアと管理ライセンスのセットを取得することにはなりません。

B. Core Infrastructure Server (CIS) Suite Datacenter

I) 定義

- a) CIS Suite Datacenter ライセンス**において「Core Infrastructure Server (CIS) ソフトウェア」とは、かかる CIS Suite Datacenter ライセンスに基づいてお客様が使用、アクセス、または管理する権利を許諾されるマイクロソフトのソフトウェアです。CIS ソフトウェアには、提供される当該ソフトウェアの最新バージョン（およびその旧バージョン）が含まれます。

- a) 適用される製品使用権** CIS ソフトウェアにアクセスして使用する場合には、本使用条件により変更されたとおり、CIS ソフトウェアの該当するサービス プロバイダー製品使用権が適用されます。お客様は、CIS ソフトウェアを実行する各サーバー上の物理プロセッサごとに 1 つのライセンスを割り当てする必要があります。

b) 含まれる CIS ソフトウェア

- Windows Server Datacenter
- System Center Configuration Manager
- System Center Data Protection Manager
- System Center Operations Manager
- System Center Service Manager
- System Center Virtual Machine Manager
- Forefront Endpoint Protection Device Subscription

- i. Windows Server Datacenter** お客様は、ライセンスを取得したサーバーごとに任意の数のオペレーティング システム環境 (OSE) で、Windows Server Datacenter の任意の数のインスタンスを実行することができます。
- ii. 管理ライセンス** ライセンスを取得したサーバーに割り当てられた CIS Suite Datacenter ライセンスと同じ数の System Center Server Management Suite Datacenter ライセンスが、当該サーバーに割り当てられたと見なされます。

c) 追加の条件

- i.** お客様が取得して割り当てた CIS Suite ライセンスごとに、ライセンスを取得したサーバーに 1 つの Forefront Endpoint Protection デバイス サブスクリプション ライセンスが割り当てられたと見なされます。
- ii.** お客様は、ライセンスを取得したサーバーごとに任意の数の OSE で、CIS ソフトウェアに含まれる System Center サーバー ソフトウェアの任意の数のインスタンスを実行できます。お客様は、ライセンスを取得したサーバー上の異なる OSE で、本サーバー ソフトウェアのインスタンスを分離して実行することができます。
- iii.** お客様は、お客様またはお客様の顧客が System Center ソフトウェアに適用されるサービス プロバイダー製品使用権説明書またはボリューム ライセンス製品使用権説明書の規定に従って管理ライセンスを個別に取得して割り当てている場合、CIS ソフトウェアに含まれる System Center ソフトウェアを使用して、CIS Suite のライセンスを取得していないお客様のデバイス上の OSE を管理することができます。
- iv.** お客様のライセンス契約の条項と、個別のコンポーネントのアップグレードおよびダウングレードに関する本サービス プロバイダー製品使用権説明書の共通の使用条件の規定にかかわらず、お客様は、本サービス プロバイダー製品使用権説明書の該当する製品の使用権で許可されたとおり、CIS Suite に含まれる各製品の旧バージョンまたは下位エディションを実行することができます。

- v. 本サービス プロバイダー製品使用権説明書に規定されたその他の条件はすべて、引き続き効力を有するものとします。

Microsoft Dynamics AX 2012、Microsoft Dynamics GP 2010 R2、Microsoft Dynamics NAV 2009 R2、Microsoft Dynamics SL 2011、Microsoft Dynamics C5 2010 (アイスランドおよびデンマークでの使用向け)

コンポーネント 選択した SAL エディションと共にプロセッサごとに、コンポーネントと呼ばれる個々の機能のインスタンスのみを実行できます。コンポーネントの一覧は変更される場合があります。提供されている追加コンポーネントの詳細については、<http://www.explore.ms> を参照してください。

プロセッサごとのライセンス モデルに基づいて使用許諾されるコンポーネントについては、使用されるプロセッサの数に関係なく "システム データベース" ごとに 1 つのプロセッサ ライセンスのみを使用許諾しレポートする必要があります。「システム データベース」とは、お客様のユーザーおよび財務報告部門の情報を管理する基本的なデータベースを意味します。

評価要件 お客様 (および本ソフトウェアを使用するお客様の関連会社) が使用許諾を受けて本ソフトウェアを使用するためには、特定のソフトウェアに対して <http://www.explore.ms> で指定されている最低評価要件またはソフトウェア製品のリセラーから提示される最低評価要件に従う必要があります。お客様は、<http://www.explore.ms> に示されている手続き、またはソフトウェア製品のリセラーから提示される手続きを使用して、本ソフトウェアの使用許諾を受ける意思をマイクロソフトに通知する必要があります。また、お客様は該当する評価要件に準拠していることを証明する必要があります。マイクロソフトでは、本ソフトウェアの使用を許諾する前に、お客様が評価要件に準拠していることを確認します。従業員ユーザーが退職し、その結果として評価要件が満たされなくなった場合には、90 日以内に別の従業員ユーザーにより評価要件が満たされる必要があります。マイクロソフトは随時この評価要件を変更または中止できるものとします。ただし、評価要件が追加された場合、追加の要件はお客様がマイクロソフトから書面でその通知を受け取ってから 1 年後に有効になります。

ライセンス キー ソフトウェア製品の機能をインストールして使用するには、お客様はマイクロソフトから適切なライセンス キーを入手する必要があります。必要なライセンス キーを入手する手順については、<http://www.explore.ms> を参照するか、ソフトウェア製品のリセラーにお問い合わせください。

ローカリゼーションおよび翻訳 それぞれの Microsoft Dynamics ソフトウェアについてローカライズされ一般的に提供されている地域と言語の一覧は、次のハイパーリンクをクリックすると確認できます。

<http://www.microsoft.com/dynamics/en/us/products/ax-availability.aspx>
<http://www.microsoft.com/dynamics/en/us/products/gp-availability.aspx>
<http://www.microsoft.com/dynamics/en/us/products/nav-availability.aspx>
<http://www.microsoft.com/dynamics/en/us/products/sl-availability.aspx>

本ソフトウェアには、ローカライズ済みの地域について、特定の税、財政、会計に関する法規制と商業上の要件に対応するための機能が含まれています。法規制は地域ごとに異なるため、これらの地域のすべての法律、規制、または商業上の要件に本ソフトウェアが対応しているわけではありません。

マイクロソフトは、お客様が特定の地域でローカライズまたは翻訳された特定のモジュールまたは機能の使用を希望され、これを作成された地域以外で使用する可能性があるということを認識しています。法規制は地域ごとに異なるため、作成された地域以外でご希望の機能を使用する場合、法規制の違いによる影響を受けることがあります。マイクロソフトは、本ソフトウェア (本ソフトウェアを介して利用可能なオンライン サービスを含みます) のローカライズ バージョンまたは翻訳バージョンを、これらのバージョンが作成され、マイクロソフトがかかるソフトウェアまたはサービスを商業的に一般向けに提供している以外の地域で使用する場合、これらのパフォーマンスまたは適合性について (明示的か黙示的かを問わず) 一切の表明、保証、または瑕疵担保保証を行いません。本ソフトウェアの使用を希望する地域の税の専門家にご相談のうえ、かかる機能が当該地域での使用に適しているかどうかをご判断ください。

本ソフトウェアのローカリゼーションまたは翻訳を行うことをご希望の場合は、現時点で有効な Master Partner Localization and Translation License Agreement (MPLLA) を締結している必要があります。MPLLA および Microsoft Dynamics Partner Localization and Translation Licensing Program の詳細については、<https://mbs.microsoft.com/partnersource/partneressentials/pllp> を参照するか、ご担当のパートナー アカウント マネージャーまでお問い合わせください。

Office System 製品

認証

本ソフトウェアの認証機能は随時ダウンロードが必要になります。認証とは、本ソフトウェアのアクティベーションが実行され、ライセンスが適切に発行されたことを確認するものです。正規のライセンスを取得していることを確認する認証チェックにより、お客様は本ソフトウェアまたは本ソフトウェアの特定の機能を使用し、あるいは、追加の特

典を受けることができます。

詳細については、<http://www.microsoft.com/genuine/office/WhyValidate.aspx> をご参照ください。

本ソフトウェアとデバイス、および認証チェックの結果に関する情報は、認証チェック中または認証チェック後、本ソフトウェアからマイクロソフトに送信されます。この情報には、たとえば、本ソフトウェアのバージョンおよびプロダクトキーと、ライセンスを取得したデバイスのインターネット プロトコル アドレスが含まれています。マイクロソフトがこれらの情報を利用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。本ソフトウェアを使用することで、お客様はマイクロソフトがこれらの情報を収集することに同意されたものとします。認証、および認証チェック中または認証チェック後に送信される情報の詳細については、<http://www.microsoft.com/genuine/office/PrivacyInfo.aspx> をご参照ください。

認証チェック後に、本ソフトウェアが偽造されているか、不正にライセンスを取得しているか、または非正規 Office 製品であることが明らかになった場合、本ソフトウェアを使用する際の機能と環境は次のような影響を受けます。

マイクロソフトの処置

- 本ソフトウェアが不正にライセンスを取得しているか、非正規の Office 製品であるという注意書きを表示する。

お客様への影響

- 正規のライセンスに基づいた本ソフトウェアの複製を入手するように促すメッセージが表示されるようになる。
- マイクロソフトの指示に従って、ソフトウェアを使用するためのライセンスを取得し、再アクティベーションを行う必要がある。また、マイクロソフトから特定の更新プログラムやアップグレードを入手できなくなる場合がある。

本ソフトウェアの更新プログラムやアップグレードは、マイクロソフトまたは認定ソースからのみ入手することができます。認定ソースからの更新の入手に関する詳細については、<http://www.microsoft.com/genuine/downloads/faq.aspx> をご参照ください。

SharePoint Server 2010 for Internet Sites Enterprise

内部ユーザーがアクセスできるすべてのコンテンツ、情報、およびアプリケーションには、外部ユーザーもアクセスできる必要があります。内部ユーザーに限定されるコンテンツ、情報、およびアプリケーションを提供するサーバーは、SharePoint Server 2010 のライセンスを取得している必要があります。「外部ユーザー」とは、(i) お客様の従業員ではないユーザー、または (ii) お客様のオンサイトの契約業者または代理店ではないユーザーを意味します。他のすべてのユーザーは「内部ユーザー」です。

サーバー ソフトウェアのインスタンスの実行 標準の使用条件にこれと矛盾する規定があっても、無制限の仮想化オプションに基づいて SharePoint Server 2010 for Internet Sites のライセンスを取得することはできません (オプション (i) を参照)。SharePoint Server 2010 for Internet Sites Enterprise のライセンスを取得するには、使用プロセッサに基づくライセンス オプション (オプション (ii) を参照) を使用する必要があります。

FAST Search Server 2010

FAST Search Server 2010 は SharePoint Server 2010 for Internet Sites Enterprise ライセンスには含まれないため、FAST Search Server 2010 を SharePoint Server 2010 for Internet Sites Enterprise アプリケーションの一部として使用することはできません。

Provisioning System

サーバー ソフトウェアのインスタンスの実行 お客様は、Windows 2003 の各エディションが実行されているサーバー上で、サーバー ソフトウェアの任意のインスタンス数を実行できます。お客様は、本サーバー ソフトウェアの構成部分を分離して複数のサーバー上で使用することはできません。

改変 お客様は、(i) .xml または .asp ファイルとして識別されている製品ファイルか、(ii) 本製品のセットアッププログラムの一部としてサーバーにインストールされていない製品ファイルのみを、他の内部コンピューターおよびサーバー システムとの統合のみを目的として改変することができます。本製品に対してお客様が行ういかなる許可された改変も、サービス プロバイダー ライセンス契約の品質保証規定の対象とはなりません。

SQL Server 2008 R2 Datacenter

お客様は、サーバー上の各物理プロセッサ 1 つに対してソフトウェア ライセンスを 1 つ取得する必要があります。

サーバー ソフトウェアのインスタンスの実行 お客様は、使用されている物理プロセッサおよび仮想プロセッサの数に関係なく、1 つの物理オペレーティング システム環境 (OSE) と任意の数の仮想オペレーティング システム環境 (OSE) においてサーバー ソフトウェアを実行できます。ライセンスを取得したサーバー上の、任意のオペ

レーティング システム環境 (OSE) において、Datacenter の代わりに Enterprise または Standard のインスタンスを実行できます。

SQL Server 2008 R2 Enterprise

サーバー ソフトウェアのインスタンスの実行 サーバー上の物理プロセッサの総数と同じ数のソフトウェア ライセンスを割り当てた場合、使用されている物理プロセッサおよび仮想プロセッサの数に関係なく、割り当てた各ライセンスにつきサーバー上の最大 4 つのオペレーティング システム環境 (OSE) でのみサーバー ソフトウェアを実行できます。ライセンスを取得したサーバー上の、任意のオペレーティング システム環境 (OSE) において、Enterprise の代わりに Standard のインスタンスを実行できます。

SQL Server コントロール ポイントの制限 サーバー ソフトウェアにコントロール ポイント ユーティリティが含まれる SQL Server ソフトウェアのいずれかのバージョンまたはエディションのインスタンスを一度に 25 を超えて登録することはできません。

SQL Server 2008 R2 Web

本ソフトウェアは、公開されインターネット アクセス可能な以下をサポートする目的でのみ使用できます。

- Web ページ
- Web サイト
- Web アプリケーション
- Web サービス

基幹業務アプリケーション (CRM、ERM、その他同様のアプリケーション) をサポートする目的では使用できません。

SQL Server 2008 R2 Standard、Enterprise、Datacenter、Workgroup、および Web

フェールオーバー サーバー お客様が本サーバー ソフトウェアのインスタンスを実行するあらゆるオペレーティング システム環境 (OSE) につき、お客様は一時的なサポートのために、同数のパッシブ フェールオーバー インスタンスを 1 つの別のオペレーティング システム環境 (OSE) で実行することができます。その 1 つの別のオペレーティング システム環境 (OSE) で使用されている物理および仮想プロセッサの数は、アクティブ インスタンスが実行されている対応するオペレーティング システム環境 (OSE) で使用されている物理および仮想プロセッサの数を超えてはなりません。お客様は、ライセンス取得済みのサーバー以外の 1 つのサーバーでパッシブ フェールオーバー インスタンスを実行することができます。

Virtual Server 2005 R2 Enterprise Edition

サーバー ソフトウェアのインスタンスの実行 割り当てる各ライセンスにつき、お客様は一度に、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンスを、ライセンスを取得したサーバー上の 1 つの物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で実行することができます。

Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2008 (すべてのエディション)

テスト、保守、および管理のためのアクセス お客様は、オペレーティング システム環境 (OSE) で実行中の各インスタンスについて、最大 2 人までの他のユーザーに対し、グラフィカル ユーザー インターフェイスを直接または間接的にホストする目的で Windows Server 2008 Remote Desktop Services の機能またはその他のテクノロジーを使用して本サーバー ソフトウェアを使用すること、または本サーバー ソフトウェアにアクセスすることを許可できるものとします。かかる使用は、使用許諾された製品をテスト、保守、または管理する目的でのみ認められます。かかるユーザーには、Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL は必要ありません。

データ ストレージ テクノロジー 本サーバー ソフトウェアには、Windows Internal Database と呼ばれるデータ ストレージ テクノロジーが含まれている場合があります。本サーバー ソフトウェアのコンポーネントは、データを格納する目的でこのテクノロジーを使用します。お客様はその他の目的で本契約に基づいてこのテクノロジーを使用したり、アクセスしたりすることはできません。

不要である可能性のあるソフトウェア システムを起動すると、Windows Defender が「スパイウェア」、「アドウェア」、および不要である可能性のあるその他のソフトウェアがないかコンピューター内を検索します。不要である可能性のあるソフトウェアが見つかったら、無視するか、無効化 (隔離) するか、または削除するかをユーザーに確認します。不要である可能性のあるソフトウェアは、危険度が「高」または「重大」である場合、既定の設定を変更しない限り、スキャン後に自動的に削除されます。不要である可能性のあるソフトウェアを削除または無効化すると、次のような状態が発生する場合があります。

- コンピューター上の他のソフトウェアが動作しなくなる場合がある。
- コンピューター上の他のソフトウェアを使用するためのライセンスに抵触する場合がある。

このようなソフトウェアを使用することで、不要である可能性のないソフトウェアも削除されたり、無効化されたりする場合があります。

注意

MPEG-4 映像標準に関する注意 本ソフトウェアには、MPEG-4 画像解読テクノロジーが含まれています。このテクノロジーについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

以下の場合に直接関連する場合を除き、MPEG-4 映像標準に準拠して本製品を使用することは、すべて禁止されています。(A) (i) 事業活動に従事しない消費者により作成され、無償で取得されたデータまたは情報を、(ii) 個人使用の目的のみで使用する場合、および (B) MPEG LA, L.L.C. により別途特定のライセンス許諾を受けたその他の使用による場合。

MPEG-4 映像標準について不明な点がある場合は、MPEG LA, L.L.C. (所在地: 250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206, Web サイト: <http://www.mpegla.com/main/default.aspx>) にお問い合わせください。

VC-1 映像標準に関する注意 本ソフトウェアには、VC-1 画像解読テクノロジーが含まれています。このテクノロジーについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

本製品は、消費者による個人使用および非商業的使用を前提とし、VC-1 特許ポートフォリオ ライセンスに基づき次の用途に限り使用許諾されています。(A) VC-1 標準に準拠した映像 (以下「VC-1 映像」といいます) を暗号化すること、または、(B) 個人的および非商業的活動に従事する消費者が暗号化した、あるいは VC-1 映像を提供するライセンスを有する映像提供者より入手した VC-1 映像を復号化すること。その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。

VC-1 映像標準について不明な点がある場合は、MPEG LA, L.L.C. (所在地: 250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206, Web サイト: <http://www.mpegla.com/main/default.aspx>) にお問い合わせください。

HPC Pack 2008 R2 Enterprise*、Windows HPC Server 2008 R2 Suite*、および Windows Server 2008 R2 HPC Edition*

クラスター HPC アプリケーション 「クラスター HPC アプリケーション」とは、複雑な計算問題や密接に関連した複数の計算問題を並行処理で解決できる高性能コンピューティング アプリケーションを指す、一般的な業界用語です。クラスター HPC アプリケーションは、複雑な計算問題を、Microsoft HPC Pack やこれに類似する HPC ミドルウェアが提供するジョブ スケジューラーによって調整される一連のジョブとタスクに分割します。これらのジョブとタスクはジョブ スケジューラーによって、1 つの HPC クラスター内で動作する 1 台または複数のコンピューターに並行して分散されます。

クラスター ノード 「クラスター ノード」は、クラスター HPC アプリケーションの実行専用デバイス、またはクラスター HPC アプリケーション用のジョブ スケジュール サービスを提供するデバイスです。

*その他の例外規定および追加の条件については、以下をご覧ください。

HPC Pack 2008 R2 Enterprise

ライセンスのデバイスへの割り当て ライセンスをクラスター ノードに割り当てることができます。ライセンスをクラスター ノードに割り当てると、HPC Pack 2008 R2 Enterprise の使用条件に従って、HPC Pack 2008 R2 Enterprise ソフトウェアを使用することができます。

エンタープライズおよびワークステーション機能 お客様は、ライセンスを取得したデバイスで、次のいずれか 1 つのインスタンスを実行することができます。

- HPC Services for Excel 2010
- HPC Services for Distributed Data

Windows HPC Server 2008 R2 Suite*

HPC Pack 2008 R2 Enterprise ソフトウェアの使用には、HPC Pack 2008 R2 for Enterprise の使用条件が適用されます。

Windows HPC Server 2008 R2 Suite* および Windows Server 2008 R2 HPC Edition*

お客様は、本サーバー ソフトウェアを以下の条件で使用できます。

- i. クラスター ノードの実行を主目的とする。および
- ii. クラスター ノードでのセキュリティ、ストレージ、パフォーマンスの強化、およびシステム管理に必要な場合のみ、クラスター HPC アプリケーションのサポートのみを目的として他のソフトウェアと組み合わせて使

用する。

お客様は、本サーバー ソフトウェアをその他の目的に使用することはできません。たとえば、前項 (ii) で許可された方法を除き、本サーバー ソフトウェアを汎用サーバー、データベース サーバー、Web サーバー、電子メールサーバー、プリント サーバー、またはファイル サーバーとして使用することはできません。

*その他の例外規定および追加の条件については、以下をご覧ください。

HPC Pack 2008 R2 Enterprise、Windows HPC Server 2008 R2 Suite、および Windows Server 2008 R2 HPC Edition

1 台のサーバーに必要とされるライセンスの総数は、以下の i) および ii) で要求されるソフトウェア ライセンスの合計と同数です。

- i) サーバー上の物理プロセッサごとに 1 つのソフトウェア ライセンスが必要です。このライセンスにより、一度に以下を実行することが許可されます。
 - 1 つの物理オペレーティング システム環境 (OSE) における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス
 - 1 つの仮想オペレーティング システム環境 (OSE) における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス

仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で 1 つのインスタンスを実行する場合、物理オペレーティング システム環境 (OSE) で実行されているサーバー ソフトウェアのインスタンスは次の目的にのみ使用できます。

- ハードウェア仮想化ソフトウェアの実行
- ハードウェア仮想化サービスの提供
- ライセンス取得済みサーバーのオペレーティング システム環境 (OSE) の管理と保守を行うソフトウェアの実行

- ii) 仮想オペレーティング システム環境 (OSE) でサーバー ソフトウェアの 1 つの追加インスタンスを実行するには、サーバー上の物理プロセッサごとに追加のソフトウェア ライセンスが必要です。

Windows Server 2008 R2 OEM Standard および OEM Enterprise

- Windows Server 2008 R2 Standard
- Windows Server 2008 R2 Enterprise

購入したサーバーにプレインストールされているサーバー ソフトウェアのみを使用できます。サーバー ソフトウェアは上の見出しに記載された Windows Server 2008 R2 OEM ソフトウェア製品のうちの 1 つであるものとします。本サーバー ソフトウェアのインストールおよび使用権は、プレインストールされているサーバー ソフトウェアに付属するソフトウェア ライセンス条項に準拠します。ただし、ソフトウェア サービスの提供にあたってホストされた本サーバー ソフトウェアにアクセスする権利、およびソフトウェア サービスに関連するクライアント ソフトウェアの使用は、本製品使用権説明書に準拠します。

Windows Server 2008 Remote Desktop Services お客様は、Windows Server 2008 Remote Desktop Services の機能またはその他のテクノロジーを使用してグラフィカル ユーザー インターフェイスをホストする目的で本サーバー ソフトウェアに直接または間接的にアクセスする権限を持つユーザーごとに、Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL を取得する必要があります。SAL ライセンスの説明については、SAL ライセンスモデルの項目をご参照ください。

Windows Server 2008 R2 Rights Management Services お客様は、Windows Server 2008 R2 Rights Management Services の機能に直接または間接的にアクセスする権限を持つユーザーごとに、Windows Server 2008 R2 Rights Management Services SAL を取得する必要があります。SAL ライセンスの説明については、SAL ライセンス モデルの項目をご参照ください。

Microsoft Application Virtualization 4.6 for Remote Desktop Services お客様は、Microsoft Application Virtualization 4.6 for Remote Desktop Services の機能に直接または間接的にアクセスする権限を持つユーザーごとに、Microsoft Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL を取得する必要があります。SAL ライセンスの説明については、SAL ライセンス モデルの項目をご参照ください。

Windows Server 2008 R2 Standard、Enterprise、Datacenter、および Windows Server 2008 R2 for Itanium Based Systems

Windows Server 2008 Remote Desktop Services お客様は、Windows Server 2008 Remote Desktop Services の機能またはその他のテクノロジーを使用してグラフィカル ユーザー インターフェイスをホストする目的で

本サーバー ソフトウェアに直接または間接的にアクセスする権限を持つユーザーごとに、Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL を取得する必要があります。SAL ライセンスの説明については、SAL ライセンスモデルの項目をご参照ください。

Windows Server 2008 R2 Rights Management Services お客様は、Windows Server 2008 R2 Rights Management Services の機能に直接または間接的にアクセスする権限を持つユーザーごとに、Windows Server 2008 R2 Rights Management Services SAL を取得する必要があります。SAL ライセンスの説明については、SAL ライセンス モデルの項目をご参照ください。

Microsoft Application Virtualization 4.6 for Remote Desktop Services お客様は、Microsoft Application Virtualization 4.6 for Remote Desktop Services の機能に直接または間接的にアクセスする権限を持つユーザーごとに、Microsoft Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL を取得する必要があります。SAL ライセンスの説明については、SAL ライセンス モデルの項目をご参照ください。

Windows Server 2008 R2 Standard 1 台のサーバーに必要とされるライセンスの総数は、以下の i) および ii) で要求されるソフトウェア ライセンスの合計と同数です。

- i) サーバー上の物理プロセッサごとに 1 つのソフトウェア ライセンスが必要です。このライセンスにより、一度に以下を実行することが許可されます。
 - 1 つの物理オペレーティング システム環境 (OSE) における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス
 - 1 つの仮想オペレーティング システム環境 (OSE) における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス

仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で 1 つのインスタンスを実行する場合、物理オペレーティング システム環境 (OSE) で実行されているサーバー ソフトウェアのインスタンスは次の目的にのみ使用できます。

- ハードウェア仮想化ソフトウェアの実行
 - ハードウェア仮想化サービスの提供
 - ライセンス取得済みサーバーのオペレーティング システム環境 (OSE) の管理と保守を行うソフトウェアの実行
- ii) 仮想オペレーティング システム環境 (OSE) でサーバー ソフトウェアの 1 つの追加インスタンスを実行するには、サーバー上の物理プロセッサごとに追加のソフトウェア ライセンスが必要です。

Windows Server 2008 R2 Enterprise 1 台のサーバーに必要とされるライセンスの総数は、以下の i) および ii) で要求されるソフトウェア ライセンスの合計と同数です。

- i) サーバー上の物理プロセッサごとに 1 つのソフトウェア ライセンスが必要です。このライセンスにより、一度に以下を実行することが許可されます。
 - 1 つの物理オペレーティング システム環境 (OSE) における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス
 - 仮想オペレーティング システム環境 (OSE) における、本サーバー ソフトウェアの 4 つのインスタンス。仮想オペレーティング システム環境 (OSE) ごとに 1 つのインスタンスのみを実行できます。お客様は、仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で Enterprise の代わりに Standard のインスタンスを実行できます。

お客様が許可されている 5 つのインスタンスすべてを一度に実行する場合、物理オペレーティング システム環境 (OSE) で実行されている本サーバー ソフトウェアのインスタンスは、以下の目的でのみ使用できます。

- ハードウェア仮想化ソフトウェアの実行
 - ハードウェア仮想化サービスの提供
 - ライセンス取得済みサーバーのオペレーティング システム環境 (OSE) の管理と保守を行うソフトウェアの実行
- ii) 仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で実行する最大 4 つのサーバー ソフトウェア インスタンスから成る追加セット 1 つずつについて、サーバー上の物理プロセッサごとに追加のソフトウェア ライセンスが必要です。

Windows Server 2008 R2 Datacenter および Windows Server 2008 R2 for Itanium Based Systems サーバー上の物理プロセッサごとに 1 つのソフトウェア ライセンスが必要です。このライセンスにより、一度に以下を

実行することが許可されます。

- i. 1 つの物理オペレーティング システム環境 (OSE) における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス
- ii. 仮想オペレーティング システム環境 (OSE) における、任意の数のサーバー ソフトウェア インスタンス (仮想オペレーティング システム環境 (OSE) ごとに 1 つのインスタンスに限ります)

ライセンス取得済みのサーバー上の、任意のオペレーティング システム環境 (OSE) において、Datacenter の代わりに Web、Standard、または Enterprise のインスタンスを実行できます。

Windows Server 2008 R2 Standard with System Center Operations Manager 2007 R2 および Windows Server 2008 R2 Standard with System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology

System Center Operations Manager 2007 R2 デバイスの物理プロセッサごとに 1 つの System Center Operations Manager 2007 R2 Enterprise SAL が必要です。お客様には、System Center Operations Manager Enterprise Edition SAL の Enterprise エディションのワークロードに関連する管理権が付与されます。お客様は、System Center Operations Manager 2007 R2 Enterprise SAL が割り当てられているデバイス上で実行されている 1 つの OSE のみを管理することができます。

Windows Server 2008 R2 Standard 1 台のサーバーに必要とされるライセンスの総数は、以下の i) および ii) で要求されるソフトウェア ライセンスの合計と同数です。

- i) サーバー上の物理プロセッサごとに 1 つのソフトウェア ライセンスが必要です。このライセンスにより、一度に以下を実行することが許可されます。
 - 1 つの物理オペレーティング システム環境 (OSE) における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス
 - 1 つの仮想オペレーティング システム環境 (OSE) における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス

仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で 1 つのインスタンスを実行する場合、物理オペレーティング システム環境 (OSE) で実行されているサーバー ソフトウェアのインスタンスは次の目的にのみ使用できます。

- (a) ハードウェア仮想化ソフトウェアの実行
- (b) ハードウェア仮想化サービスの提供
- (c) ライセンス取得済みサーバーのオペレーティング システム環境 (OSE) の管理と保守を行うソフトウェアの実行

- ii) 仮想オペレーティング システム環境 (OSE) でサーバー ソフトウェアの 1 つの追加インスタンスを実行するには、サーバー上の物理プロセッサごとに追加のソフトウェア ライセンスが必要です。

Windows Server 2008 Remote Desktop Services お客様は、Windows Server 2008 Remote Desktop Services の機能またはその他のテクノロジーを使用してグラフィカル ユーザー インターフェイスをホストする目的で本サーバー ソフトウェアに直接または間接的にアクセスする権限を持つユーザーごとに、Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL を取得する必要があります。SAL ライセンスの説明については、SAL ライセンスモデルの項目をご参照ください。

Windows Server 2008 R2 Rights Management Services お客様は、Windows Server 2008 R2 Rights Management Services の機能に直接または間接的にアクセスする権限を持つユーザーごとに、Windows Server 2008 R2 Rights Management Services SAL を取得する必要があります。SAL ライセンスの説明については、SAL ライセンス モデルの項目をご参照ください。

Microsoft Application Virtualization 4.6 for Remote Desktop Services お客様は、Microsoft Application Virtualization 4.6 for Remote Desktop Services の機能に直接または間接的にアクセスする権限を持つユーザーごとに、Microsoft Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL を取得する必要があります。SAL ライセンスの説明については、SAL ライセンス モデルの項目をご参照ください。

Windows Web Server 2008 R2

サーバーに必要なソフトウェア ライセンスの合計数は、以下の (i) および (ii) で必要なソフトウェア ライセンスの合計数と同じです。

- i. サーバー上の 1 つの物理オペレーティング システム環境 (OSE) または 1 つの仮想オペレーティン

システム環境 (OSE) で一度に本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンスを実行するには、サーバー上の物理プロセッサごとに 1 つのソフトウェア ライセンスが必要です。

- ii. 1 つの物理オペレーティング システム環境 (OSE) または 1 つの仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で本サーバー ソフトウェアの追加のインスタンスを実行するには、サーバー上の物理プロセッサごとに 1 つのソフトウェア ライセンスが必要です。

使用に関する制限

本ソフトウェアは、インターネット Web ソリューションの開発および展開に使用することができます。「インターネット Web ソリューション」は、公的にアクセス可能で、以下のものでのみ構成されます。

- Web ページ
- Web サイト
- Web アプリケーション
- Web サービス
- POP3 メール サービス

本ソフトウェアは、以下のものを実行するために使用することができます。

- Web サーバー ソフトウェア (Microsoft Internet Information Services など) および管理またはセキュリティ エージェント (System Center Operations Manager エージェントなど)
- インターネット Web ソリューションのサポート専用のデータベース エンジン ソフトウェア (Microsoft SQL Server など)
- インターネット名を IP アドレスに解決するドメイン ネーム システム (DNS) (本ソフトウェアのかかるインスタンスの唯一の機能ではない場合に限り)

本ソフトウェアを上記以外の目的に使用することは認められていません。

ライセンス モデル: サブスクリイパー アクセス ライセンス

この章は以下の一覧表に記載された製品に適用されます (アスタリスクの付いた製品については B 欄をご覧ください)。

- | | |
|--|--|
| 1. Exchange Server 2010 Standard および Enterprise* | 32. System Center Configuration Manager 2007 R3* |
| 2. Expression Encoder Pro 4* | 33. System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology* |
| 3. Expression Studio 4 Ultimate* | 34. System Center Data Protection Manager 2010* |
| 4. Expression Studio 4 Web Professional* | 35. System Center Operations Manager 2007 R2* |
| 5. Forefront Endpoint Protection* | 36. System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology* |
| 6. Forefront Identity Manager 2010 | 37. System Center Service Manager 2010* |
| 7. Forefront Online Protection for Exchange* | 38. System Center Service Manager 2010 with SQL Server 2008 Technology* |
| 8. Forefront Protection 2010 for Exchange Server* | 39. System Center Virtual Machine Manager 2008 R2* |
| 9. Forefront Security for Office Communications Server* | 40. Visio 2010 Standard、Professional、および Premium* |
| 10. Forefront Protection 2010 for SharePoint* | 41. Visual Studio 2010 Professional* |
| 11. Forefront Threat Management Gateway Web Protection Service* | 42. Visual Studio 2010 Premium* |
| 12. Forefront Unified Access Gateway 2010 | 43. Visual Studio 2010 Ultimate* |
| 13. HPC Pack 2008 R2 Enterprise* | 44. Visual Studio LightSwitch 2011 |
| 14. Lync Server 2010 Standard および Enterprise* | 45. Visual Studio Test Professional 2010* |
| 15. Microsoft Application Virtualization Hosting for Desktops* | 46. Visual Studio Team Foundation Server 2010 with SQL Server 2008 Technology* |
| 16. Microsoft Dynamics AX 2012* | 47. Visual Studio Team Explorer Everywhere 2010* |
| 17. Microsoft Dynamics C5 2010 (アイスランド およびデンマークでの使用向け)* | 48. Windows 7 Professional Upgrade* |
| 18. Microsoft Dynamics CRM 2011 Service Provider* | 49. Windows Embedded Device Manager 2011* |
| 19. Microsoft Dynamics GP 2010 R2* | 50. Windows Embedded Device Manager 2011 with SQL Server 2008 Technology* |
| 20. Microsoft Dynamics NAV 2009 R2* | 51. Windows HPC Server 2008 R2 Suite* |
| 21. Microsoft Dynamics SL 2011* | 52. Windows Server 2008 R2 HPC Edition* |
| 22. Microsoft Exchange Hosted Encryption* | 53. Windows Small Business Server 2011 Essentials* |
| 23. Office Multi Language Pack 2010* | 54. Windows Small Business Server 2011 Standard* |
| 24. Office Professional Plus 2010* † | 55. Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on* |
| 25. Office Standard 2010* † | 56. Windows Server 2008 R2 OEM* |
| 26. Productivity Suite* | 57. Windows Server 2008 R2 Standard および Enterprise* |
| 27. Project 2010 Standard および Professional* | |
| 28. Project Server 2010* | |
| 29. SharePoint Server 2010 | |
| 30. SQL Server 2008 R2 Standard、Enterprise Workgroup、および Small Business* | |
| 31. SQL Server 2008 R2 OEM 版 Standard および Enterprise* | |

† スイートのコンポーネント製品は、独立した SAL で別個に利用できます。

A. 標準の使用条件 お客様は、取得する各サブスクリイパー アクセス ライセンス (SAL) につき、以下の権利を有します。

I) ライセンス条件および使用権

1) サーバー ソフトウェア (管理サーバー、デスクトップ、およびオンライン サービスの使用権については以下のそれぞれのセクションをご覧ください)

a) サブスクリイパー アクセス ライセンス (SAL)

- i. 本サーバー ソフトウェアに実際にアクセスするかどうかにかかわらず、直接の、または間接的な本サーバー ソフトウェアのインスタンスへのアクセスを許可される各ユーザーに、SAL を取得して割り当てる必要があります。B の「特定の製品に関する例外規定と追加の条件」に示す製品を除き、デバイス SAL は使用できません。ハードウェア パーティションまたはブレードは独立したデバイスと見なされます。各製品の適切な SAL を次の表に示します。
- ii. プロセッサごとのライセンスで使用許諾されるソフトウェアには、SAL は必要ありません。
- iii. すべてのサーバー ソフトウェアのアクセスに標準の SAL が必要です。また、一部のソフトウェア機能は、使用するために追加の SAL が必要です。以下の表はこの 2 種類の SAL についてまとめたものです。次の表に記載されている機能にアクセスするには、製品の標準の SAL と追加の SAL の両方が必要です。

製品または機能	SAL
Dynamics AX 2012、Dynamics NAV 2009 R2、Dynamics GP 2010 R2、および Dynamics SL 2011 - Advanced Management Edition	<ul style="list-style-type: none"> • Dynamics AM Full ユーザー SAL • Dynamics AM Light ユーザー SAL • Dynamics AM ESS ユーザー SAL
Dynamics AX 2012、Dynamics NAV 2009 R2、Dynamics GP 2010 R2、および Dynamics SL 2011 - Business Essentials Edition	<ul style="list-style-type: none"> • Dynamics BE Full ユーザー SAL • Dynamics BE Light ユーザー SAL
Dynamics C5 2010	<ul style="list-style-type: none"> • Dynamics C5 2010 Basic SAL • Dynamics C5 2010 Advanced SAL
Exchange Server 2010 Standard および Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange Server 2010 Hosted Exchange Basic SAL または • Exchange Server 2010 Hosted Exchange Standard SAL または • Exchange Server 2010 Hosted Exchange Standard Plus SAL または • Exchange Server 2010 Hosted Exchange Enterprise SAL または • Exchange Server 2010 Hosted Exchange Enterprise Plus SAL または • Productivity Suite SAL
HPC Pack 2008 R2 Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> • HPC Pack 2008 R2 Enterprise SAL
Forefront Identity Manager 2010	<ul style="list-style-type: none"> • Forefront Identity Manager 2010 SAL
Forefront Unified Access Gateway 2010	<ul style="list-style-type: none"> • Forefront Unified Access Gateway 2010 SAL

Lync Server 2010 Standard および Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> • Lync Server 2010 Standard SAL または • Lync Server 2010 Enterprise SAL または • Lync Server 2010 Plus SAL または • Lync Server 2010 Enterprise Plus SAL または • Productivity Suite SAL
Microsoft Application Virtualization 4.6 for Remote Desktop Services	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL
Microsoft Dynamics CRM 2011 Service Provider	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Dynamics CRM 2011 SAL • Microsoft Dynamics CRM 2011 Limited SAL
Project Server 2010	<ul style="list-style-type: none"> • Project Server 2010 SAL
SharePoint Server 2010	<ul style="list-style-type: none"> • SharePoint Server 2010 Standard SAL または • Productivity Suite SAL
SharePoint Server 2010 Business Connectivity Services Line of Business Webparts Office 2010 Business Connectivity Services Client Integration Access Services InfoPath Forms Services Excel Services Visio Services PerformancePoint Services カスタム分析レポート 詳細チャート	<ul style="list-style-type: none"> • SharePoint Server 2010 Enterprise SAL (SharePoint Server 2010 Standard SAL も必要)
SQL Server 2008 R2 Small Business	<ul style="list-style-type: none"> • SQL Server 2008 R2 Small Business SAL または • SQL Server 2008 R2 Standard SAL または • SQL Server 2008 R2 Standard OEM SAL または • SQL Server 2008 R2 Enterprise SAL または • SQL Server 2008 R2 Enterprise OEM SAL または • Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on SAL (同じ SBS ドメインに属するサーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスするユーザーまたはデバイスの場合)
SQL Server 2008 R2 (OEM 版を含む) Standard	<ul style="list-style-type: none"> • SQL Server 2008 R2 Standard SAL または • SQL Server 2008 R2 Standard OEM SAL または • SQL Server 2008 R2 Enterprise SAL または • SQL Server 2008 R2 Enterprise OEM SAL または • Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on SAL (同じ Small Business Server (SBS) ドメインに属するサーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスするユーザーまたはデバイスの場合)

SQL Server 2008 R2 (OEM 版を含む) Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> • SQL Server 2008 R2 Enterprise SAL または • SQL Server 2008 R2 Enterprise OEM SAL
SQL Server 2008 R2 Workgroup	<ul style="list-style-type: none"> • SQL Server 2008 R2 Workgroup SAL • Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on SAL (同じ SBS ドメインに属するサーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスするユーザーまたはデバイスの場合)
Visual Studio Team Foundation Server 2010 with SQL Server 2008 Technology	<ul style="list-style-type: none"> • Visual Studio Team Foundation Server 2010 SAL
Visual Studio Team Foundation Server 2010 with SQL Server 2008 Technology (基本構成)	<ul style="list-style-type: none"> • Visual Studio Team Foundation Server 2010 Basic SAL
Windows Server 2008 R2 Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2008 R2 Enterprise SAL または • Windows Small Business Server 2011 Standard SAL (同じ SBS ドメインに属するサーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスするユーザーまたはデバイスの場合)
Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on SAL
Windows HPC Server 2008 R2 Suite	<ul style="list-style-type: none"> • Windows HPC Server 2008 R2 Suite SAL
Windows Server 2008 HPC R2 Edition	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2008 HPC R2 Edition SAL
Windows Server 2008 R2 OEM	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2008 R2 OEM SAL
Windows Server 2008 R2 Rights Management Services	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2008 R2 Rights Management Services SAL
Windows Server 2008 R2 Standard	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2008 R2 Enterprise SAL、または • Windows Server 2008 R2 Standard SAL、または • Windows Small Business Server 2011 Standard SAL (同じ SBS ドメインに属するサーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスするユーザーまたはデバイスの場合)
Windows Server 2008 Remote Desktop Services	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL
Windows Small Business Server 2011 Essentials	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Small Business Server 2011 Essentials SAL
Windows Small Business Server 2011 Standard Edition	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Small Business Server 2011 Standard SAL

- b) **SAL の種類** SAL には、デバイス用、ユーザー用、適格教育ユーザー用（「Students」）の 3 種類があります。各デバイス SAL（デバイス SAL が許可される製品用）は、任意のユーザーが使用する 1 台のデバイスで、サーバー上の本サーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスすることを許諾します。各ユーザー SAL は、任意のデバイスを使用する 1 人のユーザーに、サーバー上の本サーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスすることを許諾します。Qualified Educational End User Addendum による認定が必要な Student SAL が提供される製品もあります。ユーザー SAL と同様、Student SAL は、任意のデバイスを使用する 1 人のユーザーに、サーバー上の本サーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスすることを許諾します。
- c) **SA 用 SAL** SA 用 SAL は、Microsoft ポリウム ライセンス プログラムに基づいて取得した有効なソフトウェア アシユアランス (SA) 付きの対象クライアント アクセス ライセンス (CAL) を割り当てられているユーザー、または有効なソフトウェア アシユアランス付きの対象デバイス CAL を割り当てられているデバイスを使用するユーザー向けに取得し、割り当てることができます。対象 CAL の複数のユーザー向けに SA 用 SAL を取得することはできません。本ドキュメントに定められているとおり、SA 用 SAL の使用権は対応する SAL と同一です。SA 用 SAL をユーザーまたはデバイスに割り当てる権利は、対象 CAL 用のソフトウェア アシユアランスの有効期限が切れるときに失効します。SA 用 SAL を使用することで、対象 CAL の使用権が無効になることはありません。SA 用 SAL は、対象 CAL を再割り当てした場合にのみ再割り当てすることができます（再割り当てする必要があります）。SA 用 SAL の発注および発注確認プロセスの詳細については、<http://www.explore.ms> を参照するか、ソフトウェア製品のリセラーにお問い合わせください。

SA をご利用のお客様が使用できる SAL とその対象 CAL を、次の表に示します。

SA 用 SAL	対象 CAL
Hosted Exchange Standard SAL	<ul style="list-style-type: none"> Exchange Server 2010 Standard CAL または Core CAL Suite または Enterprise CAL Suite
Hosted Exchange Enterprise SAL	<ul style="list-style-type: none"> Exchange Server 2010 Standard CAL および Exchange Server 2010 Enterprise CAL または Core CAL Suite および Exchange Server 2010 Enterprise CAL または Enterprise CAL Suite
Lync Server Standard SAL	<ul style="list-style-type: none"> Lync Server 2010 Standard CAL または Enterprise CAL Suite
Lync Server Enterprise SAL	<ul style="list-style-type: none"> Lync Server 2010 Standard CAL および Lync Server 2010 Enterprise CAL または Core CAL Suite および Lync Server Enterprise CAL または Enterprise CAL Suite
Lync Server Plus SAL	<ul style="list-style-type: none"> Lync Server Standard CAL および Lync Server Plus CAL または Core CAL Suite および Lync Server Plus CAL
Productivity Suite SAL (Core CAL Suite SA 用)	<ul style="list-style-type: none"> Core CAL Suite
Productivity Suite SAL (Enterprise CAL Suite SA 用)	<ul style="list-style-type: none"> Enterprise CAL Suite
SharePoint Server Standard SAL	<ul style="list-style-type: none"> SharePoint Server 2010 Standard CAL または Core CAL Suite または

	<ul style="list-style-type: none"> Enterprise CAL Suite
SharePoint Server Enterprise SAL	<ul style="list-style-type: none"> SharePoint Server 2010 Standard CAL および SharePoint Server 2010 Enterprise CAL または Core CAL Suite および SharePoint Server 2010 Enterprise CAL または Enterprise CAL Suite

d) SAL の再割り当て お客様は以下のことを行うことができます。

- i. デバイス SAL をあるデバイスから別のデバイスに恒久的に再割り当てするか、ユーザー SAL をあるユーザーから別のユーザーに恒久的に再割り当てする。
- ii. 常設のデバイスが使用不可能な場合にデバイス SAL を代替デバイスに一時的に再割り当てするか、デバイスを使用する従業員が休んでいる間に働く臨時の従業員にユーザー SAL を再割り当てする。

e) ソフトウェア

- i. **サーバー ソフトウェアのインスタンスの実行** お客様は、任意の数のデバイス上の物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) において、サーバー ソフトウェアの任意の数のインスタンスを実行または使用することができます。
- ii. **クライアント ソフトウェアのインスタンスの実行** お客様は、任意の数のデバイス上の物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) において、次の表に示すクライアント ソフトウェアの任意の数のインスタンスを実行または使用することができます。クライアント ソフトウェアは、サーバー ソフトウェアで直接使用するか、他のクライアント ソフトウェアを通じて間接的に使用できます。

製品	クライアント ソフトウェア
Exchange Server 2010 Standard および Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 管理ツール
Forefront Identity Manager 2010	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft パスワード変更通知サービス FIM Certificate Management Client FIM Certificate Management Bulk Issuance Client
Forefront Unified Access Gateway 2010	<ul style="list-style-type: none"> 該当なし
HPC Pack 2008 R2 Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> クライアント ユーティリティ Microsoft Message Passing Interface Web コンポーネント
Lync Server 2010 Standard および Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> Lync Web App 2010 プラグイン Topology Builder 管理ツール PowerShell スナップイン Lync 2010 グループ チャット管理ツール Lync Server 2010 Attendant
Microsoft Dynamics CRM 2011 Service Provider	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Dynamics CRM 2011 for Microsoft Office Outlook Microsoft Dynamics CRM 2011 の Microsoft E-Mail

	<ul style="list-style-type: none"> Router およびルール展開ウィザード Microsoft Dynamics CRM 2011 の Microsoft Dynamics CRM レポート拡張機能 Microsoft SharePoint Grid for Microsoft Dynamics CRM 2011 Microsoft Dynamics CRM 2011 Report Authoring Extensions Microsoft Dynamics CRM 2011 Best Practices Analyzer Microsoft Dynamics CRM 2011 Multilingual User Interface (MUI)
Project Server 2010	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア開発キット (SDK)
SharePoint Server 2010	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア開発キット (SDK)
SQL Server 2008 R2 (OEM 版を含む) Workgroup、Standard、Small Business、 および Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> Business Intelligence Development Studio クライアント ツール下位互換性 クライアント ツール接続 クライアント ツール ソフトウェア開発キット 管理ツール – 基本 管理ツール – 完全 SQL クライアント接続 SDK Microsoft Sync Framework SQL Server 2008 R2 Books Online
Visual Studio Team Foundation Server 2010 with SQL Server 2008 Technology	<ul style="list-style-type: none"> Team Explorer Team Foundation Build Team Foundation Server SharePoint 拡張機能
Windows HPC Server 2008 R2 Suite	<ul style="list-style-type: none"> クライアント ユーティリティ Microsoft Message Passing Interface Web コンポーネント サーバー移行ツール AD 移行ツール FRS 監視ツール リモート デスクトップ接続のクライアント RSAT クライアント
Windows Server™ 2008 HPC R2 Edition	<ul style="list-style-type: none"> サーバー移行ツール AD 移行ツール FRS 監視ツール リモート デスクトップ接続のクライアント RSAT クライアント
Windows Server 2008 R2 Standard および Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> AD 移行ツール FRS 監視ツール リモート デスクトップ接続のクライアント RSAT クライアント

	<ul style="list-style-type: none"> • サーバー移行ツール • Microsoft Application Virtualization Sequencer Version 4.6 • Microsoft System Center Application Virtualization Streaming Server Version 4.6 • Microsoft System Center Application Virtualization Management Server Version 4.6 • Microsoft Application Virtualization Client for Remote Desktop Services Version 4.6
Windows Small Business Server 2011 Essentials	<ul style="list-style-type: none"> • FRS 監視ツール • リモート デスクトップ接続のクライアント • RSAT クライアント • サーバー移行ツール • Small Business Server Restore Software for Client
Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on	<ul style="list-style-type: none"> • AD 移行ツール • FRS 監視ツール • リモート デスクトップ接続のクライアント • RSAT クライアント • サーバー移行ツール • SQL Business Intelligence Development Studio • SQL クライアント ツール下位互換性 • SQL クライアント ツール接続 • SQL クライアント ツール ソフトウェア開発キット • SQL 管理ツール – 基本 • SQL 管理ツール – 完全 • SQL クライアント接続ソフトウェア開発キット • Microsoft Sync Framework • SQL Server 2008 R2 Books Online
Windows Small Business Server 2011 Standard	<ul style="list-style-type: none"> • AD 移行ツール • FRS 監視ツール • リモート デスクトップ接続のクライアント • RSAT クライアント • サーバー移行ツール • Exchange 管理ツール • Small Business Server ソース移行ツール • Small Business Server コンソール • Microsoft Baseline Configuration Analyzer v2.0 • Windows Identity Foundation

iii. お客様のサーバーまたはストレージ メディア上でのインスタンスの作成と格納 お客様は、取得する各ソフトウェア ライセンスにつき、以下の追加の権利を有します。

- サーバー ソフトウェアおよびクライアント ソフトウェアの任意の数のインスタンスを作成する。
- 本サーバー ソフトウェアおよびクライアント ソフトウェアのインスタンスを任意のサーバーまたはストレージ メディアに格納する。

- 上述のソフトウェア ライセンスに基づいてサーバー ソフトウェアのインスタンスを実行する権利を行使する目的のみ、サーバー ソフトウェアおよびクライアント ソフトウェアのインスタンスを作成して格納する（第三者にインスタンスを再頒布することはできません）。

- iv. SQL Server Technology の使用条件** お客様のソフトウェアのエディションに SQL Server Technology が含まれている場合、お客様はそのソフトウェアをサポートするために、一度にその Technology の 1 つのインスタンスを、1 台のサーバー上の 1 つの物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で実行することができます。また、任意のバージョンの SQL Server Technology を含む他の製品をサポートするために、そのインスタンスを使用することができます。お客様は、SQL Server Technology を含むライセンスを取得していない製品をサポートするために、そのインスタンスを共有することはできません。その使用のために SQL Server SAL を取得する必要はありません。お客様は、本項に記載のとおりお客様のソフトウェア ライセンスに基づいてそのテクノロジーのインスタンスを実行する権利を行使する目的に限り、任意の数の SQL Server Technology のインスタンスを作成し、お客様のサーバーまたはストレージ メディアに格納することができます。お客様は一時的なサポートのために、1 つのパッシブ フェールオーバー インスタンスを 1 つの別のオペレーティング システム環境 (OSE) で実行することもできます。お客様は、ライセンス取得済みのサーバー以外の 1 つのサーバーでパッシブ フェールオーバー インスタンスを実行することができます。
- v. 管理パック** 本ソフトウェアには管理パックが含まれることがあります。管理パックの使用には、SAL ライセンス モデルに関する項に記載されている該当する System Center 製品の使用条件が適用されます。

2) 管理サーバー

a) 管理サブスクリイパー アクセス ライセンス (SAL)

- i.** お客様は、サーバー ソフトウェアのインスタンスを使用して直接または間接的に管理するオペレーティング システム環境 (OSE) に対する適切なカテゴリおよび種類の SAL を取得し、デバイスまたはユーザーに割り当てる必要があります。
- ii. SAL のカテゴリ** SAL のカテゴリは 2 種類あります。クライアントとサーバーの 2 種類です。必要な SAL のカテゴリは、オペレーティング システム環境 (OSE) 内で実行されているオペレーティング システム ソフトウェアに応じて異なります。サーバー オペレーティング システム ソフトウェアを実行する管理対象 OSE では、サーバー SAL が必要です。それ以外のすべての管理対象 OSE には、クライアント SAL が必要です。1 台のデバイスに、サーバー オペレーティング システムが実行されている一部の OSE を含め、複数の管理対象 OSE が存在する可能性があります。その場合、そのデバイス用に 2 つのカテゴリを組み合わせた SAL が必要になります。
- i) 2 種類のクライアント SAL** クライアント SAL には、管理対象 OSE 用とユーザー用の 2 種類があります。
- OSE クライアント SAL では、サーバー ソフトウェアのインスタンスで、任意のユーザーによって使用されている OSE の数と同じ数の OSE を管理できます。
 - ユーザー クライアント SAL では、サーバー ソフトウェアのインスタンスで、ユーザー クライアント SAL の割り当て先の各ユーザーが使用する OSE を管理できます。複数のユーザーが OSE を使用している状況で、OSE 別に使用許諾されていない場合は、各ユーザーにユーザー クライアント SAL を割り当てる必要があります。
 - クライアント SAL では、サーバー オペレーティング システムを実行する OSE の管理はできません。
- ii) 1 種類のサーバー SAL** サーバー SAL には、ユーザーのオプションはありません。取得できるサーバー SAL の種類は OSE サーバー SAL のみです。OSE サーバー SAL では、サーバー ソフトウェアのインスタンス数と同数の OSE を管理できます。サーバー SAL の種類は 1 つですが、複数のエディションが存在する場合があります。サーバー SAL のエディションが複数ある場合、必要なエディションは管理対象のワークロードに応じて決まります。お客様が、ライセンスを取得したデバイス上で 1 つの仮想 OSE を管理しており、物理 OSE はハードウェア仮想化ソフトウェアの実行、ハードウェア仮想化サービスの提供、およびそのデバイス上でオペレーティング システム環境 (OSE) の管理と保守を行うソフトウェアの実行のみを目的として使用している場合、1 つのサーバー SAL に基づいて仮想 OSE と物理 OSE を管理することができます。

お客様のサーバー SAL では、サーバー オペレーティング システム ソフトウェア以外のオペレーティン

グ システム ソフトウェアを実行する OSE の管理を行うことはできません。

b) 管理ライセンスの割り当て

- i. ユーザー クライアント SAL を取得した場合、その SAL をサーバー ソフトウェアのインスタンスによって管理する OSE のユーザーに割り当てる必要があります。
- ii. OSE クライアント SAL または OSE サーバー SAL を取得した場合、その SAL を管理対象の OSE を実行するデバイスに割り当てる必要があります。ハードウェア パーティションまたはブレードは、別個のデバイスと見なされます。1 台のデバイスで一度に管理する OSE の数は、そのデバイスに割り当てられている OSE クライアント SAL または OSE サーバー SAL の数を超えることはできません (ただし、前述の規定に従い、1 つのサーバー SAL に基づいて物理 OSE および仮想 OSE の管理を許可されている場合を除きます)。
- iii. 適切な管理 SAL は次のとおりです。
 - サーバーまたはクライアント
 - OSE またはユーザー (存在する場合)
 各製品に対する適切な SAL については、以下の表をご覧ください。
- iv. 本項において、OSE を「管理する」とは、デバイスの存在を確認すること以外の、その OSE に関連するハードウェアまたはソフトウェアに関する以下のことを意味します。
 - データを収集または受信すること。
 - 設定を行うこと、または
 - 指示を与えること。
- v. 以下については、管理 SAL は不要です。
 - ソフトウェアのインスタンスが実行されていない OSE
 - ネットワーク インフラストラクチャ デバイス (OSI 第 3 層以下) としてのみ機能しているデバイス、または
 - アウトオブバンド管理のみを行うお客様の任意のデバイス。「アウトオブバンド管理」では、ネットワーク接続を介したハードウェア管理コントローラーとの対話により、ハードウェア コンポーネント (システムの温度、ファンの速度、電源のオン/オフ、システムのリセット、CPU の可用性など) の状態を監視または管理します。CPU、RAM、NIC、またはストレージを対象とする使用状況の監視は、OSE の間接的な管理と見なされ、管理ライセンスが必要となります。
- vi. サーバー上のサーバー ソフトウェアのインスタンスを使用して、以下を管理できます。
 - i. デバイス上の任意の数の OSE (インスタンス数と同数の管理 SAL をデバイスに割り当てた場合)
 - ii. ユーザーが使用している OSE (管理 SAL をユーザーに割り当てた場合)
 ただし、前述の限定された目的のために物理 OSE を使用する場合は、1 つのサーバー SAL に基づいて物理 OSE および任意の仮想 OSE を管理することができます。

c) Server Management License Suites サーバー管理 SAL に基づいて OSE の管理に一般的に適用されるライセンス条件には、以下の例外があります。

System Center Server Management Suite Enterprise SAL が割り当てられたデバイス上で実行されている最大 4 つの OSE を一度に管理できます。お客様が、ライセンスを取得したデバイス上で 4 つの仮想 OSE を管理しており、物理 OSE はハードウェア仮想化ソフトウェアの実行、ハードウェア仮想化サービスの提供、およびそのデバイス上でオペレーティング システム環境 (OSE) の管理と保守を行うソフトウェアの実行のみを目的として使用している場合、物理 OSE を管理することもできます。

お客様は、System Center Server Management Suite Datacenter SAL が割り当てられているデバイス上で実行されている任意の数の OSE を管理できます。デバイスの物理的プロセスごとに 1 つの System Center Server Management Suite Datacenter SAL が必要です。System Center Server Management Suite Datacenter SAL では、これらの System Center Management Server 製品の以前のバージョンを使用して管理を行うことができます。

製品または機能 (ワークロード)	SAL のカテゴリと一覧
<p>System Center Configuration Manager 2007 R3 および System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology</p> <p>(サーバー ソフトウェアのインスタンスによる、ライセンス取得済みの OSE で実行されている基本オペレーティング システム ワークロードのみの管理 (必要な構成管理 (DCM) を使用)、およびライセンス取得済みの OSE で実行される任意のアプリケーションの管理 (DCM の使用が不要))</p> <p>基本オペレーティング システム ワークロードとは、以下を意味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の基本的なオペレーティング システム ユーティリティ: システム リソース マネージャー、パスワード変更通知、Baseline Security Analyzer、Reliability および Availability Services • 次のファイルおよび印刷サービスのワークロード: プリント サーバー、分散ファイル システム (DFS)、ファイル レプリケーション サービス (FRS)、ネットワーク ファイル システム (NFS)、ファイル転送プロトコル (FTP)、および Windows SharePoint Services • 次のネットワーク サービスのワークロード: Distributed Naming Service (DNS)、動的ホスト構成プロトコル (DHCP)、および Windows インターネット ネーム サービス (WINS) • 次のセキュリティ ワークロード: ネットワークとホストを保護するための、ファイアウォール、プロキシ、侵入検出およびアタック防止、ウイルス対策管理、アプリケーション セキュリティ ゲートウェイ、コンテンツ フィルタリング (URL フィルタリング およびスパムを含む)、ネットワーク フォレンジック、セキュリティ情報管理、および脆弱性評価 	<p>System Center Configuration Manager 2007 R3 サーバー SAL (Standard)</p> <ul style="list-style-type: none"> • System Center Configuration Manager 2007 R3 Standard Server SAL <p>System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology サーバー SAL (Standard)</p> <ul style="list-style-type: none"> • System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology Standard Server SAL
<p>System Center Configuration Manager 2007 R3 および System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology</p> <p>(DCM を使用するサーバー ソフトウェアのインスタンスによる以下の管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> • IT コンプライアンスおよびガバナンス構成 • 基本オペレーティング システム ワークロード • 他のすべてのオペレーティング システム ユーティリティ、サービス ワークロード、およびライセンス取得済みの OSE で実行されている任意のアプリケーション 	<p>System Center Configuration Manager 2007 R3 サーバー SAL (Enterprise)</p> <ul style="list-style-type: none"> • System Center Configuration Manager 2007 R3 Enterprise Server SAL、または • System Center Server Management Suite Enterprise SAL、または • System Center Server Management Suite Datacenter SAL <p>System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology サーバー SAL (Enterprise)</p> <ul style="list-style-type: none"> • System Center Configuration Manager 2007

	<p>R3 with SQL Server 2008 Technology Enterprise Server SAL、または</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Server Management Suite Enterprise SAL、または System Center Server Management Suite Datacenter SAL
<p>System Center Configuration Manager 2007 R3 および System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology</p>	<p>System Center Configuration Manager 2007 R3 クライアント SAL</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Configuration Manager 2007 R3 Client SAL <p>System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology クライアント SAL</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology Client SAL
<p>System Center Data Protection Manager 2010</p> <p>(本サーバー ソフトウェアのインスタンスによる基本的なファイル バックアップとリカバリの管理。ライセンスを受けた OSE で実行している以下の項目が対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーティング システム コンポーネント ユーティリティ ライセンス取得済みの OSE で実行されている サービス ワークロード 次のセキュリティ ワークロード: ネットワークとホストを保護するための、ファイアウォール、プロキシ、侵入検出およびアタック防止、ウイルス対策管理、アプリケーション セキュリティ ゲートウェイ、コンテンツ フィルタリング (URL フィルタリング およびスパムを含む)、ネットワーク フォレンジック、セキュリティ情報管理、および脆弱性評価 	<p>サーバー SAL (Standard)</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Data Protection Manager 2010 Standard Server SAL
<p>System Center Data Protection Manager 2010</p> <p>(本サーバー ソフトウェアのインスタンスによる、基本的なファイル バックアップとリカバリを含むバックアップとリカバリ。ライセンスを受けた OSE で実行している以下の項目が対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> サーバーのシステム ステート すべてのオペレーティング システム コンポーネント すべてのユーティリティ すべてのサーバー ワークロード すべてのアプリケーション 	<p>サーバー SAL (Enterprise)</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Data Protection Manager 2010 Enterprise Server SAL System Center Server Management Suite Enterprise SAL、または System Center Server Management Suite Datacenter SAL
<p>System Center Data Protection Manager 2010</p>	<p>クライアント SAL</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Data Protection Manager

	2010 Client SAL または • System Center Client Management Suite SAL
<p>System Center Operations Manager 2007 R2 および System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology</p> <p>(本サーバー ソフトウェアのインスタンスによる、ライセンスを受けた OSE で実行している基本オペレーティング システム ワークロードのみの管理)</p> <p>基本オペレーティング システム ワークロードとは、以下を意味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の基本的なオペレーティング システム ユーティリティ: システム リソース マネージャー、パスワード変更通知、Baseline Security Analyzer、Reliability および Availability Services • 次のファイルおよび印刷サービスのワークロード: プリント サーバー、分散ファイル システム (DFS)、ファイル レプリケーション サービス (FRS)、ネットワーク ファイル システム (NFS)、ファイル転送プロトコル (FTP)、および Windows SharePoint Services • 次のネットワーク サービスのワークロード: Distributed Naming Service (DNS)、動的ホスト構成プロトコル (DHCP)、および Windows インターネット ネーム サービス (WINS) • 次のセキュリティ ワークロード: ネットワークとホストを保護するための、ファイアウォール、プロキシ、侵入検出およびアタック防止、ウイルス対策管理、アプリケーション セキュリティ ゲートウェイ、コンテンツ フィルタリング (URL フィルタリングおよびスパムを含む)、ネットワーク フォレンジック、セキュリティ情報管理、および脆弱性評価 <p>マイクロソフトは http://go.microsoft.com/?linkid=4426611 に更新版を掲載することにより、基本オペレーティング システム ワークロードの一覧を拡大することができます。</p>	<p>System Center Operations Manager 2007 R2 サーバー SAL (Standard)</p> <ul style="list-style-type: none"> • System Center Operations Manager 2007 R2 Standard Server SAL <p>System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology サーバー SAL (Standard)</p> <ul style="list-style-type: none"> • System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology Standard Server SAL
<p>System Center Operations Manager 2007 R2 および System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology</p> <p>(本サーバー ソフトウェアのインスタンスによる、ライセンスを受けた OSE で実行している以下の項目の管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 基本オペレーティング システム ワークロード • 他のすべてのオペレーティング システム ユーティリティ • 他のすべてのサービス ワークロード 	<p>System Center Operations Manager 2007 R2 サーバー SAL (Enterprise)</p> <ul style="list-style-type: none"> • System Center Operations Manager 2007 R2 Enterprise Server SAL、または • System Center Server Management Suite Enterprise SAL、または • System Center Server Management Suite Datacenter SAL <p>System Center Operations Manager 2007 R2</p>

<ul style="list-style-type: none"> すべてのアプリケーション 	<p>with SQL Server 2008 Technology サーバー SAL (Enterprise)</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology Enterprise Server SAL、または System Center Server Management Suite Enterprise SAL、または System Center Server Management Suite Datacenter SAL
<p>System Center Operations Manager 2007 R2 および System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology (本サーバー ソフトウェアのインスタンスによる、ライセンスを受けた OSE で実行している以下の項目の管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本オペレーティング システム ワークロード インターネット インフォメーション サービス (IIS) または同様のテクノロジー SQL Web または SQL Web と同じ方法でのみ使用される同様のデータベース テクノロジー 	<p>System Center Operations Manager 2007 R2 サーバー SAL (Web)</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Operations Manager 2007 R2 Web Server SAL <p>System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology サーバー SAL (Web)</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology Web Server SAL
<p>System Center Operations Manager 2007 R2 および System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology</p>	<p>System Center Operations Manager 2007 クライアント SAL</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Operations Manager 2007 Client SAL または System Center Client Management Suite SAL <p>System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology クライアント SAL</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology Client SAL または System Center Client Management Suite SAL
<p>System Center Service Manager 2010 および System Center Service Manager 2010 with SQL Server 2008 Technology</p>	<p>System Center Service Manager 2010 サーバー SAL</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Service Manager 2010 Server SAL または System Center Server Management Suite Enterprise SAL または System Center Server Management Suite Datacenter SAL <p>System Center Service Manager 2010 with SQL Server 2008 Technology サーバー SAL</p> <ul style="list-style-type: none"> System Center Service Manager 2010 with SQL Server 2008 Technology Server SAL または

	<ul style="list-style-type: none"> • System Center Server Management Suite Enterprise SAL または • System Center Server Management Suite Datacenter SAL
System Center Service Manager 2010 および System Center Service Manager 2010 with SQL Server 2008 Technology	System Center Service Manager 2010 クライアント SAL <ul style="list-style-type: none"> • System Center Service Manager 2010 Client SAL または • System Center Client Management Suite SAL System Center Service Manager 2010 with SQL Server 2008 Technology クライアント SAL <ul style="list-style-type: none"> • System Center Service Manager 2010 with SQL Server 2008 Technology Client SAL または • System Center Client Management Suite SAL
System Center Virtual Machine Manager 2008 R2	サーバー SAL (Enterprise) <ul style="list-style-type: none"> • System Center Virtual Machine Manager 2008 R2 Enterprise Server SAL または • System Center Server Management Suite Enterprise SAL または • System Center Server Management Suite Datacenter SAL
System Center Virtual Machine Manager 2008 R2	クライアント SAL <ul style="list-style-type: none"> • System Center Virtual Machine Manager 2008 R2 Client SAL
Windows Embedded Device Manager 2011 Windows Embedded Device Manager 2011 with SQL Server 2008 Technology	Windows Embedded Device Manager 2011 クライアント SAL <ul style="list-style-type: none"> • Windows Embedded Device Manager 2011 Client SAL Windows Embedded Device Manager 2011 with SQL Server 2008 Technology クライアント SAL <ul style="list-style-type: none"> • Windows Embedded Device Manager 2011 with SQL Server 2008 Technology Client SAL

d) **SAL の再割り当て** お客様は以下のことを行うことができます。

i. 次の恒久的な再割り当て

- デバイス間で OSE サーバーまたはクライアント SAL を恒久的に再割り当てすること。
- ユーザー間でユーザー クライアント SAL を恒久的に再割り当てすること。

ii. 次の一時的な再割り当て

- 常設のデバイスが使用不能な場合に OSE サーバーまたはクライアント SAL を代替デバイスに一時的に再割り当てすること。

- ユーザーが休んでいる間に働く代替者にユーザー クライアント SAL を一時的に再割り当てすること。

e) ソフトウェア

お客様は、お客様またはお客様のエンド ユーザーが System Center ソフトウェアに適用されるサービス プロバイダー製品使用権説明書またはボリューム ライセンス製品使用権説明書の規定に従って管理ライセンスを個別に取得して割り当てている場合、System Center ソフトウェアを使用して、お客様のデバイス上の OSE を管理することができます。

- i. **サーバー ソフトウェアのインスタンスの実行** お客様は、任意の数のデバイス上の物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) において、サーバー ソフトウェアの任意の数のインスタンスを実行または使用することができます。
- ii. **クライアント ソフトウェアのインスタンスの実行** お客様は、任意の数のデバイス上の物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) において、次の表に示すクライアント ソフトウェアの任意の数のインスタンスを実行または使用することができます。クライアント ソフトウェアは、サーバー ソフトウェアに対して直接使用するか、他のクライアント ソフトウェアを通じて間接的に使用できます。

製品	クライアント ソフトウェア
SQL Server 2008 R2 (OEM 版を含む) Workgroup、Standard、Small Business、 および Enterprise	<ul style="list-style-type: none"> • Business Intelligence Development Studio • クライアント ツール下位互換性 • クライアント ツール接続 • クライアント ツール ソフトウェア開発キット • 管理ツール - 基本 • 管理ツール - 完全 • SQL クライアント接続 SDK • Microsoft Sync Framework • SQL Server 2008 R2 Books Online
System Center Configuration Manager 2007 R3	System Center Configuration Manager 2007 R3 (すべてのエディション) <ul style="list-style-type: none"> • Configuration Manager コンソール • Configuration Manager クライアント • デバイス管理ポイント • カスタム更新プログラム用発行ツール • 配布ポイント • フォールバック ステータス ポイント • Microsoft 更新プログラム用インベントリ ツール • PXE サービス ポイント • 管理ポイント • Power Viewer • レポート ポイント • System Center Update Publisher • セカンダリ サイト サーバー • サーバー ロケーター ポイント • ソフトウェアの更新ポイント • 状態移行ポイント • システム正常性検証ツール ポイント
System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology	

	<ul style="list-style-type: none"> • 構成パック <p>System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> • Analysis Services 共有ツール • Business Intelligence Development Studio • 接続コンポーネント • レガシ コンポーネント • 管理ツール • Notification Services クライアント コンポーネント • Reporting Services レポート マネージャー • Reporting Services 共有ツール • SQL Server 2008 Books Online • SQL Server 2008 共有ツール • ソフトウェア開発キット • SQLXML クライアント機能 • SQL Server Mobile サーバー ツール <p>SQL Server Mobile サーバー ツール</p> <ul style="list-style-type: none"> • エージェントおよびヘルパーのバイナリ • 監査データベース • コネクタ フレームワーク • コンソール • データベース • 管理パック • パワー シェル • レポート データ ウェアハウス • レポート サーバー • Web コンソール
<p>System Center Data Protection Manager 2010</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Data Protection Manager 2010 エージェント • Data Protection Manager Remote Command-Line Interface Console • Data Protection Manager システム回復ツール エージェント • Analysis Services 共有ツール • Business Intelligence Development Studio • 接続コンポーネント • レガシ コンポーネント • 管理ツール • Notification Services クライアント コンポーネント • Reporting Services レポート マネージャー • Reporting Services 共有ツール • SQL Server 2008 共有ツール • ソフトウェア開発キット • SQLXML クライアント機能

	<ul style="list-style-type: none"> • SQL Server 2008 Books Online • SQL Server Mobile サーバー ツール
<p>System Center Operations Manager 2007 R2</p>	<p>System Center Operations Manager 2007 R2 (すべてのエディション)</p>
<p>System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology</p>	<ul style="list-style-type: none"> • エージェントおよびヘルパーのバイナリ • 監査データベース • コネクタ フレームワーク • コンソール • データベース • 管理パック • パワー シェル • レポート データ ウェアハウス • レポート サーバー • Web コンソール <p>System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> • Analysis Services 共有ツール • Business Intelligence Development Studio • 接続コンポーネント • レガシ コンポーネント • 管理ツール • Notification Services クライアント コンポーネント • Reporting Services レポート マネージャー • Reporting Services 共有ツール • SQL Server 2008 共有ツール • ソフトウェア開発キット • SQLXML クライアント機能 • SQL Server 2008 Books Online • SQL Server Mobile サーバー ツール
<p>System Center Service Manager 2010</p> <p>System Center Service Manager 2010 with SQL Server 2008 Technology</p>	<p>System Center Service Manager 2010 (すべてのエディション)</p> <ul style="list-style-type: none"> • データ ウェアハウス管理サーバー • データ ウェアハウス データベース • Service Manager コンソール • セルフサービス ポータル <p>System Center Service Manager 2010 with SQL Server 2008 Technology のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> • Analysis Services 共有ツール • Business Intelligence Development Studio • 接続コンポーネント • レガシ コンポーネント • 管理ツール • Notification Services クライアント コンポーネント

	<ul style="list-style-type: none"> • Reporting Services レポート マネージャー • Reporting Services 共有ツール • SQL Server 2008 Books Online • SQL Server 2008 共有ツール • ソフトウェア開発キット • SQLXML クライアント機能 • SQL Server Mobile サーバー ツール
<p>System Center Virtual Machine Manager 2008 R2</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Virtual Machine Manager エージェント • Physical to Virtual エージェント • 管理者コンソール • Virtual Machine Manager セルフサービス ポータル • VMRC クライアント
<p>Windows Embedded Device Manager 2011</p> <p>Windows Embedded Device Manger 2011 with SQL Server 2008 Technology</p>	<p>Windows Embedded Device Manager 2011 (すべてのエディション)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Embedded Device Manager Console Extensions (Configuration Manager コンソール用) • Embedded Device Manager Client • Embedded Device Manager Device Imaging <p>Windows Embedded Device Manager 2011 with SQL Server 2008 Technology のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> • Analysis Services 共有ツール • Business Intelligence Development Studio • 接続コンポーネント • レガシ コンポーネント • 管理ツール • Notification Services クライアント コンポーネント • Reporting Services レポート マネージャー • Reporting Services 共有ツール • SQL Server 2008 共有ツール • ソフトウェア開発キット • SQLXML クライアント機能 • SQL Server 2008 Books Online • SQL Server Mobile サーバー ツール

- iii. **お客様のサーバーまたはストレージ メディア上でのインスタンスの作成と格納** お客様は、取得する各ソフトウェア ライセンス 1 つにつき、以下の追加の権利を有します。
- サーバー ソフトウェアおよびクライアント ソフトウェアの任意の数のインスタンスを作成する。
 - 任意のサーバーまたはストレージ メディアに対し、本サーバー ソフトウェアおよびクライアント ソフトウェアのインスタンスを格納する。
 - 上記のソフトウェア ライセンスに基づいてサーバー ソフトウェアのインスタンスを実行する権利を行使するためにのみ、サーバー ソフトウェアおよびクライアント ソフトウェアのインスタンスを作成して格納する (第三者にインスタンスを再頒布することはできません)。
- iv. **SQL Server 2008 Technology の使用条件** お客様のソフトウェア エディションに SQL Server

2008 Technology が含まれている (つまり、お客様のソフトウェアが System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology、System Center Data Protection Manager 2010、System Center Operations Manager 2007 R2 with SQL Server 2008 Technology、System Center Service Manager 2010 with SQL Server 2008 Technology、Windows Embedded Device Manager 2011 with SQL Server 2008 Technology などの) 場合、お客様はそのソフトウェアをサポートするために、一度にその Technology の 1 つのインスタンスを、1 台のサーバー上の 1 つの物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で実行することができます。また、任意のバージョンの SQL Server Technology を含む他の製品をサポートするために、そのインスタンスを使用することができます。お客様は、SQL Server Technology を含むライセンスを取得していない製品をサポートするために、そのインスタンスを共有することはできません。該当するソフトウェアのエディションと対応する SAL に基づくアクセスのみが許可されます。ただし、お客様はその使用のために別の SQL Server SAL を取得する必要はありません。前述のテクノロジーのインスタンスを実行する権利を行使するためのみに、SQL Server Technology の任意の数のインスタンスを作成するか、任意のサーバーまたはストレージメディアに格納することができます。お客様は一時的なサポートのために、1 つのパッシブ フェールオーバー インスタンスを 1 つの別のオペレーティング システム環境 (OSE) で実行することもできます。お客様は、ライセンス取得済みのサーバー以外のサーバーでパッシブ フェールオーバー インスタンスを実行することができます。

- v. **管理パックと構成パック** ソフトウェアには管理パックまたは構成パックが含まれることがあります。お客様によるこれらのパックの使用には、SAL ライセンス モデルに関するこの項に記載された、該当する System Center 製品の使用許諾契約の条項が適用されます。

3) デスクトップ アプリケーション

- Expression Encoder Pro 4
- Expression Studio 4 Ultimate
- Expression Studio 4 Web Professional
- Office Multi Language Pack 2010
- Office Professional Plus Edition 2010
- Project 2010 Standard および Professional
- Office Standard 2010
- Visio 2010 Standard、Professional、および Premium
- Visual Studio 2010 Professional、Premium、および Ultimate
- Visual Studio LightSwitch 2011
- Visual Studio Team Explorer Everywhere 2010
- Visual Studio Test Professional 2010
- Windows 7 Professional Upgrade

a) サブスクリイパー アクセス ライセンス (SAL)

- i. ソフトウェアに実際にアクセスするかどうかにかかわらず、直接的または間接的な本ソフトウェアのインスタンスへのアクセスを許可されるユーザーごとに、SAL を取得して割り当てる必要があります。B の「特定の製品に関する例外規定と追加の条件」に示す製品を除き、デバイス SAL は使用できません。ハードウェアパーティションまたはハードウェア ブレードは、別個のデバイスと見なされます。
- ii. プロセッサごとのライセンスで使用許諾されるソフトウェアには、SAL は必要ありません。

b) SAL の種類 2 種類の SAL があります。1 つはユーザー用で、もう 1 つはデバイス用です。

- i. **ユーザー SAL** 各ユーザー SAL により、1 人のユーザーに対し、任意のデバイスを利用したソフトウェアへのアクセスと使用が許可されます。
- ii. **デバイス SAL**
 - **サービス デバイスまたはレンタル デバイス** お客様は、1 つのライセンスに基づいて本ソフトウェアを使用する前に、そのライセンスを 1 台のデバイス (物理ハードウェア システム) に割り当てる必要があります。このデバイスを「サービス デバイスまたはレンタル デバイス」といいます。ハードウェアパーティションまたはハードウェア ブレードは、別個のデバイスと見なされません。
 - お客様がサービス デバイス上またはレンタル デバイス上にインストールして使用することができるソフトウェアの複製数に制限はありません。

- c) **ユーザー SAL の同時接続** 本ソフトウェアが実行されているサーバー (複数のデバイスを使用) への同時接続ごとに、SAL が必要です。たとえば、1 日の異なる時刻に、PC と別のラップトップの両方から本サーバー

ソフトウェアにアクセスするユーザーに対しては、1 つの SAL を取得するだけで済みます。ただし、同時に両方のデバイスから本ソフトウェアにアクセスするユーザーに対しては、2 つの SAL を取得する必要があります。

- d) **SAL の再割り当て** お客様は以下のことを行うことができます。
- i. デバイス SAL をあるデバイスから別のデバイスに恒久的に再割り当てするか、ユーザー SAL をあるユーザーから別のユーザーに恒久的に再割り当てする。
 - ii. 常設のデバイスが使用不可能な場合にデバイス SAL を代替デバイスに一時的に再割り当てするか、デバイスを使用する従業員が休んでいる間に働く臨時の従業員にユーザー SAL を再割り当てする。

4) オンライン サービス

- a) **サービス SAL** 次の表にオンライン サービスが記載されている場合は、表に従ってそのオンライン サービスのサービス SAL を取得して割り当てする必要があります。

サービス SAL が必要なオンライン サービス		
オンライン サービス	サービス SAL	必要なライセンス数
なし	なし	なし

- b) **ユーザーおよびデバイス SAL** 次の表にオンライン サービスが記載されている場合は、表に従ってそのオンライン サービスのユーザー SAL またはデバイス SAL を取得して、ユーザーおよびデバイスに割り当てする必要があります。サービスに対してユーザー SAL とデバイス SAL の両方が記載されている場合は、いずれかの種類の SAL を取得して割り当てることでサービスを使用できます。

ハードウェア パーティションまたはハードウェア ブレードは、別個のデバイスと見なされます。

ユーザー SAL またはデバイス SAL を必要とするオンライン サービス		
オンライン サービス	ユーザーまたはデバイス SAL	必要なライセンスの対象
Forefront Endpoint Protection	Forefront Endpoint Protection ユーザー SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって処理されたデータにアクセスするユーザー
	Forefront Endpoint Protection デバイス SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって処理されたデータにアクセスするデバイス
Forefront Online Protection for Exchange	Forefront Online Protection for Exchange ユーザー SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって顧客データが処理されるユーザー
	Forefront Online Protection for Exchange デバイス SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって処理されたデータにアクセスするデバイス
	Hosted Exchange Enterprise SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって顧客データが処理されるユーザー
	Hosted Exchange Enterprise Plus SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって顧客データが処理されるユーザー
Forefront Protection 2010 for Exchange Server	Forefront Protection 2010 for Exchange Server Basic SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって顧客データが処理されるユーザー

	Forefront Protection 2010 for Exchange Server Standard SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって顧客データが処理されるユーザー
	Forefront Protection 2010 for Exchange Server Standard Plus SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって顧客データが処理されるユーザー
	Hosted Exchange Enterprise SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって顧客データが処理されるユーザー
	Hosted Exchange Enterprise Plus SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって顧客データが処理されるユーザー
Forefront Security for Office Communications Server	Forefront Security for Office Communications Server ユーザー SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによってインスタント メッセージングが処理されるユーザー
Forefront Protection 2010 for SharePoint	Forefront Protection 2010 for SharePoint ユーザー SAL	オンライン サービスまたは関連するソフトウェアによって処理された SharePoint サイトのデータにアクセスするユーザー
	Forefront Protection 2010 for SharePoint デバイス SAL	オンライン サービスまたは関連するソフトウェアによって処理された SharePoint サイトのデータにアクセスするデバイス
Forefront Threat Management Gateway Web Protection Service	Forefront Threat Management Gateway Web Protection Service ユーザー SAL	オンライン サービスまたは関連するソフトウェアによって処理されたデータにアクセスするユーザー。ただし、オンライン サービスまたは関連するソフトウェアによってデータを処理される外部ユーザー ¹ については、ユーザー SAL は必要ありません
	Forefront Threat Management Gateway Web Protection Service デバイス SAL	オンライン サービスまたは関連するソフトウェアによって処理されたデータにアクセスするデバイス。ただし、オンライン サービスまたは関連するソフトウェアによってデータを処理される外部ユーザー ¹ が使用するデバイスについては、デバイス SAL は必要ありません
Microsoft Exchange Hosted Encryption	Microsoft Exchange Hosted Encryption ユーザー SAL	オンライン サービスまたは関連ソフトウェアによって顧客データが処理されるユーザー

¹ 外部ユーザーとは、(i) お客様またはお客様の関連会社の従業員ではないユーザー、または (ii) お客様またはお客様の関連会社のオンサイトの契約業者および代理店ではないユーザーを意味します。

- c) **オンライン サービスの場合の条件の相違点** お客様のサービス プロバイダー ライセンス契約の条件の中には、使用権のコミットメントなど、オンライン サービスに適用されないものがあります。条件の相違点は次のとおりです。

使用条件の更新 マイクロソフトはこれらの使用条件を随時更新することがあります。マイクロソフトが条件を更新する場合、既存のライセンスに基づくオンラインサービスの利用については、サブスクリプション ライセンス期間の最初の 12 か月間は、更新前の使用条件が適用されます。ただし、使用権に関するこの確約にかかわらず、法令によってライセンス条件の変更が必要な場合は、直ちに新しい条件が適用されます。更新については、一般向け適用日の少なくとも 30 日前にお客様に通知するよう努めます。マイクロソフトが本製品使用権説明書で新しい使用条件を公開した後、または電子メールで更新についてお客様に連絡した後にお客様がオンライン サービスをご利用になることで、お客様は新しい条件に同意したものと見なされます。

オンライン サービスの更新 マイクロソフトは、必要に応じてオンライン サービスの機能を変更したり、オン

ライン サービスの新しいバージョンをリリースすることができるものとします。更新により、一部の機能が利用できなくなる場合があります。マイクロソフトがオンライン サービスを更新し、更新されたオンライン サービスをお客様がご利用にならない場合、お客様は一部の機能を使用できないことや、オンライン サービスの使用が中断されることがあります。

オンライン サービス の一時中断 マイクロソフトは、以下の場合にオンライン サービスを一時中断できるものとします。

- お客様によるオンライン サービスの使用が、ネットワークの機能または統合性あるいは他者によるオンライン サービスの使用を直接または間接的に脅かすと判断した場合
- お客様による使用が、本製品使用権説明書を含むお客様のサービス プロバイダー ライセンス 契約に違反したと判断した場合
- お客様による使用が、そのオンライン サービスのドキュメントで指定されている割り当てを超えた場合、または
- その他の法律によって求められた場合

d) オンライン サービスの満了または終了 オンライン サービス サブスクリプションが満了または終了する際に、お客様はマイクロソフトに連絡し、以下のいずれかの処理を選択する必要があります。

- (1) お客様のアカウントを無効にし、顧客データを削除する。
- (2) サブスクリプションの満了日または終了日から少なくとも 90 日間 (以下、「保持期間」といいます)、機能が限定されたアカウントにお客様の顧客データを保持し、お客様がデータを抽出できるようにする。
 - (1) を選択した場合、お客様はアカウントから顧客データを抽出できません。(2) を選択した場合、お客様は関連コストをマイクロソフトに払い戻すものとします。お客様が (1) または (2) を選択しない場合、マイクロソフトは (2) に従ってお客様の顧客データを保持します。
 - 保持期間の満了後、マイクロソフトはお客様のアカウントを無効にして顧客データを消去します。

顧客データの消去に関する免責 お客様は、上述の場合を除き、マイクロソフトがお客様の顧客データを引き続き保持する義務、または抽出や返却を行う義務を負わないことに同意するものとします。さらにお客様は、本条件に従ったお客様の顧客データの消去について、マイクロソフトがいかなる責任も負わないことに同意するものとします。

e) お客様のアカウントに関する責任 お客様のオンライン サービス アカウント (お客様が設定したユーザーのアカウントを含む) とパスワード (ある場合) を使用したオンライン サービスのご利用については、お客様のアカウントまたは関連アカウントを使用して行われる第三者とのやり取りも含め、すべてお客様が責任を負うものとします。お客様のアカウントとパスワードは、機密情報として保持される必要があります。お客様のアカウントが悪用された可能性がある場合、またはオンライン サービスに関連するセキュリティ侵害の疑いがある場合は、お客様は直ちにマイクロソフトまで連絡する必要があります。

f) オンライン サービスでのソフトウェアの使用 お客様がオンライン サービスにサインインして使用する際には、場合によって特定の Microsoft ソフトウェアをインストールする必要があります。この場合、次の条件が適用されます。

i Microsoft ソフトウェア ライセンス条項 お客様は、オンライン サービスで使用する場合にのみお客様のデバイスに本ソフトウェアをインストールして使用することができます。お客様のソフトウェア使用権は、お客様のオンライン サービス使用権が終了または期限切れになったとき、またはマイクロソフトがオンライン サービスを更新してそのソフトウェアをサポートしなくなったときのいずれか早い方の時点で終了します。お客様の使用権が終了した場合、お客様は本ソフトウェアをアンインストールする必要があります。お客様のソフトウェア使用権が終了した時点で、マイクロソフト もお客様のそのソフトウェア使用を無効にします。

ii Microsoft ソフトウェアの自動更新 マイクロソフトは、お客様がご使用のソフトウェアのバージョンを随時確認し、更新プログラムの使用を推奨することや、お客様のデバイスに更新プログラムをダウンロードすることがあります。更新プログラムのダウンロードの際に、お客様に通知されない場合もあります。

g) 他の Web サイトやサービスの使用 お客様がオンライン サービスにアクセスして使用する際は、マイクロソフトの特定の Web サイトまたはサービスの使用が必要になる場合があります。その場合は、それらの

Web サイトまたはサービスに関連付けられている使用条件が、適宜、お客様による使用に適用されます。

- h) 第三者のコンテンツとサービス** マイクロソフトは、お客様がオンライン サービス経由で直接または間接的にアクセスした第三者の Web サイトのコンテンツに対するは責任を負いません。オンライン サービスに関連する第三者（広告主を含む）との取引（商品やサービスの配送や代金支払など）に関する責任はお客様が負うものとします。
- i) 既得権** お客様は、次の請求においてマイクロソフトを防御するものとします。(1) お客様と現在または以前の従業員もしくは業務委託者との間の現在または以前の雇用関係に起因する、または団体協約に基づいて生じた請求（不当解雇、明示または黙示的な雇用契約の違反、給付金または賃金の支払い、不当解雇のコスト、余剰コストに対する請求を含みますが、これに限定されません）、または (2) 既得権指令（Council Directive 2001/23/EC、Council Directive 98/50/EC によって修正された以前の Council Directive 77/187/EC）または同一もしくは同様の法令または規制を施行する国内法令または規則（英国の 2006 年事業譲渡（雇用の保護）規則を含みます）に基づいて生じるすべての債務または負債に起因する請求。これには、本加入契約に関連するお客様の現在または以前の従業員もしくは業務委託者からの請求（当該法令または規則に従ってマイクロソフトに雇用関係が移転された後のマイクロソフトによる解雇に関連する請求を含みます）が含まれます。

お客様は、最終判決（またはお客様が同意した和解）に基づく賠償金の支払いを行うものとします。本条項は、このような請求に対するマイクロソフトの唯一の救済方法を規定するものです。マイクロソフトは、本条項に従い、請求がなされた場合は直ちに書面でお客様に通知する必要があります。マイクロソフトは、(1) かかる請求の防御または解決に対する全権をお客様に委ねるものとし、(2) 当該請求に対する防御に関し合理的な支援を提供しなければなりません。かかる支援の提供にあたりマイクロソフトが負担した合理的な額の実費については、お客様が補償します。

- j) お客様の顧客データ** お客様は、オンライン サービスと関連した用途のための顧客データを提出することができます。「顧客データ」とは、オンライン サービスによって処理またはアクセスされるすべてのデータ、音声、または画像ファイル、およびソフトウェア アプリケーションのことをいいます。マイクロソフトがお客様にライセンスを付与するマテリアルを除き、オンライン サービスで使用するためお客様が提出した顧客データについて、マイクロソフトは所有権を主張しません。第三者との通信またはコラボレーションを可能にするオンライン サービスで使用するための顧客データを提出することにより、お客様は、それらの第三者が以下を行えるようになることに同意するものとします。
- i お客様の顧客データの使用、複製、頒布、表示、発行、および改変を行うこと。
 - ii 顧客データとの関連でお客様の名前を公表すること。および
 - iii 第三者に対し、上記の行為のための便宜を図ること。

一部のオンライン サービスは、第三者による上記の行為を制限する機能を提供している場合があります。顧客データの用途に適した機能を使用することはお客様の責任です。

- k) 顧客データの所有権** 両当事者の間において、お客様が顧客データのすべての権利、権原、および権益を留保します。マイクロソフトは、該当するオンライン サービスについてお客様がマイクロソフトに付与する権利を除き、顧客データに関するいかなる権利も取得しません。本項は、マイクロソフトがお客様にライセンスを付与するソフトウェアまたはサービスに対しては適用されません。
- l) プライバシー** オンライン サービスで収集された個人データは、マイクロソフトまたはサービス プロバイダーが施設を保有する米国またはその他の国において、転送、保存、および処理されることがあります。これには、お客様がサービスを使用して収集する個人データが含まれます。お客様は、オンライン サービスの利用をもって、国外または地域外への個人データの転送に同意するものとします。また、お客様は、以下を目的として、個人データをお客様に提供する人物から、必要な許可を取得することにも同意するものとします。
- i マイクロソフトおよびその代理店に当該データを転送すること、および
 - ii 当該データの転送、保存、および処理を許可すること。

マイクロソフトがお客様の情報を収集して使用方法の詳細については、オンライン サービスのプライバシーに関する声明をご参照ください。

オンライン サービス	プライバシーに関する声明
Forefront Endpoint Protection	http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=87415
Forefront Protection 2010 for	http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=91255

Exchange Server Forefront Security for Office Communications Server Forefront Protection 2010 for SharePoint Forefront Threat Management Gateway Web Security Service	
Microsoft Exchange Hosted Encryption、 および Forefront Online Protection for Exchange	http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=101332

m) マイクロソフトによる顧客データの使用

顧客データは、お客様にオンライン サービスを提供するためにのみ使用されます。これには、オンライン サービスの運用に影響を与える問題の防止、検出、および修復を目的としたトラブルシューティングと、ユーザーに対する新たな脅威や進化する脅威（マルウェア、スパムなど）の検出と防止にかかわる機能の改善が含まれる場合があります。

お客様によるオンライン サービスの使用に関して第三者（法執行機関その他の政府機関または民間の訴訟当事者など）から要求があった場合は、お客様が応じるものとします。法令により求められる場合を除き、マイクロソフトが顧客データを第三者に開示することはありません。第三者から顧客データを要求された場合、マイクロソフトは、お客様に直接データを請求するよう第三者に案内するよう努めます。その一環として、マイクロソフトがお客様の基本的な連絡先情報を当該第三者に提供する場合があります。顧客データを第三者に開示せざるを得ない場合、マイクロソフトは、法令により禁止されている場合を除き、開示の前にお客様に通知するために商業的に合理的な努力を行うものとします。

n) 顧客データのセキュリティ マイクロソフトは、オンライン サービスに該当するセキュリティ概要で示している妥当かつ適切な技術および組織的対策を講じ、オンライン サービスによって処理またはアクセスされるお客様の顧客データを不慮または違法な損失、アクセス、または開示から保護するよう努めています。お客様はこれに関して次のことに同意するものとします。

- i これらの手段は、顧客データのセキュリティと処理に関してマイクロソフトの唯一の責任であること。
- ii これらの手段が、お客様のサービス プロバイダー ライセンス契約または秘密保持に関するその他の契約に記載されている守秘義務に代わるものであること。

オンライン サービスのセキュリティ概要の記載場所は下表のとおりです。

オンライン サービス	セキュリティの概要
Forefront Online Protection for Exchange	http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=137325

o) 使用範囲 (利用規定) お客様は、以下を行うことはできません。

- i 法律、規制、政府命令、または関連する司法命令で禁止されている方法でオンライン サービスを使用する、または、他者の法的権利を侵害する方法でオンライン サービスを使用する。
- ii オンライン サービスに害を及ぼす可能性のある方法、または第三者によるそのサービスの使用を妨げる方法で、オンライン サービスを使用する。
- iii サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不正なアクセスを試みるためにオンライン サービスを使用する。
- iv プロトコルまたは電子メールのヘッダー情報を改ざんする（「なりすまし」など）。
- v 「スパム」(一方的な一括配信メッセージまたは商業的メッセージ) を送信するためにオンライン サービスを利用する、または、条件に違反することを意図したサービス (サービス拒否攻撃など) を提供するためにオンライン サービスを利用する。

- vi オンライン サービスに組み込まれている規制情報もしくは法的通知、またはリンクを削除、変更、または改ざんする。
- p) **規制情報** 現在または将来、当該国の事業運営に通常は適用されない規制や要求によってマイクロソフトが制約を受けたり、そのような要求や義務に対し本条件またはオンライン サービスが矛盾するとマイクロソフトが考えるような政府の要求または義務が生じた場合、マイクロソフトは当該国のオンライン サービスを変更または停止できるものとします。たとえば、通信プロバイダーとしてマイクロソフトが規制を受ける場合、マイクロソフトは政府要件に関連してオンライン サービスを変更または停止できます。
- q) **評価目的での使用** 「特定の製品に適用される例外規定と追加の条件」の章で許可されている場合を除き、お客様が評価目的にオンライン サービスを使用する場合はライセンスを取得する必要があります。この内容は、お客様のサービス プロバイダー ライセンス契約の条項と矛盾していても適用されます。
- r) **電子通知** マイクロソフトは、オンライン サービスに関する情報を電子的形式でお客様に提供することがあります。情報通知は、お客様がオンライン サービスにサインアップした際に指定したアドレス宛での電子メールによって、またはマイクロソフトが指定する Web サイトを通して行われます。電子メールによる通知は、送信日に提供されます。オンライン サービスを使用している限り、お客様は、これらの通知を受信するためのソフトウェアとハードウェアを備えていることとなります。これらの電子通知を受信することに同意しない場合、お客様はオンライン サービスを利用できません。
- s) **制限付き保証** お客様のライセンス契約に矛盾する条件があっても、オンライン サービスへのアクセス中のダウンタイムまたはその他の中断、あるいはオンライン サービスのサービスレベル契約に記載されているその他の測定基準に制限付き保証は適用されません。
- t) **製品の提供** オンライン サービスは一部の地域で使用できない場合があります。

B. 特定の製品に適用される例外規定と追加の条件

Productivity Suite

Productivity Suite SAL は、以下の SAL と同等の権利を提供します。Hosted Exchange Standard SAL、Lync Server 2010 Enterprise SAL、および SharePoint Server 2010 Standard SAL。

Exchange Server 2010 Standard および Enterprise

Active Directory による直接の認証または間接的な認証を受けずに本サーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスするユーザーまたはデバイスについては、SAL は必要ありません。

ユーザー SAL の要件 Exchange Server 2010 Hosted Exchange Basic、Exchange Server 2010 Hosted Exchange Standard、Exchange Server 2010 Hosted Exchange Standard Plus、Exchange Server 2010 Hosted Exchange Enterprise、Exchange Server 2010 Hosted Exchange Enterprise Plus、および Productivity Suite の SAL には、Outlook Web Access の使用が含まれます。お客様は各ユーザーの SAL を取得する必要があります。

Exchange Server 2010 Hosted Exchange Basic SAL の使用制限 Exchange Server 2010 Hosted Exchange Basic SAL の取得対象である各ユーザーは、本サーバー ソフトウェアの次の機能を使用できます。

- この SAL に記載されている機能の動作を可能にする Outlook Web Access の機能
- この SAL に記載されているプロトコルを通じたメッセージングおよび個人用フォルダーへのアクセス
- インターネット メール プロトコル (簡易メール転送プロトコル (SMTP)、Post Office Protocol (POP)、インターネット メッセージ アクセス プロトコル (IMAP)) および任意のクライアント経由の Web ブラウザー アクセス
- 個人用メール フォルダー (他のユーザーとは共有されません)
- 個人用アドレス一覧 (他のユーザーとは共有されません)
- 個人用予定表 (他のユーザーとは共有されません)
- 個人用タスク (他のユーザーとは共有されません)
- 単一のユーザーまたはユーザーの組織の、単一の第 2 レベル ドメインのサポート (ユーザーは、'joe@servicesprovider.com' ではなく 'joe@smith.com' または 'joesmith@company1.com' を使用する権利を得ます)。複数のサフィックス (".com"、".net"、".org" など) を使用できます ('joe@smith.com'、'joe@smith.net'、'joe@smith.de' など)。

- グローバル アドレス一覧 カスタマイズされたドメイン (個人用ドメイン SAL として会社が購入したドメインなど) またはサービス プロバイダーのドメイン全体の、すべてのユーザーのアドレス一覧

Exchange Server 2010 Hosted Exchange Standard SAL、Exchange Server 2010 Hosted Exchange Standard Plus SAL および Productivity Suite SAL の使用制限 Exchange Server 2010 Hosted Exchange Standard SAL、Exchange Server 2010 Hosted Exchange Standard Plus SAL、または Productivity Suite SAL の取得対象である各ユーザーは、本サーバー ソフトウェアの次の機能を使用することができます。

- 前述した Exchange Server 2010 Hosted Exchange Basic SAL の機能
- この SAL に記載されている機能の動作を可能にする Outlook Web Access の機能
- MAPI (Messaging Application Programming Interface) ネットワーク プロトコル
- 共有フォルダー
- パブリック フォルダー
- 共有アドレス一覧
- 共有連絡先
- 共有タスク
- 共有予定表
- 他のユーザーの空き時間情報の表示を含むグループの予定表
- モバイル通知 モバイル デバイスを通じた、サーバー ソフトウェアでのイベント通知の受け取り
- モバイル参照 モバイル デバイスを通じたサーバー ソフトウェアの受信トレイ、予定表、アドレス帳、グローバル アドレス帳、およびタスクへのアクセス
- モバイル同期 無線ネットワークを通じた、サーバー ソフトウェアの受信トレイ、予定表、アドレス帳、およびタスクとモバイル デバイスの同期

上述の制限事項に加えて、Exchange Server 2010 Hosted Exchange Standard Plus SAL には次の追加条件も適用されます。

Outlook Mac 2011 および Outlook 2010 1 つの物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) の、(a) デバイス SAL を取得した任意のデバイス上、および (b) ユーザー SAL を取得した任意のユーザーが使用する単一のデバイス上で、Outlook Mac 2011 または Outlook 2010 クライアント ソフトウェアの 1 つのインスタンスを作成し、実行することができます。

Exchange Server 2010 Hosted Exchange Enterprise SAL および Exchange Server 2010 Hosted Exchange Enterprise Plus SAL の使用制限 Exchange Server 2010 Hosted Exchange Enterprise SAL および Exchange Server 2010 Hosted Exchange Enterprise Plus SAL の取得対象である各ユーザーは、本サーバー ソフトウェアの次の機能を使用できます。

- 前述した Exchange Server 2010 Hosted Exchange Standard SAL の機能
- ユニファイド メッセージング
- コンプライアンスの管理
- Exchange 2010 アンチスパム
- Forefront アンチウイルス
- Exchange Hosted Services アンチウイルス
- Exchange Hosted Services アンチスパム

上述の制限事項に加えて、Exchange Server 2010 Hosted Exchange Enterprise Plus SAL には次の追加条件も適用されます。

Outlook Mac 2011 および Outlook 2010 1 つの物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) の、(a) デバイス SAL を取得した任意のデバイス上、および (b) ユーザー SAL を取得した任意のユーザーが使用する単一のデバイス上で、Outlook Mac 2011 または Outlook 2010 クライアント ソフトウェアの 1 つのインスタンスを作成し、実行することができます。

Expression Studio 4 Ultimate および Expression Studio 4 Web Professional

再頒布可能コード これらの権利は、共通の使用条件に記載された再頒布の条件および制限に基づいて付与されません。

- テンプレートおよびサイト テンプレート 本ソフトウェアには、テンプレートが含まれています。また、お客様がご自身のコンテンツで使用することを許可されている「site templates」の表示のあるコードが含まれています。お客様は、これらのテンプレートおよびサイト テンプレートのソース コードおよびオブジェクト コードを改変、複製、導入、および頒布することができます。

Expression Studio 4 Ultimate

再頒布可能コード これらの権利は、共通の使用条件に記載された再頒布の条件および制限に基づいて付与されません。

- フォント お客様は、Buxton Sketch フォント、SketchFlow Print フォント、および SegoeMarker フォントの改変されていない複製を頒布できます。
- スタイル お客様は、「X Styles」の表示のあるコードをオブジェクト コード形式で複製、改変、および頒布することができます。

Expression Studio 4 Ultimate および Expression Encoder Pro 4

再頒布可能コード これらの権利は、共通の使用条件に記載された再頒布の条件および制限に基づいて付与されません。

- アイコン 本ソフトウェアには、「icons」の表示のあるコードが含まれています。お客様は、改変されていない icons の複製を頒布できます。
- テンプレート 本ソフトウェアには、¥Program Files¥Microsoft Expression¥Encoder 4¥Templates にインストールされたテンプレートが含まれています。お客様は、これらのテンプレートを改変、複製、導入、および頒布することができます。

MPEG-2 映像標準に関する注意 本ソフトウェアには、MPEG-2 画像解読テクノロジーが含まれている場合があります。このテクノロジーについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

以下の場合に直接関連する場合を除き、MPEG-2 映像標準に準拠して本製品を使用することは、すべて禁止されています。(A) (i) 事業活動に従事しない消費者により作成され、無償で取得されたデータまたは情報を、(ii) 個人使用の目的のみで使用する場合、および (B) MPEG LA, L.L.C. により別途特定のライセンス許諾を受けたその他の使用による場合。

MPEG-2 映像標準について不明な点がある場合は、MPEG LA, L.L.C. (所在地: 250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206、Web サイト: <http://www.mpegla.com>) にお問い合わせください。

本製品は、消費者による個人使用および非商業的使用を前提とし、VC-1 および AVC/H.264 特許ポートフォリオ ライセンスに基づき次の用途に限って使用許諾されています。(i) VC-1 および AVC/H.264 標準に準拠した映像 (以下「VC-1 および AVC/H.264 映像」といいます) を暗号化すること、または、(ii) 個人的および非商業的活動に従事する消費者が暗号化した、あるいは VC-1 および AVC/H.264 映像を提供するライセンスを有する映像提供者より入手した VC-1 および AVC/H.264 映像を復号化すること。その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手できます。<http://www.mpegla.com/> をご参照ください。

本製品は、VC-1 および AVC/H.264 特許ポートフォリオ ライセンスに基づいて使用許諾されています。かかるライセンスは、本製品にのみ、および本製品使用権証明書に含まれるその他の通知の範囲内でのみ適用され、他の製品に適用されることはありません。これは、かかる他の製品が本ライセンス製品と共に単一の製品に含まれる場合も同様です。詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手できます。<http://www.mpegla.com/> をご参照ください。

Forefront Endpoint Protection、Forefront Protection for Exchange Server、Forefront Protection 2010 for SharePoint、Forefront Security for Office Communications Server、および Forefront Threat Management Gateway Web Protection Service

更新による使用 不正使用を防止するため、オンライン サービスを最初に使用した日付より 3 年を経過すると、オンライン サービスの特定の機能が無効になることがあります。お客様がそのオンライン サービスを使用する権利を更新した場合には、マイクロソフトはその期限を延長する方法についてお客様に通知します。

スキャン エンジンの交換 オンライン サービスに含まれる以下のソフトウェアおよびファイルについては、マイクロソフトはこれらを同等のソフトウェアおよびファイルと交換する場合があります。

- アンチウイルスおよびアンチスパム ソフトウェア
- 署名ファイルおよびコンテンツ フィルタリング データ ファイル

デバイス SAL またはユーザー SAL Forefront Protection 2010 for SharePoint、または Forefront Endpoint Protection については、デバイス SAL または ユーザー SAL を取得することができます。

Forefront Endpoint Protection

Microsoft SQL Server Technology の使用条件

本ソフトウェアには、SQL Server Technology が含まれます。追加の SQL Server ソフトウェアについて以下に明示的に規定される場合を除き、お客様は、お客様が取得する各ライセンスにつき、1 台のサーバー上の 1 つの物理または仮想オペレーティング システム (OSE) で、一度にこの Technology の 1 つのインスタンスを実行することができます。また、任意のバージョンの SQL Server Technology を含む他の製品をサポートするために、そのインスタンスを使用することができます。お客様は、SQL Server Technology を含むライセンスを取得していない製品をサポートするために、そのインスタンスを共有することはできません。お客様は、本ソフトウェアおよびオンライン サービスの使用をサポートするために SQL Server Technology を使用することができます。上記の使用目的に該当する場合、SQL Server クライアント アクセス ライセンスは不要です。お客様は、このテクノロジーのインスタンスを実行する権利を行使するためだけに、SQL Server Technology の任意の数のインスタンスを作成するか、任意のサーバーまたはストレージ メディアに格納することができます。

追加ソフトウェアのインスタンスの実行 お客様は、任意の数のデバイス上の物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) において、次の表に示す追加ソフトウェアの任意の数のインスタンスを実行または使用することができます。お客様は、本ソフトウェアおよびオンライン サービスにより直接、または他の追加ソフトウェアを介して間接的に使用する場合に限り、この追加ソフトウェアを使用できます。

追加のソフトウェア	
<p>SQL Server 2005</p> <ul style="list-style-type: none"> • SQL Server Analysis Services 共有ツール • SQL Server Business Intelligence Development Studio • SQL Server 2005 Books Online • SQL Server 接続コンポーネント • SQL Server レガシ コンポーネント • SQL Server 管理ツール • SQL Server Notification Services クライアント コンポーネント • SQL Server Reporting Services レポート マネージャー • SQL Server Reporting Services 共有ツール • SQL Server 2005 共有ツール • SQL Server ソフトウェア開発キット • SQLXML クライアント機能 • SQL Server Mobile サーバー 	<p>SQL Server 2008</p> <ul style="list-style-type: none"> • Analysis Services 共有ツール • Business Intelligence Development Studio • 接続コンポーネント • レガシ コンポーネント • 管理ツール • Notification Services クライアント コンポーネント • Reporting Services レポート マネージャー • Reporting Services 共有ツール • SQL Server 2008 共有ツール • ソフトウェア開発キット • SQLXML クライアント機能 • SQL Server 2008 Books Online • SQL Server Mobile サーバー ツール

Lync Server 2010 Standard および Enterprise

Active Directory または Lync Server による直接的または間接的な認証を受けずに本サーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスするユーザーまたはデバイスには、SAL は必要ありません。

Standard SAL Standard SAL の取得対象である各ユーザーは、本サーバー ソフトウェアの次の機能を使用できます。

- インスタント メッセージングのすべての機能
- すべてのプレゼンス機能、および

- すべてのグループ チャット機能

Enterprise SAL Enterprise SAL または Productivity Suite SAL の取得対象である各ユーザーは、本サーバー ソフトウェアの次の機能を使用できます。

- 前述の Standard SAL の機能
- 音声、映像、および Web 会議のすべての機能
- デスクトップ共有のすべての機能

Plus SAL Plus SAL の取得対象である各ユーザーは、本サーバー ソフトウェアの次の機能を使用できます。

- 前述の Standard SAL の機能
- ボイス テレフォニーのすべての機能
- コール マネージメントのすべての機能

Enterprise Plus SAL Enterprise Plus SAL の取得対象である各ユーザーは、本サーバー ソフトウェアの次の機能を使用できます。

- 前述の Standard SAL の機能
- 音声、ビデオ、および Web 会議のすべての機能
- デスクトップ共有のすべての機能
- ボイス テレフォニーのすべての機能
- コール マネージメントのすべての機能

上述の権利に加えて、Lync Standard、Enterprise、および Plus SAL には次の追加条件も適用されます。

Lync 2010 および Lync for Mac 2011 1 つの物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) の、(a) デバイス SAL を取得した任意のデバイス上、および (b) ユーザー SAL を取得した任意のユーザーが使用する単一のデバイス上で、Lync 2010 または Lync for Mac 2011 クライアント ソフトウェアの 1 つのインスタンスを作成し、実行することができます。

VC-1 映像標準に関する注意 本ソフトウェアには、VC-1 画像解読テクノロジーが含まれています。このテクノロジーについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

本製品は、消費者による個人使用および非商業的使用を前提とし、VC-1 特許ポートフォリオ ライセンスに基づき次の用途に限り使用許諾されています。(A) VC-1 標準に準拠した映像 (以下「VC-1 映像」といいます) を暗号化すること、または、(B) 個人的および非商業的活動に従事する消費者が暗号化した、あるいは VC-1 映像を提供するライセンスを有する映像提供者より入手した VC-1 映像を復号化すること。その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。

VC-1 映像標準について不明な点がある場合は、MPEG LA, L.L.C. (所在地: 250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206、Web サイト: <http://www.mpegla.com/>) にお問い合わせください。

記録に関する注意 地域の法律によっては、個人間のやり取りを傍受、監視、または記録する場合 (あるいはそのすべてを行う場合)、事前の通知または承諾を必要とするものや、個人を特定できる情報の収集、保存、および使用を規制しているものがあります。お客様は、オンライン サービスまたは記録機能 (あるいはその両方) を使用するにあたり、すべての適用法に従い、すべての必要な承諾を得て、すべての必要な開示を行うことに同意するものとします。

Microsoft Application Virtualization Hosting for Desktops

Application Virtualization と、マイクロソフト製品およびマイクロソフト製品のコンポーネントとの併用 本契約の条項にかかわらず、以下のマイクロソフト製品は、Microsoft Application Virtualization Hosting for Desktops または他の第三者のアプリケーション仮想化テクノロジーと共に使用できます。

- Microsoft Dynamics NAV 2009 R2

その他のマイクロソフト製品またはマイクロソフト製品のコンポーネントを使用することはできません。

Microsoft Dynamics CRM 2011 Service Provider

Microsoft Dynamics CRM 2011 クライアント以外のアプリケーションやグラフィカル ユーザー インターフェイス (GUI) を使用して、Microsoft Dynamics CRM 2011 にアクセスする外部ユーザーについては、SAL は不要です。「外部ユーザー」とは、(i) お客様またはお客様の関連会社の従業員ではないユーザー、または (ii) お客様またはお客様の関連会社のオンサイトの契約業者または代理店ではないユーザーを意味します。

Microsoft Dynamics CRM 2011 SAL Microsoft Dynamics CRM サーバー、ファイル、データ コンテンツ、および Microsoft Dynamics CRM 機能に対する読み取り/書き込みアクセスが許可されます。

Microsoft Dynamics CRM 2011 Limited SAL Limited SAL は、「Microsoft Dynamics CRM 機能」に対する完全な読み取り専用アクセス（報告用など）と制限付き書き込みアクセスをユーザーに提供します。

Microsoft Dynamics AX 2012、Microsoft Dynamics GP 2010 R2、Microsoft Dynamics NAV 2009 R2、Microsoft Dynamics SL 2011

SAL の種類 SAL には 3 種類あり、エディションによっても左右されます。

- Full User: 任意のアクセス手段により、システム データベースへのフル アクセスを許可するライセンス タイプ。「システム データベース」とは、お客様のユーザーおよび財務報告部門の情報を管理する基本的なデータベースを意味します。
- Light User: Microsoft Dynamics リッチ クライアント以外の手段で、システム データベースへの制限付きアクセスを許可するライセンス タイプ。Microsoft Dynamics リッチ クライアントはシステム データベースにアクセスする手段であり、完全な製品ユーザー インターフェイスを使用して Microsoft Dynamics で提供されるすべての機能を使用できるようにします。
- 従業員セルフサービス (i) Microsoft Dynamics リッチ クライアント以外の手段でシステム データベースへの制限付きアクセスを許可し、(ii) 以下の各機能へのかかるアクセスを制限するライセンス。
 - i. 従業員管理 システム データベース内のユーザー自身のデータとプロフィールを管理します。
 - ii. 従業員の勤怠 タイム シートを入力し、ユーザーに対応する出勤および退勤データを記録します。
 - iii. 従業員の旅費交通費 旅費交通費の請求に関連するユーザーのデータを入力および更新します。
 - iv. 従業員の要求 個人的な購入やサービス、あるいは休暇など、ユーザー個人の目的に限定したユーザーによる要求を送信します。

SAL エディション 2 つの Microsoft Dynamics SAL エディションから選択する必要があります。選択した SAL エディションはお客様のすべての SAL に適用されます。

Microsoft Dynamics AX 2012、Microsoft Dynamics GP 2010 R2、Microsoft Dynamics NAV 2009 R2、および Microsoft Dynamics SL 2011 について提供されている SAL エディションは以下のとおりです。

- Business Essentials Edition SAL (Full User および Light User にのみ適用)
- Advance Management Edition SAL (すべての種類の SAL に適用)

外部ユーザー 以下については、SAL は不要です。

- Business Essentials Edition または Advanced Management Edition 用のクライアント ソフトウェアを使用せずに Microsoft Dynamics AX 2012、Microsoft Dynamics GP 2010 R2、Microsoft Dynamics NAV 2009 R2、および Microsoft Dynamics SL 2011 にアクセスする外部ユーザー、および
- 監査プロセスに関連して補助的な専門会計サービスまたは経理サービスを提供することのみを目的として、クライアント ソフトウェアを使用して Microsoft Dynamics AX 2012、Microsoft Dynamics GP 2010 R2、Microsoft Dynamics NAV 2009 R2、または Microsoft Dynamics SL 2011 にアクセスする外部ユーザー

「外部ユーザー」とは、(i) お客様またはお客様の関連会社の従業員ではないユーザー、または (ii) お客様またはお客様の関連会社のオンサイトの契約業者および代理店ではないユーザーを意味します。

評価要件 お客様（および本ソフトウェアを使用するお客様の関連会社）が使用許諾を受けて本ソフトウェアを使用するためには、特定のソフトウェアに対して www.explore.ms で指定されている最低評価要件またはソフトウェア製品のリセラーから提示される最低評価要件に従う必要があります。お客様は、www.explore.ms に示されている手続き、またはソフトウェア製品のリセラーから提示される手続きを使用して、本ソフトウェアの使用許諾を受ける意思をマイクロソフトに通知する必要があります。また、お客様は該当する評価要件に準拠していることを証明する必要があります。マイクロソフトでは、本ソフトウェアの使用を許諾する前に、お客様が評価要件に準拠していることを確認します。従業員ユーザーが退職し、その結果として評価要件が満たされなくなった場合には、90 日以内に別の従業員ユーザーにより評価要件が満たされる必要があります。マイクロソフトは随時この評価要件を変更または中止できるものとします。ただし、評価要件が追加された場合、追加の要件はお客様がマイクロソフトから書面でその通知を受け取ってから 1 年後に有効になります。

ライセンス キー 本ソフトウェアの機能をインストールして使用するには、お客様はマイクロソフトから適切なライセンス キーを入手する必要があります。必要なライセンス キーを入手する手順については、www.explore.ms を参照するか、担当のリセラーにお問い合わせください。

ローカライゼーションおよび翻訳 それぞれの Microsoft Dynamics ソフトウェアについてローカライズされ一般的に提供されている地域と言語の一覧は、次のハイパーリンクをクリックすると確認できます。

<http://www.microsoft.com/dynamics/en/us/products/ax-availability.aspx>
<http://www.microsoft.com/dynamics/en/us/products/gp-availability.aspx>
<http://www.microsoft.com/dynamics/en/us/products/nav-availability.aspx>
<http://www.microsoft.com/dynamics/en/us/products/sl-availability.aspx>

本ソフトウェアには、ローカライズ済みの地域について、特定の税、財政、会計に関する法規制と商業上の要件に対応するための機能が含まれています。法規制は地域ごとに異なるため、これらの地域のすべての法律、規制、または商業上の要件に本ソフトウェアが対応しているわけではありません。

マイクロソフトは、お客様が特定の地域でローカライズまたは翻訳された特定のモジュールまたは機能の使用を希望され、これを作成された地域以外で使用する場合があるということを認識しています。法規制は地域ごとに異なるため、作成された地域以外でご希望の機能を使用する場合、法規制の違いによる影響を受けることがあります。マイクロソフトは、本ソフトウェア（本ソフトウェアを介して利用可能なオンライン サービスを含みます）のローカライズ バージョンまたは翻訳バージョンを、これらのバージョンが作成され、マイクロソフトがかかるソフトウェアまたはサービスを商業的に一般向けに提供している以外の地域で使用する場合、これらのパフォーマンスまたは適合性について（明示的か黙示的かを問わず）一切の表明、保証、または瑕疵担保保証を行いません。本ソフトウェアの使用を希望する地域の税の専門家に相談のうえ、かかる機能が当該地域での使用に適しているかどうかをご判断ください。

本ソフトウェアのローカライゼーションまたは翻訳を行うことをご希望の場合は、現時点で有効な Master Partner Localization and Translation License Agreement (MPLLA) を締結している必要があります。MPLLA および Microsoft Dynamics Partner Localization and Translation Licensing Program の詳細については、<https://mbs.microsoft.com/partnersource/partneressentials/plplp> を参照するか、ご担当のパートナー アカウント マネージャーまでお問い合わせください。

Microsoft Dynamics C5 2010 (アイスランドおよびデンマークでの使用向け)

Microsoft Dynamics C5 2010 には、ユーザー SAL しかありません。Microsoft Dynamics C5 2010 (アイスランドおよびデンマークでの使用向け) について提供されているユーザー SAL のエディションは以下のとおりです。

- Microsoft Dynamics C5 2010 Basic SAL
- Microsoft Dynamics C5 2010 Advanced SAL

評価要件 お客様（および本ソフトウェアを使用するお客様の関連会社）が使用許諾を受けて本ソフトウェアを使用するためには、特定のソフトウェアに対して <http://www.explore.ms> で指定されている最低評価要件またはソフトウェア製品のリセラーから提示される最低評価要件に従う必要があります。お客様は、<http://www.explore.ms> に示されている手続き、またはソフトウェア製品のリセラーから提示される手続きを使用して、本ソフトウェアの使用許諾を受ける意思をマイクロソフトに通知する必要があります。また、お客様は該当する評価要件に準拠していることを証明する必要があります。マイクロソフトでは、本ソフトウェアの使用を許諾する前に、お客様が評価要件に準拠していることを確認します。従業員ユーザーが退職し、その結果として評価要件が満たされなくなった場合には、90 日以内に別の従業員ユーザーにより評価要件が満たされる必要があります。マイクロソフトは随時この評価要件を変更または中止できるものとします。ただし、評価要件が追加された場合、追加の要件はお客様がマイクロソフトから書面でその通知を受け取ってから 1 年後に有効になります。

ライセンス キー 本ソフトウェアの機能をインストールして使用するには、お客様はマイクロソフトから適切なライセンス キーを入手する必要があります。必要なライセンス キーを入手する手順については、<http://www.explore.ms> を参照するか、担当のリセラーにお問い合わせください。

Forefront Online Protection for Exchange および Microsoft Exchange Hosted Encryption

使用条件の更新 以下の場合を除き、現在のサービス プロバイダー ライセンス契約期間中は、最初にオンライン サービスを取得した日に有効なライセンス条件が、オンライン サービスの使用に適用されます。マイクロソフトは随時、使用範囲に関する条件を更新することができます。マイクロソフトが本製品使用権説明書で新しい使用範囲に関する条件を公開した後、または電子メールで更新についてお客様に連絡した後にお客様がオンライン サービスをご利用になることで、お客様は新しい条件に同意したものとします。

評価目的での使用 Forefront Online Protection for Exchange については、お客様およびお客様のユーザーは 30 日の試用期間オンライン サービスを使用することができます。

Office Multi Language Pack 2010

サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタル サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタルには、Office Multi-language Pack 2010 を利用できます。お客様が取得できるのはデバイス SAL だけです。サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のソフトウェアには、ユーザー SAL は使用できません。

Office Professional Plus 2010

サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタル サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタルには、Office Professional Plus 2010 を利用できます。お客様が取得できるのはデバイス SAL だけです。サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のソフトウェアには、ユーザー SAL は使用できません。

Office Resource Kit

- インストールおよび使用権 お客様は、Office Resource Kit ソフトウェアの任意の数の複製をインストールして使用できます。
- 頒布 お客様は Office Resource Kit ソフトウェアを複製して頒布することができます。各複製は、あらゆる著作権表示および商標表示を含む完全なものでなければなりません。お客様はエンド ユーザーに対し、本製品使用権を含むお客様のサービス プロバイダー ライセンス契約と同等以上に本ソフトウェアを保護する条件に同意するよう要求する必要があります。

Office Web Apps Office Professional Plus 2010 SAL には Office Web Apps の使用が含まれます。Office Professional Plus 2010 ユーザー SAL の取得対象である各ユーザーは、Office Web Apps ソフトウェアにアクセスして使用することができます。Office Professional Plus 2010 デバイス SAL を割り当てたサービス デバイスまたはレンタル デバイスごとに、当該サービス デバイスまたはレンタル デバイスの特定の 1 名の主要ユーザーは、任意のデバイスから Office Web Apps ソフトウェアにアクセスして使用することができます。Office Web Apps は、Office Professional Plus 2007 SAL や Office Professional Plus 2003 SAL など、以前のバージョンの Office Professional Plus SAL には含まれません。

Project 2010 Standard および Professional

サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタル サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタルには、Project 2010 Standard および Professional を利用できます。お客様が取得できるのはデバイス SAL だけです。サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のソフトウェアには、ユーザー SAL は使用できません。

Office Standard 2010

サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタル サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタルには、Office Standard 2010 を利用できます。お客様が取得できるのはデバイス SAL だけです。サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のソフトウェアには、ユーザー SAL は使用できません。

Office Web Apps Office Standard 2010 SAL には Office Web Apps の使用が含まれます。Office Standard 2010 ユーザー SAL の取得対象である各ユーザーは、Office Web Apps ソフトウェアにアクセスして使用することができます。Office Standard 2010 デバイス SAL を割り当てたサービス デバイスまたはレンタル デバイスごとに、当該サービス デバイスまたはレンタル デバイスの特定の 1 名の主要ユーザーは、任意のデバイスから BizTalk Apps ソフトウェアにアクセスして使用することができます。Office Web Apps は、Office Standard 2007 SAL や Office Standard 2003 SAL など、以前のバージョンの Office Standard SAL には含まれません。

Office Resource Kit

- インストールおよび使用権 お客様は、Office Resource Kit ソフトウェアの任意の数の複製をインストールして使用できます。
- 頒布 お客様は Office Resource Kit ソフトウェアを複製して頒布することができます。各複製は、あらゆる著作権表示および商標表示を含む完全なものでなければなりません。お客様はエンド ユーザーに対し、本製品使用権を含むお客様のサービス プロバイダー ライセンス契約と同等以上に本ソフトウェアを保護する条件に同意するよう要求する必要があります。

Visio 2010 Standard、Professional、および Premium

サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタル サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタルには、Visio 2010 Standard、Professional、および Premium を利用できます。お客様が取得できるのはデバイス SAL だけです。サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のソフトウェアには、ユーザー SAL は使用できません。

SQL Server 2008 R2 OEM 版 Standard および Enterprise

- SQL Server 2008 R2 Enterprise Edition for Embedded Systems x32 (Runtime Edition)
- SQL Server 2008 R2 Standard Edition for Embedded Systems x32 (Runtime Edition)
- SQL Server 2008 R2 Enterprise Edition for Embedded Systems x64 (Runtime Edition)
- SQL Server 2008 R2 Standard Edition for Embedded Systems x64 (Runtime Edition)
- SQL Server 2008 R2 Standard Edition for Embedded Systems (x32) (Systems Management Runtime Edition)

購入したサーバーにプレインストールされているサーバー ソフトウェアのみを使用できます。サーバー ソフトウェアは上記のソフトウェア製品の 1 つであるものとします。サービス プロバイダー ライセンス契約にかかわらず、サーバー ソフトウェアのインストールおよび使用権は、サーバー ソフトウェアがプレインストールされているサーバーに付属する使用許諾契約書に準拠します。ただし、サーバー ソフトウェアへのアクセス権については、本製品使用権説明書に準拠します。また、再頒布可能コードの使用については、サーバーに付属する使用許諾契約書に記載された再頒布可能コードに関する規定が適用されます。

SQL Server 2008 R2 Small Business

本サーバー ソフトウェアのインスタンスを実行するオペレーティング システム環境 (OSE) は、Active Directory が以下の条件に従って設定されたドメインに参加している必要があります。

- そのドメイン内の単一のサーバーに FSMO (Flexible Single Master Operations) の役割がすべて含まれている必要があります、そのサーバーを Active Directory フォレストのルートとします。
- 他のドメインとの信頼関係があってはなりません。また、
- 子ドメインがあってはなりません。

お客様は、ライセンスを別途取得済みかどうかにかかわらず、本サーバー ソフトウェアのインスタンスを同じドメイン内の別のオペレーティング システム環境 (OSE) で同時に実行することはできません。ドメイン内の SAL を割り当てたユーザーおよびデバイスの総数が 75 を超えることはできません。

SQL Server 2008 R2 Enterprise

SQL Server コントロール ポイントの制限 サーバー ソフトウェアにコントロール ポイント ユーティリティが含まれる SQL Server ソフトウェアのいずれかのバージョンまたはエディションのインスタンスを一度に 25 を超えて登録することはできません。

System Center Configuration Manager 2007 R3 および System Center Configuration Manager 2007 R3 with SQL Server 2008 Technology

本ソフトウェアに含まれるデータ セット (またはその一部) はいずれも複製および頒布することはできません。

Windows プレインストール環境 Windows プレインストール環境をインストールして、Windows オペレーティング システム ソフトウェアの診断および復旧のために使用できます。Windows プレインストール環境は、次の目的では使用できません。

- 一般のオペレーティング システムとして
- シン クライアントとして
- リモート デスクトップ クライアントとして

またはその他の目的にも使用することはできません。

ImageX.exe、Wimapi.dll、Wimfilter、およびパッケージ マネージャー Windows オペレーティング システム ソフトウェアの復旧のために、本ソフトウェアの一部である次のものをインストールして使用できます。

- ImageX.exe
- Wimapi.dll
- Wimfilter およびパッケージ マネージャー

本ソフトウェアの一部であるこれらを、お客様の Windows オペレーティング システムのバックアップまたはその他の目的で使用することはできません。

System Center Virtual Machine Manager 2008 R2

物理 OSE から仮想 OSE への変換 物理 OSE を仮想 OSE に変換することができます。その場合、変換の時間と目的に限って管理される OSE には、サーバー SAL は必要ありません。

お客様は、System Center Virtual Machine Manager 2008 R2 Enterprise サーバー SAL が割り当てられているデバイス上で実行されている任意の数の OSE を管理できます。

Visual Studio 2010 (全製品) および Visual Studio LightSwitch 2011

BUILDSEVER.TXT ファイル お使いのソフトウェアのバージョンに BUILDSEVER.TXT ファイルが含まれている場合は、このファイルに記載されたファイルの複製をビルド コンピューターにインストールすることができます。プログラムのコンパイルとビルド以外の目的で、複製をインストールすることはできません。同じ目的で使用できるその他のファイルの一覧については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=165518> をご参照ください。

Microsoft Office ユーザー インターフェイス 本使用条件は、お客様がリボンやクイック アクセス ツール バーなどの Microsoft Office ユーザー インターフェイスの要素を作成、複製、使用、または頒布することを許可するものではありません。

Silverlight 3 および Silverlight 3 ソフトウェア開発キット

H.264/AVC 映像標準および VC-1 映像標準に関する注意 Silverlight には、H.264/MPEG-4 AVC または VC-1 画像解読テクノロジーが含まれている場合があります。このテクノロジーについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

本製品は、消費者による個人使用および非商業的使用を前提とし、AVC および VC-1 特許ポートフォリオ ライセンスに基づき次の用途に限り使用許諾されています。(A) 上記標準に準拠した映像（以下「映像標準」といいます）を暗号化すること、または、(B) 個人的および非商業的活動に従事する消費者が暗号化した、あるいはかかる映像を提供するライセンスを有する映像提供者より入手した AVC および VC-1 映像を復号化すること。かかるライセンスは他の製品に適用されることはありません。これは、かかる他の製品が本ソフトウェアと共に単一の製品に含まれる場合も同様です。その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手できます。<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

前述の注意は、通常の業務に限定した使用のために本製品使用権説明書に基づいて提供されるソフトウェアの使用を制限または禁止するものではありません。これには以下は含まれません。

- 第三者へのソフトウェアの再頒布
- 第三者への頒布を目的とした、映像標準互換テクノロジーを使用したコンテンツの作成

ユーティリティ ユーティリティ リストについては、<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=165518> および <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=100284> をご参照ください。本ソフトウェアには、当該リストに規定されたコンポーネントが含まれています。本ソフトウェアに含まれるコンポーネントは、エディションによって異なります。本ソフトウェアと共に提供されるユーティリティは、一度に最大 5 台のデバイスにインストールすることができます。これらのユーティリティは、お客様が本ソフトウェアを使用して開発したプログラムのデバッグにのみ使用することができます。プログラムのデバッグが終了した時点、またはユーティリティをデバイスにインストールした日から 30 日後のいずれか早い時点で、デバイスにインストールしたユーティリティはすべて削除するものとします。

Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2、SQL Server 2008 Express SP1a、および SQL Server 2008 SQL 管理オブジェクト

それぞれ独自の使用条件に基づいて使用許諾されます。

SQL Server Compact 3.5 SP2 の使用条件は、%programfiles%\Microsoft SQL Server Compact Edition にあります。

SQL Server 2008 Express SP1a の使用条件は、%programfiles%\Microsoft SQL Server Service Pack 1a にあります。

SQL Server 2008 SQL 管理オブジェクトの使用条件は、%programfiles%\Microsoft SQL Server¥100¥SDK¥Assemblies にあります。

再頒布可能コード

REDIST.TXT ファイルのオブジェクト コード以外にも、同じ要件および制限に従って以下のコードを複製し頒布することができます。

- <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=165518> にある REDIST リストに記載されたすべてのファイル
- 「Silverlight Libraries」、「Client Libraries」、および「Server Libraries」の表示のあるコードのオブジェクトコード

その他の Windows コンポーネント 本ソフトウェアには Microsoft Build テクノロジーに関連する特定の .dll が含まれています。これらのファイルは Windows の一部です。これらの使用には Windows の使用条件が適用されます。

Visual Studio 2010 Ultimate

Visual Studio ロード テストの仮想ユーザー 本ソフトウェアでは 250 人の仮想ユーザーのロード テストを行うことができます。この機能は、ローカルのロード テストにのみ使用できます。

Visual Studio Team Foundation Server 2010 with SQL Server 2008 Technology

SQL Server 2008 Technology の使用条件 お客様のサーバー ソフトウェアのエディションに他の SQL Server 2008

Technology (SQL Server 2008 R2 Standard Edition など) が含まれている場合、お客様はそのソフトウェアをサポートするために、一度にその Technology の 1 つのインスタンスを、1 台のサーバー上の 1 つの物理または仮想オペレーティング システム環境 (OSE) で実行することができます。また、任意のバージョンの SQL Server Technology を含む他の製品をサポートするために、そのインスタンスを使用することができます。お客様は、SQL Server Technology を含むライセンスを取得していない製品をサポートするために、そのインスタンスを共有することはできません。その使用のために SQL Server SAL を取得する必要はありません。お客様は、本使用条件に基づき SQL Server 2008 Technology のインスタンスを実行する権利を行使する目的に限り、任意の数の SQL Server 2008 Technology のインスタンスを作成し、お客様のサーバーまたはストレージ メディアに格納することができます。お客様は一時的なサポートのために、1 つのパッシブ フェールオーバー インスタンスを 1 つの別のオペレーティング システム環境 (OSE) で実行することもできます。お客様は、ライセンスを取得したサーバー以外の 1 つのサーバーでパッシブ フェールオーバー インスタンスを実行することができます。

SQL Server 2008 Express Service Pack 1a の使用条件 本ソフトウェアには Microsoft SQL Server 2008 Express Service Pack 1a が付属しています。付属ソフトウェアは独自の条件に基づいて使用許諾されます。SQL Server 2008 Express SP1a の使用条件は、%programfiles%\Microsoft SQL Server Service Pack 1a にあります。

SQL Server 2008 SQL 管理オブジェクトの使用条件 本ソフトウェアには Microsoft SQL Server 2008 SQL 管理オブジェクトが付属しています。付属ソフトウェアは独自の条件に基づいて使用許諾されます。SQL Server 2008 SQL 管理オブジェクトの使用条件は、%programfiles%\Microsoft SQL Server\100\SDK\Assemblies にあります。

Windows SharePoint Services の使用条件 本ソフトウェアには Microsoft Windows SharePoint Services Version 3 Service Pack 2 が付属しています。付属ソフトウェアは独自の条件に基づいて使用許諾されます。Microsoft Windows Server を使用するためのライセンスを取得している場合は、この付属ソフトウェアを使用することができます。Windows Server の有効な各複製と共に付属ソフトウェアの複製を使用することができます。付属ソフトウェアの使用には本使用条件および Windows Server の使用条件が適用されます。矛盾がある場合は本使用条件が適用されます。Microsoft Windows Server 2003 Web Edition 上での付属ソフトウェアの使用は、フロントエンドの Web サービングタスクに制限されます。付属ソフトウェアのデータ ストレージ部分は、Microsoft Windows Server 2003 Web Edition でインストールすることも使用することもできません。

Visual Studio Lab Management 2010 本ソフトウェアには Lab Management 機能が含まれています。この機能を有効にする場合、別途使用条件および料金が適用されることがあります。

作業項目トラッキング ユーザーによる新しい作業項目の作成、既に作成した作業項目の表示と更新には、SAL は必要ありません。この免責は、瑕疵の申告または改良の要請に関連する作業項目にのみ適用されます。作業項目トラッキング機能への他のすべてのアクセスには、SAL が必要です。

HPC Pack 2008 R2 Enterprise*、Windows HPC Server 2008 R2 Suite*、および Windows Server 2008 R2 HPC Edition*

クラスター HPC アプリケーション 「クラスター HPC アプリケーション」とは、複雑な計算問題や密接に関連した複数の計算問題を並行処理で解決できる高性能コンピューティング アプリケーションを指す、一般的な業界用語です。クラスター HPC アプリケーションは、複雑な計算問題を、Microsoft HPC Pack やこれに類似する HPC モジュールウェアが提供するようなジョブ スケジューラーによって調整される一連のジョブとタスクに分割します。これらのジョブとタスクはジョブ スケジューラーによって、1 つの HPC クラスター内で動作する 1 台または複数のコンピューターに並行して分散されません。

クラスター ノード 「クラスター ノード」は、クラスター HPC アプリケーションの実行専用デバイス、またはクラスター HPC アプリケーション用のジョブ スケジュール サービスを提供するデバイスです。

*その他の例外規定および追加の条件については、以下をご覧ください。

HPC Pack 2008 R2 Enterprise

エンタープライズおよびワークステーション機能 お客様は、ライセンスを取得したデバイスで、次のいずれか 1 つのインスタンスを実行することができます。

- HPC Services for Excel 2010
- HPC Services for Distributed Data

Windows HPC Server 2008 R2 Suite*

HPC Pack 2008 R2 Enterprise ソフトウェアの使用には、HPC Pack 2008 R2 for Enterprise の使用条件が適用されません。

Windows HPC Server 2008 R2 Suite* および Windows Server 2008 R2 HPC Edition*

お客様は、本サーバー ソフトウェアを以下の条件で使用できます。

- i. クラスタ ノードの実行を主目的とする。および
- ii. クラスタ ノードでのセキュリティ、ストレージ、パフォーマンスの強化、およびシステム管理に必要な場合にのみ、クラスタ HPC アプリケーションのサポートのみを目的として他のソフトウェアと組み合わせて使用する。

お客様は、本サーバー ソフトウェアをその他の目的に使用することはできません。たとえば、前項 (ii) で許可された方法を除き、本サーバー ソフトウェアを汎用サーバー、データベース サーバー、Web サーバー、電子メール サーバー、プリント サーバー、またはファイル サーバーとして使用することはできません。

*その他の例外規定および追加の条件については、以下をご覧ください。

Windows Server 2008 R2 HPC Edition、Windows Server 2008 for Windows Small Business Server 2011 Standard、Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on、Windows Small Business Server 2011 Essentials、およびすべての Windows Server 2008 R2 製品

データ ストレージ テクノロジー 本サーバー ソフトウェアには、Windows Internal Database または Microsoft SQL Server Desktop Engine for Windows と呼ばれるデータ ストレージ テクノロジーが含まれている場合があります。本サーバー ソフトウェアのコンポーネントは、データを格納する目的でこのテクノロジーを使用します。お客様はその他の目的で本契約に基づいてこのテクノロジーを使用したり、アクセスしたりすることはできません。

不要である可能性のあるソフトウェア システムを起動すると、Windows Defender が「スパイウェア」、「アドウェア」、および不要である可能性のあるその他のソフトウェアがないかコンピューター内を検索します。不要である可能性のあるソフトウェアが見つかった場合、無視するか、無効化（隔離）するか、または削除するかをユーザーに確認します。不要である可能性のあるソフトウェアは、危険度が「高」または「重大」である場合、既定の設定を変更しない限り、スキャン後に自動的に削除されます。不要である可能性のあるソフトウェアを削除または無効化すると、次のような状態が発生する場合があります。

- コンピューター上の他のソフトウェアが動作しなくなる場合がある。
- コンピューター上の他のソフトウェアを使用するためのライセンスに抵触する場合がある。

このようなソフトウェアを使用することで、不要である可能性のないソフトウェアも削除されたり、無効化されたりする場合があります。

注意

- a) MPEG-4 映像標準に関する注意** 本ソフトウェアには、MPEG-4 画像解読テクノロジーが含まれています。このテクノロジーについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

以下の場合に直接関連する場合を除き、MPEG-4 映像標準に準拠して本製品を使用することは、すべて禁止されています。(A) (i) 事業活動に従事しない消費者により作成され、無償で取得されたデータまたは情報を、(ii) 個人使用の目的のみで使用する場合、および (B) MPEG LA, L.L.C. により別途特定のライセンス許諾を受けたその他の使用による場合。

MPEG-4 映像標準について不明な点がある場合は、MPEG LA, L.L.C. (所在地: 250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206、Web サイト: <http://www.mpegla.com>) にお問い合わせください。

- b) VC-1 映像標準に関する注意** 本ソフトウェアには、VC-1 画像解読テクノロジーが含まれています。このテクノロジーについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

本製品は、消費者による個人使用および非商業的使用を前提とし、VC-1 特許ポートフォリオ ライセンスに基づき次の用途に限り使用許諾されています。(A) VC-1 標準に準拠した映像（以下「VC-1 映像」といいます）を暗号化すること、または、(B) 個人的および非商業的活動に従事する消費者が暗号化した、あるいは VC-1 映像を提供するライセンスを有する映像提供者より入手した VC-1 映像を復号化すること。

その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。

VC-1 映像標準について不明な点がある場合は、MPEG LA, L.L.C. (所在地: 250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206、Web サイト: <http://www.mpegla.com>) にお問い合わせください。

すべての Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2008 製品のみ

テスト、保守、および管理のためのアクセス お客様は、オペレーティング システム環境 (OSE) で実行中の各インスタンスについて、最大 2 人までの他のユーザーに対し、グラフィカル ユーザー インターフェイスを直接または間接的にホストする目的で Windows Server 2008 Remote Desktop Services の機能またはその他のテクノロジーを使用して本サーバー ソフトウェアを使用すること、または本サーバー ソフトウェアにアクセスすることを許可できるものとします。か

かかる使用は、使用許諾された製品をテスト、保守、または管理する目的でのみ認められます。かかるユーザーには、Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL は必要ありません。

Windows Server 2008 R2 OEM

Windows Server 2008 R2 OEM SAL は、以下に示す任意の Windows Server 2008 R2 OEM エディションと共に使用することができます。

- Windows Server 2008 R2 Enterprise
- Windows Server 2008 R2 Standard

本サーバー ソフトウェアが SAL によって許諾されている場合、次のユーザーは本サーバー ソフトウェアを使用すること、および本サーバー ソフトウェアにアクセスすることはできません。インターネットのみを通じて本サーバー ソフトウェアにアクセスする、認証を受けないか、マルチプレキシングまたはプーリング 用のソフトウェアまたはハードウェアによって個別に識別されるユーザー。

購入したサーバーにプレインストールされているサーバー ソフトウェアのみを使用できます。サーバー ソフトウェアは上の見出しに記載された Windows Server 2008 R2 OEM ソフトウェア製品のうちの 1 つであるものとします。本サーバー ソフトウェアのインストールおよび使用権は、プレインストールされているサーバー ソフトウェアに付属するソフトウェア ライセンス条項に準拠します。ただし、ソフトウェア サービスの提供にあたってホストされた本サーバー ソフトウェアにアクセスする権利、およびソフトウェア サービスに関連するクライアント ソフトウェアの使用は、本製品使用権説明書に準拠します。

Windows Small Business Server 2011 Essentials

- a. お客様は、Active Directory が以下の条件に従って構成されたドメイン内で、サーバー ソフトウェアを実行する必要があります。
- ドメイン コントローラー (FSMO (Flexible Single Master Operations) の役割がすべて含まれている単一のサーバー)
 - ドメイン フォレストのルート
 - 子ドメインではない
 - 他のドメインとの信頼関係がない

サーバー ソフトウェアを最初にインストールしてから 30 日が経過すると、Active Directory が上記の条件に従って構成されているかどうかを随時確認されます。構成の確認が失敗すると、以下のような状況になります。

- 失敗の警告がサーバー管理者に通知されます。失敗の警告は、Small Business Server ダッシュボードの正常性アラートのセクションでも確認できます。
 - 条件を満たしていない状態が続く場合は 21 日目にサーバーがシャットダウンし、管理者がサーバーを再起動するまでシャットダウンしたままになります。
 - 再起動すると、シャットダウンが再度行われるまで、さらに 21 日間サーバーを実行できます。構成を修正するまでこの状態は続きます。この任意の 21 日間に、構成に対して必要な修正を行い、かかるライセンス条件を満たすことができます。
 - 構成を修正すると、警告は表示されなくなり、自動的なシャットダウンが発生しなくなります。
- b. **サーバー ソフトウェアの使用** お客様は、本サーバー ソフトウェアの複製 1 部をライセンスを取得したサーバーにインストールして使用することができます。使用できるアカウントは最大で 25 です。各アカウントは、指名されたユーザーに対し、そのサーバー上の本サーバー ソフトウェアにアクセスして使用することを許諾します。
- c. **Windows Small Business Server Connector** お客様は、Windows Small Business Server Connector ソフトウェアを、一度に最大 25 台のデバイスにインストールして使用することができます。このソフトウェアをインストールするデバイスはそれぞれ、サーバー ソフトウェアと同じローカル エリア ネットワーク上に存在する必要があります。お客様はこのソフトウェアを本サーバー ソフトウェアと共にのみ使用することができます。

お客様はユーザー アカウントをあるユーザーから別のユーザーに再割り当てすることができますが、最後の割り当てから 90 日以内に再割り当てすることはできません。

- d. **Windows Server 2008 R2 Rights Management Services へのアクセス** お客様は、ユーザーが Windows Server 2008 R2 Rights Management Services の機能に直接または間接的にアクセスするために使用するユーザー アカウントごとに、Windows Server 2008 Rights Management Services SAL を取得する必要があります。

Windows Small Business Server 2011 Standard

付属の Microsoft プログラム Windows Small Business Server 2011 Standard ソフトウェアには、以下の Microsoft プログラムが含まれています。

- Windows Server 2008 R2 Standard テクノロジ
 - Exchange Server 2010 Standard
 - Windows SharePoint Foundation 2010、および
 - Windows Server Update Services 3.0 SP2
- a. お客様は、Active Directory が以下の条件に従って構成されたドメイン内で、サーバー ソフトウェアを実行する必要があります。
- ドメイン コントローラー (FSMO (Flexible Single Master Operations) の役割がすべて含まれている単一のサーバー)
 - ドメイン フォレストのルート
 - 子ドメインではない
 - 他のドメインとの信頼関係がない

サーバー ソフトウェアを最初にインストールしてから 30 日が経過すると、Active Directory が上記の条件に従って構成されているかどうかは随時確認されます。構成の確認が失敗すると、以下のような状況になります。

- 失敗の警告がサーバー管理者に通知されます。失敗の警告は、Small Business Server ダッシュボードの正常性アラートのセクションでも確認できます。
 - 条件を満たしていない状態が続く場合は 21 日目にサーバーがシャットダウンし、管理者がサーバーを再起動するまでシャットダウンしたままになります。
 - 再起動すると、シャットダウンが再度行われるまで、さらに 21 日間サーバーを実行できます。構成を修正するまでこの状態は続きます。この任意の 21 日間に、構成に対して必要な修正を行い、かかるライセンス条件を満たすことができます。
 - 構成を修正すると、警告は表示されなくなり、自動的なシャットダウンが発生しなくなります。
- b. ドメイン内のユーザーおよびデバイスの総数が 75 を超えることはできません。
- c. 最低 5 つの SAL 本サーバー ソフトウェアを使用するには、少なくとも 5 つの SAL を取得する必要があります。
- d. 追加の SAL 要件
- Enterprise 機能へのアクセスに必要な Exchange Server 2010 Enterprise SAL Windows Small Business Server 2011 Standard ドメインで Exchange Server Enterprise の機能 (カスタム保持ポリシー、個人アーカイブ、ボイスメール、情報保護とコンプライアンス、メールボックスのクロス検索、証拠保全、詳細なモバイル ポリシー、およびユーザーごと/配布リストごとのジャーナル) にアクセスするには、Windows Small Business Server 2011 Standard SAL に加えて、Exchange Server 2010 Hosted Exchange Enterprise SAL または Exchange Server 2010 Hosted Exchange Enterprise Plus SAL を取得する必要があります。
 - Windows Server 2008 Remote Desktop Services へのアクセス Windows Server 2008 Remote Desktop Services の機能にアクセスするためにサーバー ソフトウェアに直接または間接的にアクセスするユーザーまたはデバイスごとに、Windows Small Business Server 2011 Standard SAL に加えて、Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL または Windows Server 2008 Terminal Services SAL も取得する必要があります。
 - Windows Server 2008 R2 Rights Management Services へのアクセス Windows Server 2008 R2 Rights Management Services の機能にアクセスするには、Windows Small Business Server 2011 Standard SAL に加えて、Windows Server 2008 Rights Management Services SAL を取得する必要があります。

Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on

- a. Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on には、以下のソフトウェアが含まれています。Windows Server 2008 R2 Standard テクノロジおよび SQL Server 2008 R2 Standard Edition for Small Business。

- b. 本ソフトウェアは SBS 2011 ドメイン内でのみ使用することができます。したがって、ソフトウェアにアクセスするには、Premium Add-On 用の SAL に加えて、Windows SBS Standard 用の SAL を取得する必要があります。
- c. 例外として、本ソフトウェアにアクセスする SBS 2008 ユーザーが、SBS 2011 Standard SAL に加え、ユーザーが本ソフトウェアの SQL Server 2008 R2 Standard Edition for Small Business コンポーネントにアクセスする場合は SBS 2011 Premium Add-on SAL のライセンスも保有している場合は、お客様は本ソフトウェアを SBS 2008 ドメイン内でも使用することができます。
- d. Windows Server 2008 Remote Desktop Services へのアクセス Windows Server 2008 Remote Desktop Services の機能にアクセスするには、Windows Small Business Server Premium Add-on SAL に加えて、Windows Server 2008 Remote Desktop Services SAL または Windows Server 2008 Terminal Services SAL も取得する必要があります。
- e. Windows Server 2008 R2 Rights Management Services へのアクセス Windows Server 2008 R2 Rights Management Services の機能にアクセスするには、Windows Small Business Server Premium Add-on SAL に加えて、Windows Server 2008 R2 Rights Management Services SAL を取得する必要があります。

Windows 7 Professional、Windows 7 Professional K、Windows 7 Professional KN、および Windows 7 Professional N

サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタル Windows 7 Professional (および記載されているその他のすべてのバージョン) は、サービス デバイスまたはレンタル デバイス上でのレンタルのみを目的として使用できます。Windows 7 Professional は、サービス デバイス上にインストールされた場合、仮想化されたデスクトップのストリーミングまたはホスティング用には使用できません。お客様が取得できるのはデバイス SAL だけです。サービス デバイス上およびレンタル デバイス上のレンタルにはユーザー SAL は使用できません。お客様は、Windows 7 Professional を、サービス デバイスおよびレンタル デバイスに OEM によって以前にインストールされた Microsoft Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows Vista Business、および Windows 7 Professional へのアップグレードとしてのみインストールできます。家庭用またはコンシューマー向けの SKU (Windows 7 Home Premium、Windows Vista Home Basic または Windows XP Home) は、いずれもアップグレードの対象外の OS です。

デバイスの接続 お客様は、ファイル サービス、印刷サービス、インターネット インフォメーション サービス、インターネット接続の共有、およびテレフォニー サービスのご利用に限り、サービス デバイスおよびレンタル デバイスにインストールされた本ソフトウェアに、最大 20 台のデバイスから接続することができます。

リモート アクセス テクノロジ お客様は、以下の条件に従う場合に限り、リモート アクセス テクノロジを使用して他のデバイスからリモート アクセスすることにより、サービス デバイスおよびレンタル デバイスにインストールされた本ソフトウェアにアクセスし、これを使用することができます。

- リモート デスクトップ サービス デバイスおよびレンタル デバイスの特定の 1 名の主要ユーザーは、リモート デスクトップ機能またはこれに類似するテクノロジを使用して、他のデバイスから 1 つのセッションにアクセスすることができます。「セッション」とは、入力、出力、および表示用の周辺機器を利用して直接または間接的に本ソフトウェアを双方向で使用できる状態のことです。その他のユーザーは、リモート デバイスに本ソフトウェアを実行するためのライセンスを別途取得している場合は、任意のデバイスからこれらのテクノロジを使用して 1 つのセッションにアクセスすることができます。

その他のアクセス テクノロジ お客様は、リモート アシスタンスまたはこれに類似するテクノロジを使用してセッションを共有することができます。

その他のリモート使用 お客様は、デバイス間のデータの同期またはキー マネージメント サービスまたは類似するテクノロジを使用したアクティベーションなど、上述の「デバイスの接続」および「リモート アクセス テクノロジ」の項に記載されている以外の目的で、任意の数のデバイスに対し、サービス デバイスおよびレンタル デバイスにインストールされた本ソフトウェアへのアクセスを許可できます。

仮想化テクノロジとの使用 ライセンス取得済みのデバイスで本ソフトウェアを直接使用する代わりに、ライセンス取得済みのデバイス上の仮想 (またはエミュレートされた) ハードウェア システムに本ソフトウェアをインストールして使用することができます。この場合、保護されたコンテンツのセキュリティに悪影響が生じることがあります (保護されたコンテンツとは、デジタル著作権管理テクノロジ、BitLocker、またはその他のフル ボリューム ディスクドライブ暗号化テクノロジによって保護されているコンテンツのことです)。お客様は、保護されたコンテンツの再生およびアクセスに対して適用されるすべての国内法および国際法を遵守する義務を負います。

アイコン、画像、および音声 本ソフトウェアの実行中、本ソフトウェアのアイコン、イメージ、サウンド、およびメディアを使用することはできますが、これらを共有することはできません。

不要である可能性のあるソフトウェア システムを起動すると、Windows Defender が「スパイウェア」、「アドウェア」、および不要である可能性のあるその他のソフトウェアがないかコンピューター内を検索します。不要である可能性のあるソフトウェアが見つかったら、無視するか、無効化 (隔離) するか、または削除するかをユーザーに確認します。不要で

ある可能性のあるソフトウェアは、危険度が「高」または「重大」である場合、既定の設定を変更しない限り、スキャン後に自動的に削除されます。不要である可能性のあるソフトウェアを削除または無効化すると、次のような状態が発生する場合があります。

- コンピューター上の他のソフトウェアが動作しなくなる場合がある。
- コンピューター上の他のソフトウェアを使用するためのライセンスに抵触する場合がある。

このようなソフトウェアを使用することで、不要である可能性のないソフトウェアも削除されたり、無効化されたりする場合があります。

注意

- a) MPEG-4 映像標準に関する注意** 本ソフトウェアには、MPEG-4 画像解読テクノロジーが含まれています。このテクノロジーについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

以下の場合に直接関連する場合を除き、MPEG-4 映像標準に準拠して本製品を使用することは、すべて禁止されています。(A) (i) 事業活動に従事しない消費者により作成され、無償で取得されたデータまたは情報を、(ii) 個人使用の目的のみで使用する場合、および (B) MPEG LA, L.L.C. により別途特定のライセンス許諾を受けたその他の使用による場合。

MPEG-4 映像標準について不明な点がある場合は、MPEG LA, L.L.C. (所在地: 250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206、Web サイト: <http://www.mpegla.com>) にお問い合わせください。

- b) VC-1 映像標準に関する注意** 本ソフトウェアには、VC-1 画像解読テクノロジーが含まれています。このテクノロジーについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

本製品は、消費者による個人使用および非商業的使用を前提とし、VC-1 特許ポートフォリオ ライセンスに基づき次の用途に限って使用許諾されています。(A) VC-1 標準に準拠した映像 (以下「VC-1 映像」といいます) を暗号化すること、または、(B) 個人的および非商業的活動に従事する消費者が暗号化した、あるいは VC-1 映像を提供するライセンスを有する映像提供者より入手した VC-1 映像を復号化すること。その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。

VC-1 映像標準について不明な点がある場合は、MPEG LA, L.L.C. (所在地: 250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206、Web サイト: <http://www.mpegla.com>) にお問い合わせください。

認証

- i)** 本ソフトウェアの認証機能は随時更新され、そのダウンロードが必要になります。認証とは、本ソフトウェアのアクティベーションが実行され、ライセンスが適切に発行されたことを確認するものです。また、認証により、お客様は本ソフトウェアの特定の機能を使用したり、追加の特典を受けたりすることができます。詳細については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=39157> をご参照ください。
- ii)** 認証チェックの間、本ソフトウェアからマイクロソフトに本ソフトウェアとデバイスに関する情報が送信されます。この情報には、本ソフトウェアのバージョンおよびプロダクト キーと、デバイスのインターネット プロトコル アドレスが含まれています。マイクロソフトがこれらの情報を利用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。本ソフトウェアを使用することで、お客様はマイクロソフトがこれらの情報を収集することに同意されたものとして、認証および認証チェックの際に送信される情報の詳細については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=69500> をご参照ください。
- iii)** 本ソフトウェアに関する正規のライセンスを取得していない場合、本ソフトウェアの機能が影響を受けることがあります。たとえば、次のような影響が生じることがあります。
- 本ソフトウェアの再アクティベーションが必要になる。
 - 正規のライセンスに基づいた本ソフトウェアの複製を入手するように促すメッセージが表示されるようになる。

また、以下のことが実行できなくなることがあります。

- インターネットへの接続
- マイクロソフトからの更新プログラムやアップグレードの入手

本ソフトウェアの更新プログラムやアップグレードは、マイクロソフトまたは認定ソースからのみ入手することができます。認定ソースからの更新プログラムの入手に関する詳細については、<http://www.microsoft.com/japan/piracy/mpa.mspx> をご参照ください。

すべての Windows 7 製品 Windows 7 Professional および Windows 7 Professional K には、Windows Media Player と韓国公正取引委員会 (KFTC) が指定した関連テクノロジー、および Windows Live Messenger のダウンロードへのリンクが含まれています。Windows 7 Professional KN には、KFTC が指定した Windows Media Player または関連テクノロジーは含まれていません。また、Windows 7 Professional KN には、Windows Live Messenger のダウンロードへのリンクも含まれていません。上記の各エディションに関して、提供される言語バージョンおよびメディア フルフィルメント オプションの詳細については、<http://www.microsoft.com/japan/licensing/default.mspx> をご参照ください。

Windows 7 Professional K 本ソフトウェアには、お客様が第三者のメディア プレーヤーやインスタント メッセージング ソフトウェアをダウンロードしてインストールできるように、Media Player Center Web サイトおよび Messenger Center Web サイトに第三者のサイトへのリンクを含めることが KFTC によって義務付けられています。第三者のサイトは、マイクロソフトの管理のもとにはなく、マイクロソフトは、いかなる第三者のサイトのソフトウェアないしコンテンツまたは第三者のサイトに含まれるリンクの内容、あるいはそれらの変更もしくは更新について責任を負いません。Media Player Center Web サイトまたは Messenger Center Web サイトにリンクが記載されていても、その第三者のソフトウェア、サイト、またはそのコンテンツをマイクロソフトが推奨していることを意味するものではありません。

Windows 7 Professional KN

Windows Media Player に関する使用条件の不適用 上記の「Windows Media デジタル著作権管理」および「Windows Media Player」の使用条件、ならびに MPEG-4 および VC-1 映像標準に関する注意は、本ソフトウェアを実行する際には適用されません。

Windows Media Player の未実装に関する注意

- オーディオ CD やメディア ファイルの再生、メディア ライブラリ内のコンテンツの整理、プレイリストの作成、メディア ファイルへのオーディオ CD の変換、パーソナル ビデオの作成、メディア ファイルのアーティスト情報やタイトル情報の表示、ミュージック ファイルのアルバム アートの表示、携帯音楽プレーヤーへの音楽の転送などを行うには、お客様はマイクロソフトまたは第三者のメディア プレーヤーを入手する必要があります。
- 詳細については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=70120> をご参照ください。

追加の免責 マイクロソフトは、Windows Media Player (KFTC の定義による) に関連する機能に関しては、お客様のライセンス条項の記載にかかわらず、いかなる保証もいたしません。

Windows 7 Professional N

Windows Media Player に関する使用条件の不適用 「Windows Media デジタル著作権管理」、「Windows Media Player」、「MPEG-4 映像標準に関する注意」、および「VC-1 規格に関する注意」の条件は、本ソフトウェアを実行する際には適用されません。

Windows Media Player の未実装に関する注意 本ソフトウェアには Windows Media Player (欧州委員会の定義による) は含まれていません。その結果、オーディオ CD またはメディア ファイルの再生、メディア ライブラリ内のコンテンツの整理、プレイリストの作成、メディア ファイルへのオーディオ CD のメディア ファイルへの変換、オーディオ CD の作成、パーソナル ビデオの作成、メディア ファイルのアーティスト情報やタイトル情報の表示、ミュージック ファイルのアルバム アートの表示、携帯音楽プレーヤーへの音楽の転送などを行うには、お客様はマイクロソフトまたは第三者のメディア プレーヤーを入手する必要があります。詳細については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=70121> をご参照ください。

追加の免責 マイクロソフトは、Windows Media Player (欧州委員会の定義による) に関連する機能に関しては、お客様のライセンス契約の記載にかかわらず、いかなる保証もいたしません。

付録 1 – インターネット ベースのサービス

インターネット ベースのサービス マイクロソフトは、本製品についてインターネット ベースのサービスを提供することがあります。マイクロソフトは随時このサービスを変更または中止できるものとします。お客様は、これらのインターネット ベースのサービスに害を及ぼす可能性のある方法、または第三者によるそのサービスの使用を妨げる方法で、これらのインターネット ベースのサービスを使用することはできません。また、サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不当なアクセスを試みるためにこれらのサービスを使用することは一切禁止されています。

A. インターネット ベースのサービスに関する承諾 下の表は、インターネットを介してマイクロソフトまたはサービスプロバイダーのコンピューター システムに接続するソフトウェアの機能をまとめたものです。この表では、各機能が搭載されている製品も示しています。機能によっては、複数の製品に搭載されているものもあります。これらの機能の1つが接続する際に、個別に通知が行われなくてもあります。お客様はこれらの機能を解除したり、使用しないことも選択できます。これらの機能を利用することで、お客様はこの情報の送信に同意されたものとします。マイクロソフトがこれらの情報を利用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。

コンピューター情報 これらの機能は、インターネット プロトコルを使用しており、お客様のインターネット プロトコル アドレス、オペレーティング システムの種類、ブラウザの種類、お客様が使用しているソフトウェアの名称およびバージョン、お客様がソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コードなどのコンピューター情報を適切なシステムに送信します。マイクロソフトは、お客様にインターネットベースのサービスを提供するためにのみ、これらの情報を利用します。

B. 情報の使用 マイクロソフトはソフトウェア製品やサービスの改良のために、コンピューター情報、エラー報告、および悪意のあるソフトウェアに関するレポートを利用することができます。また、ハードウェア ベンダーやソフトウェア ベンダーなどの他の企業と情報を共有する場合もあります。かかる他の企業は、マイクロソフト ソフトウェアと連携して実行する自社製品の改良のため、共有情報を使用することができます。

C. インターネット ベースのサービスの不正使用 お客様は、これらのサービスに害を及ぼす可能性のある方法、または第三者によるそのサービスの使用を妨げる方法で、これらのサービスを使用することはできません。また、サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不当なアクセスを試みるためにこれらのサービスを使用することは一切禁止されています。

機能	説明	製品	詳細情報の参照先
ルートの自動更新	ルートの自動更新機能は信頼できる認証機関のリストを更新するものです。お客様はルートの自動更新機能を解除することができます。	<ul style="list-style-type: none"> Windows 7 Windows Server 2008 R2 (すべてのエディション) Windows Small Business Server 2011 Essentials Windows Web Server 2008 R2 Expression Studio Professional Edition* MSDN* TechNet Plus* Visual Studio* 	Windows 7 プライバシーに関する声明 (go.microsoft.com/fwlink/?linkid=104604) または Windows Server プライバシーのハイライト (http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=34493)
デジタル証明書	本ソフトウェアはデジタル証明書を使用しています。これらのデジタル証明書は、X.509 標準により暗号化された情報を送信するインターネット ユーザーの身元を確認するものです。また、ファイルやマクロのデジタル署名に使用して、ファイルの内容の整合性や作成元を検証することもできます。本ソフトウェアは、インターネットを使用できる場合はそれを使用して、証明書を取得し、証明書失効リストを更新します。	<ul style="list-style-type: none"> Office System 製品およびスイート Windows 7 Windows Server 2008 R2 (すべてのエディション) Windows Small Business Server 2011 Essentials Windows Web Server 2008 R2 Expression Studio Professional Edition* MSDN* TechNet Plus* Visual Studio* 	http://office.microsoft.com/ja-jp/products/FX101153491033.aspx または Windows 7 プライバシーに関する声明 (go.microsoft.com/fwlink/?linkid=104604) または Windows Server プライバシーのハイライト (http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=34493)

<p>エラー報告</p>	<p>このソフトウェアは、エラーが発生したソフトウェア コンポーネントを記したエラー報告をマイクロソフトに自動的に送信します。お客様が、送信するように選択しない限り、ファイルまたはメモリのダンプが送信されることはありません。また、本ソフトウェアの使用中に発生する特定のエラーに関する情報をマイクロソフトが収集できるようにするために、小さなファイルをお客様のコンピュータに随時ダウンロードします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Dynamics CRM 2011 • System Center Mobile Device Manager 2008 • System Center Mobile Device Manager 2008 with SQL Server 2005 Technology • Windows Small Business Server 2011 Essentials 	<p>oca.microsoft.com/en/dcp20.asp</p>
<p>Groove ソフトウェアとサービス</p>	<p>ソフトウェアに Groove が含まれている場合、お客様はインターネット経由で他のユーザーと直接コミュニケーションすることができます。インターネットに接続していない場合、コミュニケーションの内容はマイクロソフト サーバーによって暗号化され、後に配信されます。お客様は、このサービスを無効にすることはできません。</p> <p>お客様の Groove アカウントおよびコンピュータに関する一部の情報は、たとえば、次のような場合に承認済みの連絡先に通知されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 連絡先リストに連絡先を追加した場合 • お客様のユーザー アカウントを新しいデバイスにインポートした場合 • ユーザーの連絡先情報を更新した場合、または • Groove ワークスペースへの招待を、招待ファイルを参照する URL を使用して送信した場合。これらの場合、お客様およびお客様のデバイスに関する情報がお客様の連絡先に送信されることがあります。マイクロソフト サーバーを使用するよう Groove を構成した場合、サーバーはお客様のコンピュータおよびユーザー アカウントに関する情報を収集します。 	<ul style="list-style-type: none"> • Office System 製品およびスイート 	<p>Microsoft Office Groove 2007 プライバシーに関する声明 (http://www.office.microsoft.com/ja-jp/products/FX101153391033.aspx)</p>

Information Rights Management	<p>本ソフトウェアには、お客様の許可なく印刷、複製、ならびに他者への送信ができないコンテンツを作成できる機能が含まれています。お客様は、この機能を最初に使用する際に、マイクロソフトに接続する必要がある場合があります。また、年に一度、この機能を更新するためマイクロソフトに連絡することが必要な場合があります。お客様はこの機能を使用しないことを選択することもできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Office System 製品およびスイート 	<p>http://office.microsoft.com/ja-jp/help/HA101029181033.aspx</p>
IPv6 ネットワーク アドレス変換 (NAT) トラバーサル サービス (Teredo)	<p>これは、既存の家庭用インターネット ゲートウェイ デバイスを IPv6 に移行させるための機能です。IPv6 は次世代のインターネット プロトコルです。ピアツーピア アプリケーションで必要とされることの多いエンドツーエンド接続を利用できます。これを実現するため、本ソフトウェアを起動するたびに、公開されている Teredo インターネット サービスの検索が Teredo クライアント サービスによって実行されます。インターネットを介してクエリを送信することでこのサービスを探します。このクエリは、標準の DNS (ドメイン ネーム サービス) 情報のみを転送してお客様のコンピューターがインターネットに接続されているかどうかを判断し、パブリック Teredo サービスを探すことができます。お客様が、</p> <ul style="list-style-type: none"> IPv6 接続を必要とするアプリケーションを使用している場合、または 常に IPv6 接続が有効となるようファイアウォールを構成している場合 <p>上記のいずれかに該当する場合、既定では、標準のインターネット プロトコル情報が定期的にマイクロソフトの Teredo サービスに送られることとなります。それ以外の情報がマイクロソフトに送られることはありません。既定の設定を変更して、マイクロソフト以外のサーバーを使用することができます。また、「netsh」という名前のコマンドライン ユーティリティを使用して、この機能をオフにすることもできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Windows 7 Windows Server 2008 R2 (すべてのエディション) Windows Small Business Server 2011 Essentials Windows Web Server 2008 R2 	<p>Windows 7 プライバシーに関する声明 (go.microsoft.com/fwlink/?linkid=104604) または Windows Server プライバシーのハイライト (http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=34493)</p>

<p>アップグレード時における悪質なソフトウェアの削除/除去</p>	<p>悪質なソフトウェアの削除 本ソフトウェアのセットアップ中、[インストールの重要な更新プログラムの取得]を選択した場合、特定の悪質なソフトウェア（「マルウェア」といいます）がお客様のデバイスにインストールされていないかがセットアップ中に自動的に確認され、お客様のデバイスから削除されます。検出され削除されたマルウェアは、http://www.support.microsoft.com/?kbid=890830 に掲載されます。この情報は定期的に更新されます。お客様のデバイスでマルウェアのチェックが行われると、マイクロソフトに報告が送信されます。この報告には、検出されたすべてのマルウェア、検出に関連する具体的な情報、マルウェアのチェック中に発生したエラー、該当する製品およびその他のマイクロソフト製品とサービスの品質を高めるために役立つ、お客様のデバイスに関するその他の情報が記載されます。この報告には、お客様を特定したり、お客様に連絡したりするための情報は一切含まれません。お客様は、本ソフトウェアの報告機能をhttp://www.support.microsoft.com/?kbid=890830 に記載されている手順に従って無効にすることができます。詳細については、http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=113995 で Windows 悪意のあるソフトウェアの削除ツールのプライバシーに関する声明をご参照ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 7 • Windows Server 2008 R2 (すべてのエディション) • Windows Small Business Server 2011 Essentials • Windows Web Server 2008 R2 	<p>Windows Server プライバシーのハイライト http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=34493 または Windows 悪意のあるソフトウェアの削除ツールのプライバシーに関する声明 http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=113995</p>
------------------------------------	--	---	---

Money サービス および更新プログラム	<p>これらのサービスは、お客様がサービス プロバイダーから別途有料で取得する必要があることがあります。お客様がこれらのサービスと更新プログラムを使用すると、口座名、金融取引、振込先、予算額、および通知の設定などの情報が適切なシステムに送信されることがあります。接続の際に、個別に通知が行われない場合があります。お客様はこれらの機能を解除すること、および使用しないことを選択できます。これらの機能の詳細については、本ソフトウェア付属の文書をご参照ください。マイクロソフトは、インターネットベースのサービスの使用を継続するために必要な更新プログラムを含む、ソフトウェアの更新プログラムをダウンロードし、お客様のコンピュータにインストールすることができます。お客様はこれらの機能を利用することで、 http://www.microsoft.com/money/internet_essentials.mspx に掲載されている Money インターネット ベース サービス ポリシーに記載されているこれらの機能の使用条件に同意したものと見なされます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Money 2007 Deluxe Edition 	ソフトウェア付属の文書
ネットワーク認識	<p>ネットワークトラフィックのパッシブ モニタリングまたはアクティブ DNS (または HTTP) クエリにより、システムがネットワークに接続されているかどうか判断されます。このクエリでは、ルーティングを目的として、標準的な TCP/IP 情報または DNS 情報のみが転送されます。アクティブクエリ機能は、レジストリを設定することにより解除できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 7 • Windows Server 2008 R2 (すべてのエディション) • Windows Small Business Server 2011 Essentials • Windows Web Server 2008 R2 	<p>Windows 7 プライバシーに関する声明 go.microsoft.com/fwlink/?linkid=104604 または Windows Server プライバシーのハイライト http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=34493</p>
Real Simple Syndication (RSS) フィード	<p>このソフトウェアは、マイクロソフトが RSS フィードを使ってオンラインで提供する更新済みコンテンツを含むページだけを表示します。</p>		

<p>Web コンテンツ 機能</p>	<p>本ソフトウェアに含まれる機能では、マイクロソフトから関連コンテンツを取得し、かかるコンテンツをお客様に提供することができます。コンテンツを提供するために、これらの機能は、オペレーティング システムの種類、お客様が使用しているソフトウェアの名称およびバージョン、ブラウザの種類、およびお客様がソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コードをマイクロソフトに送信します。これらの機能の例としては、クリップ アート、テンプレート、オンライントレーニング、オンライン ヘルプ、および Appshelp が挙げられます。お客様は、これらの Web コンテンツ機能を使用しないことも選択できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Office System 製品およびスイート 	<p>http://office.microsoft.com/ja-jp/products/FX101153491033.aspx</p>
<p>Windows Media デジタル 著作権管理</p>	<p>コンテンツ所有者は、著作権を含む知的財産権を保護する目的で、Windows Media デジタル著作権管理テクノロジー (WMDRM) を使用しています。本ソフトウェアおよび第三者のソフトウェアは、WMDRM が保護するコンテンツを再生、複製する際に WMDRM を使用します。本ソフトウェアによりコンテンツを保護できない場合、コンテンツ所有者はマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツを WMDRM で再生または複製する本ソフトウェアの機能を無効にするよう要請することができます。無効にされた場合も、その他の保護されないコンテンツは影響を受けません。お客様は、保護されたコンテンツのライセンスをダウンロードすることで、マイクロソフトがライセンスに失効リストを含めることに同意したものとします。コンテンツ所有者は、お客様が彼らのコンテンツにアクセスする前に、WMDRM のアップグレードを要請することがあります。WMDRM を含むマイクロソフトソフトウェアは、アップグレードに先立ってお客様の同意を求めます。アップグレードを行わない場合、お客様はアップグレードが必要なコンテンツにアクセスできません。インターネットに接続する WMDRM 機能は解除することができます。この機能が解除されている場合でも、正規のライセンスを取得しているコンテンツを再生することは可能です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 7 • Windows Server 2008 R2 (すべてのエディション) • Windows Small Business Server 2011 Essentials • Windows Web Server 2008 R2 • Expression Studio Professional Edition* • MSDN* • TechNet Plus* • Visual Studio* 	<p>Windows 7 プライバシーに関する声明 (go.microsoft.com/fwlink/?linkid=104604) または Windows Server プライバシーのハイライト (http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=34493)</p>

Windows Media Player	<p>お客様が Windows Media Player を使用すると、マイクロソフトに対して以下が確認されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様の地域で利用可能なオンライン音楽サービス、および Windows Media Player の最新バージョン 	<ul style="list-style-type: none"> Windows 7 Windows Server 2008 R2 (すべてのエディション) Windows Small Business Server 2011 Essentials Windows Web Server 2008 R2 Expression Studio Professional Edition* MSDN* TechNet Plus* Visual Studio* 	<p>go.microsoft.com/fwlink/?Linkid=104605 または Windows Server プライバシーのハイライト (http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=34493)</p>
Windows Rights Management サービス	<p>本ソフトウェアには、お客様の許可なく印刷、複製、ならびに他者への送信ができないコンテンツを作成できる機能が含まれています。詳細については、http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2003/technologies/rightsmgmt/default.aspx をご参照ください。お客様はこの機能を使用しないことを選択することもできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2008 R2 (すべてのエディション) Windows Web Server 2008 R2 	<p>http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2003/technologies/rightsmgmt/default.aspx</p>
Windows タイム サービス	<p>このサービスは、time.windows.com と週に 1 回同期することで、お客様のコンピューターの時刻を正確に設定するものです。この機能を解除したり、日付と時刻のコントロール パネル アプレットで、希望する時間情報の提供元を選択したりすることができます。接続には、標準の NTP プロトコルを使用します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Windows 7 Windows Server 2008 R2 (すべてのエディション) Windows Small Business Server 2011 Essentials Windows Web Server 2008 R2 	<p>Windows 7 プライバシーに関する声明 (go.microsoft.com/fwlink/?linkid=104604) または Windows Server プライバシーのハイライト (http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=34493)</p>
Windows Update (または Microsoft Update) 機能	<p>お客様は、お客様のデバイスに新しいハードウェアを接続することができます。お客様のデバイスには、そのハードウェアと通信するために必要なドライバーが備わっていない場合があります。この場合、本ソフトウェアの更新機能により、マイクロソフトから適切なドライバーを取得し、お客様のデバイスにインストールすることができます。この更新機能は解除することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Windows 7 Windows Server 2008 R2 (すべてのエディション) Windows Small Business Server 2011 Essentials Windows Web Server 2008 R2 BizTalk Server 2010 (すべてのエディション) Expression Studio Professional Edition* Microsoft Dynamics CRM 2011 MSDN* TechNet Plus* Visual Studio* 	<p>Windows 7 プライバシーに関する声明 (go.microsoft.com/fwlink/?linkid=104604) または Windows Server プライバシーのハイライト (http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=34493)</p>

*Microsoft オペレーティング システムに関連する場合